

会報

第 70 号

2020.12

創立 50 周年記念号



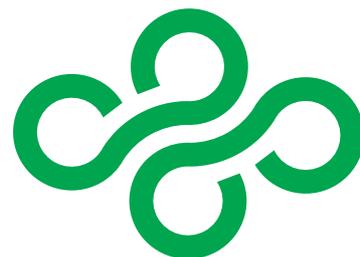
一般社団法人

静岡県危険物安全協会連合会

県危連「シンボルマーク」

1977年に県危連のシンボルマークを一般公募した結果、鈴木範夫氏の作品が選ばれた。

このマークは、危険物の「危」を図案化したもので、緑色は安全を意味している。



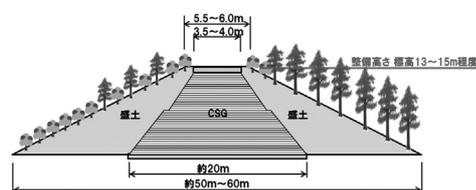
表紙写真の説明

浜松市沿岸域防潮堤整備事業

浜松市沿岸域の低平地は、多くの人口と資産を抱えています。この地域では、想定される南海トラフ巨大地震（レベル2：千年から数千年に1回起きると考えられる中で最大級の地震）の発生により、甚大な津波被害の発生が懸念されています。この被害を軽減するため、静岡県と浜松市は、地元の篤志家及び浜松商工会議所等からの寄付金を活用し、天竜川河口から浜名湖今切口までの約17.5kmにおいて、レベル1（100年から150年に1回起きる恐れのある地震）の津波高を上回る標高13～15mの防潮堤の整備を進めてきました。

防潮堤は、平成25年7月に着手し、まず、試験施工として延長約700mを施工しました。この試験施工で得られた知見をもとに、平成26年6月から本格施工に着手し、令和2年3月末日までの僅か7年間で竣工に至りました。

防潮堤の基本構造は、ダム技術として開発されたCSG（Cemented Sand and Gravel）を中央に台形状に配置し、その両側を盛土で覆うものです。この構造は、レベル2津波が本防潮堤を乗り越えることを想定し、堤体の中央にCSGを配置して、浸透破壊や越水による破壊が生じることがないように工夫したものです。



一般的な防潮堤の構造（海岸防災林区間）

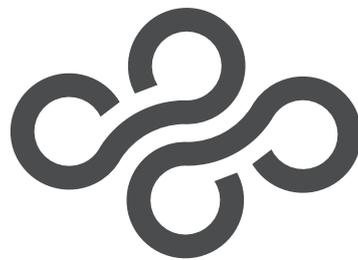
写真・情報提供 静岡県浜松土木事務所

会報

第 70 号

2020.12

創立50周年記念号



一般社団法人

静岡県危険物安全協会連合会

●●● 目 次 ●●●

◇ 会長あいさつ ―創立50周年を迎えて― （一社）静岡県危険物安全協会連合会会長 中島 博康	1
◇ 祝辞 静岡県知事 川勝 平太	2
一般財団法人全国危険物安全協会理事長 兵谷 芳康	3
静岡県消防長会会長 海野 雅夫	4
◇ 創立50周年記念特集 「50年のあゆみ」 第一 設立から一般社団法人へ	6
第二 連合会の概要	7
第三 主な事業	8
第四 資料編	11
◇ 令和2年度危険物安全大会	38
・消防庁長官表彰受賞者の紹介	39
・（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状受賞者の紹介	40
◇ 令和2年度静岡県知事表彰、連合会会長表彰等の表彰状授与式	44
・静岡県知事表彰受賞者の紹介	48
【ちょっとひといき】 「歴史はドラマチック」 静岡県危険物安全協会連合会 理事 芹澤 俊夫	52
「親子クッキングコンテスト」 静岡県危険物安全協会連合会 理事 瀧 真砂人	53
◇ 県からのお知らせ ・危険物取扱者及び危険物施設の違反について	54
◇ 国の動き ・平成31年・令和元年危険物関係法令の改正概要と主な通知	56
◇ 県内の危険物等に係る事故状況（平成31年・令和元年）	59
【ちょっとひといき】 「ガソスタオヤジとして、危険物について苦慮すること」 静岡県危険物安全協会連合会 理事 青木 徹	62
「新理事就任にあたって」 静岡県危険物安全協会連合会 理事 坂井 智司	63

◇ 危険物安全協会連絡会だより	
東部地区危険物安全協会連絡会 「絆」	6 4
中部地区危険物安全協会連絡会	6 6
西部地区危険物安全協会連絡会 「西風のたより」	6 8
【ちょっとひといき】	
「歩くこと」	
静岡県危険物安全協会連合会 監事 伊坂 龍一朗	7 0
「郷土と仲間」	
田方防火協会 会長 石渡 延人	7 1
「夢のリタイアメント生活」	
清水町防火協会 会長 齋藤 忍	7 2
◇ 地区協会の広場	
清水町防火協会	7 4
裾野市防火協会	7 7
島田・北榛原地区危険物安全協会	8 0
磐田市危険物安全協会	8 3
【ちょっとひといき】	
「恥の文化」	
長泉町防火協会 会長 吉田 信幸	8 7
「趣味の写真への変遷」	
掛川市危険物安全協会 会長 津田 昇	8 8
◇ 県危連からのお知らせ	
・ 県危連からのお知らせ	9 0
・ 危険物取扱者試験予備講習のご案内	9 1
・ 危険物取扱者の義務と保安講習	9 2
・ 視聴覚教材一覧	9 4
・ 令和元年度事業報告書	9 5
・ 令和元年度決算書	1 0 0
・ 令和2年度事業計画書	1 0 2
・ 令和2年度収支予算書	1 0 6
・ 役員・地区協会会長名簿	1 0 8
・ 賛助会員名簿、各委員会の委員名簿	1 1 0
◇ 地区協会事務局住所	1 1 1
◇ 【編集後記】	1 1 2



ごあいさつ

創立50周年を迎えて

一般社団法人 静岡県危険物安全協会連合会

会 長 中 島 博 康

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会は、昭和45年9月に任意団体として発足し、昭和57年には当時の民法に基づく公益法人として法人化いたしました。その後、平成25年4月に公益法人制度改革に伴い一般社団法人へと移行し、本年、創立50周年という節目の年を迎えました。

発足当時、市町村等を単位とする危険物安全協会には県連組織がありませんでしたが、静岡県や消防など行政のご指導、また各地区の協会の協力をいただき、当連合会の誕生となりました。以来、歴代会長をはじめ諸先輩方のご努力と、各地区協会や静岡県及び消防など行政機関の皆様の一とかならぬご指導、ご支援を賜りましたおかげをもちまして、この節目の年を迎えることができました。皆様方には、心からお礼を申し上げます。

今年は、お世話になりました皆様を記念式典にお招きして、共に50周年をお祝いしたいと計画しておりましたが、突然のコロナ禍により取り止めとなりましたことはまことに残念でありました。

さて、当連合会は、設立以来、危険物に起因する災害の防止を図るため、危険物の安全管理思想の啓蒙普及活動と危険物取扱者等の資質向上の促進に活発に取り組んできました。

危険物取扱者試験のための講習は昭和45年から50年間で延べ16万7千人余の方に対し、保安講習は昭和55年から40年間で延べ27万3千人余の方に対して実施してきました。また、危険物保安功労に係る会長表彰は昭和50年に始まり、これまで多くの方を表彰してきたほか、危険物管理技術研修会は昭和53年から昨年までの42年間、毎年開催してきました。

危険物事故の発生原因の多くが取扱い方の誤りなど人的な要因に起因することから、事故の発生を抑えるためには、危険物を取り扱う事業所や危険物取扱者に対する安全思想の普及と啓発が大変、重要であると考えますと、当連合会には、一層の事業の充実が求められているところであります。

当連合会の創立50周年を契機として、これから先も各地区協会との連携を更に強化し、危険物に係る事故・災害のない安全で安心な地域社会づくりに努めてまいりますので、皆様方には、従前にも増して一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



創立50周年を祝して

静岡県知事

川 勝 平 太

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会が創立50周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴連合会の皆様には、昭和45年の創立以来、危険物の安全管理思想の普及啓発活動をはじめ、保安講習等を通して危険物取扱者等の資質向上に努められるなど、地域社会の安全確保に多大な貢献を頂いておりますことに厚くお礼申し上げます。

これもひとえに、歴代の役員をはじめとした会員の皆様の御尽力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

私たちの暮らしの様々なところで、化学製品の原料、あるいはガソリンや灯油の燃料などが使用されており、日常生活に欠かすことができません。しかし、それらは危険物でもあり、工場やガソリンスタンド等において、ひとたび火災や漏えい事故が発生すれば、人命や施設等に甚大な被害をもたらす恐れがあると同時に、地域社会にも大きな影響を与えかねません。

このような中で、貴連合会は毎年、危険物の安全管理に関する研修会や講演会を開催するほか、高圧ガス・危険物防災訓練では主導的な役割を担うなど、会員の皆様が一丸となって危険物の災害事故防止に取り組んでこられたことに対しまして、改めて深く感謝を申し上げます。

皆様におかれましては、引き続き地域社会の安全を確保するため、業種の垣根を超えて事故情報の共有に努められるとともに、日常点検の推進や従業員教育の充実、危険物施設における事故防止対策の推進などの取組に最善を尽くして頂きますようお願い申し上げます。

本県は、「富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり」を県政運営の基本理念に掲げ、「命を守る安全な地域づくり」を政策の第1の柱とし、自然災害はもとより、様々な危機事案に適切に対処できるよう、地域防災力の強化や危機管理体制の充実に全力で取り組んでおります。しかし、災害や危機事案への備えは、行政だけの取組で成し得るものではありません。貴連合会におかれましては、今後とも、地域の安全・安心を支える一員として、一層の御尽力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、貴連合会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



創立50周年を祝して

一般財団法人全国危険物安全協会
理事長 兵谷 芳 康

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会が、このたび創設50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴連合会は、昭和45年9月に創設され、さらに昭和57年7月に法人化されてから現在に至るまで、危険物取扱いに関する安全管理の徹底や危険物災害の未然防止に積極的な活動を重ねてこられました。

危険物取扱者保安講習の実施、各種研修会の開催、危険物安全週間中の各種行事による安全思想の普及活動及び機関誌の発行などを通じ、危険物取扱者や危険物関係事業所だけに留まらず、広く県民に対しても危険物の取扱いに関する安全思想の普及・啓発を、50年の長きにわたり尽力されていることに心より敬意を表する次第であります。

さて、ガソリンや灯油をはじめとする危険物は、我々の生活とは切っても切れない存在であるものの、危険物に関する危険物施設は年々減少しています。一方で、危険物施設における火災や流出事故は減少しておらず、高い水準で推移しています。

こうしたなか、危険物の取扱いに関する安全管理の徹底や危険物災害の未然防止のためには、取扱いに関する安全知識の普及・啓発や、危険物取扱者をはじめとする危険物の取扱いに携わる方の知識、技術の向上が不可欠であり、極めて重要なところでもあります。

貴連合会におかれましては、創立50周年の佳節を契機に地域の安全確保と危険物災害の根絶のため、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の益々のご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



創立50周年を祝して

静岡県消防長会

会 長 海 野 雅 夫

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の創立50周年という輝かしい佳節を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴連合会及び会員の皆様方におかれましては、昭和45年の創立以来、時代や社会情勢の変化に的確な対処を図りつつ、危険物に係る安全思想の普及をはじめ危険物施設の事故防止のため各種対策を推進され、斯業の発展に寄与されましたことに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

近年、社会環境の変化に伴い災害態様が複雑・多様化したのに加え、大規模地震や異常気象による局地的な豪雨等、地域住民の安全を脅かす予測を超えた災害は後を絶たず、全国各地で甚大な被害が発生しており、危険物施設の事故・被害にあっても例外ではなく、我々消防機関はもとより貴連合会に寄せられる期待も益々大きくなっております。

また、新型コロナウイルス感染症の猛威は世界中を襲い、三密対策や在宅勤務などの新たな生活様式を求められるといったこれまでにない事態となっております。

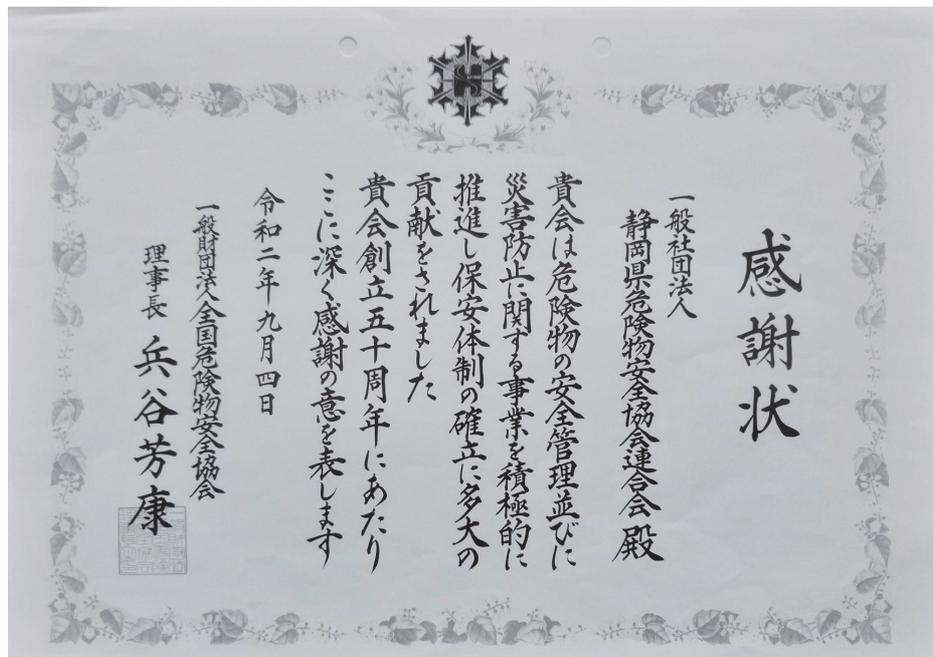
このような状況を踏まえ、静岡県消防長会としましても、更なる消防活動体制の充実強化に努めるとともに、より適切な危険物行政の推進について、貴連合会と連携した各種の施策を積極的に進めて参る所存であります。

貴連合会におかれましても、今後とも県民の皆様と地域社会の安全確保のため、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝並びに危険物災害が減少し、安心・安全な静岡となるよう心から祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立50周年記念特集

50年のあゆみ



第一 設立から一般社団法人へ

1 静岡県危険物安全協会連合会（任意団体）の設立

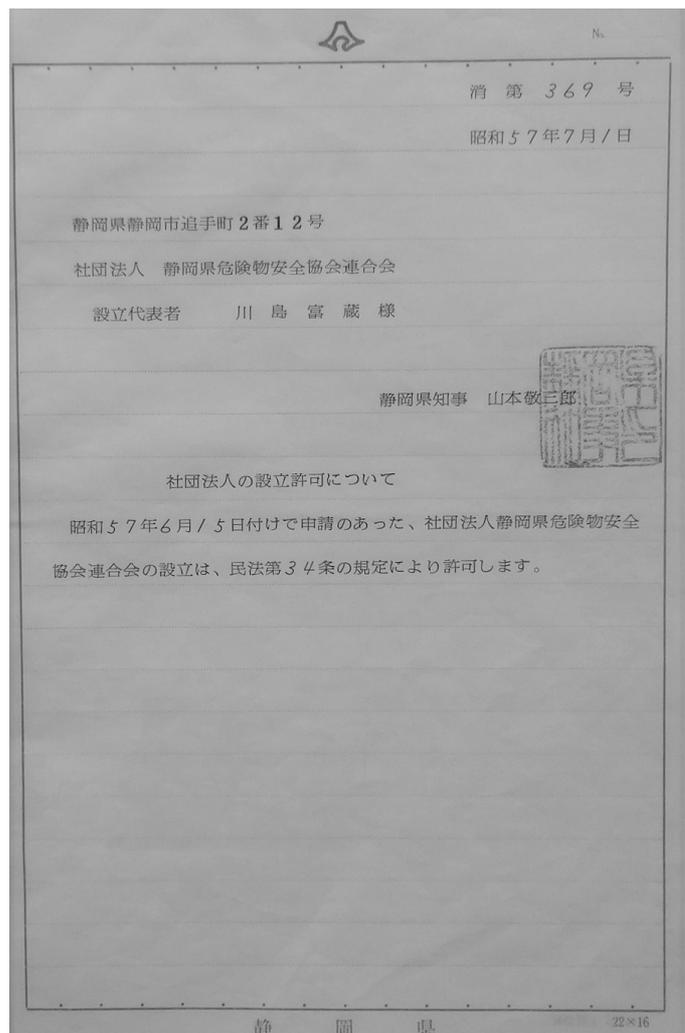
全国危険物安全協会連合会設立の動きを背景に、昭和45年1月、県内の市町村等を単位とする危険物安全協会（以下「地区協会」）の会長会議が開催され、静岡県危険物安全協会連合会の設立と全国危険物安全協会連合会への加入について協議が始まりました。その後の数次の協議、調整を経て、昭和45年9月4日、静岡県庁4階「正庁」において開催された設立総会をもって、任意団体としての「静岡県危険物安全協会連合会」が設立されました。

当初、16の地区協会を会員として、保安講習会の開催や機関誌の発行等を主な事業として発足しました。

2 社団法人静岡県危険物安全協会連合会へと公益法人化

昭和57年3月25日、静岡県危険物安全協会連合会の川島富蔵会長ほか7名が発起人となり、危険物に起因する火災、爆発等の事故が一向に衰えないことを背景に、危険物に関係する者は危険物の取扱い・貯蔵の安全に対する責任を全うしなければならないとし、「なお一層の飛躍を期して発展的解消を行ない、公益組織として社団法人静岡県危険物安全協会連合会を設立し、この種災害防止に全力を傾け、静岡県民の生命と財産を擁護し、もって公共福祉の増進に大きく寄与せんとする」とする設立趣意書が理事会に提案されました。

4月30日、評議員会において、静岡県危険物安全協会連合会の解散と社団法人静岡県危険物安全協会連合会の設立が決議され、6月15日、静岡県知事に対して設立許可を申請しました。7月1日に民法第34条（当時）の規定に基づき「社団法人静岡県危険物安全協会連合会」の設立が許可されました。



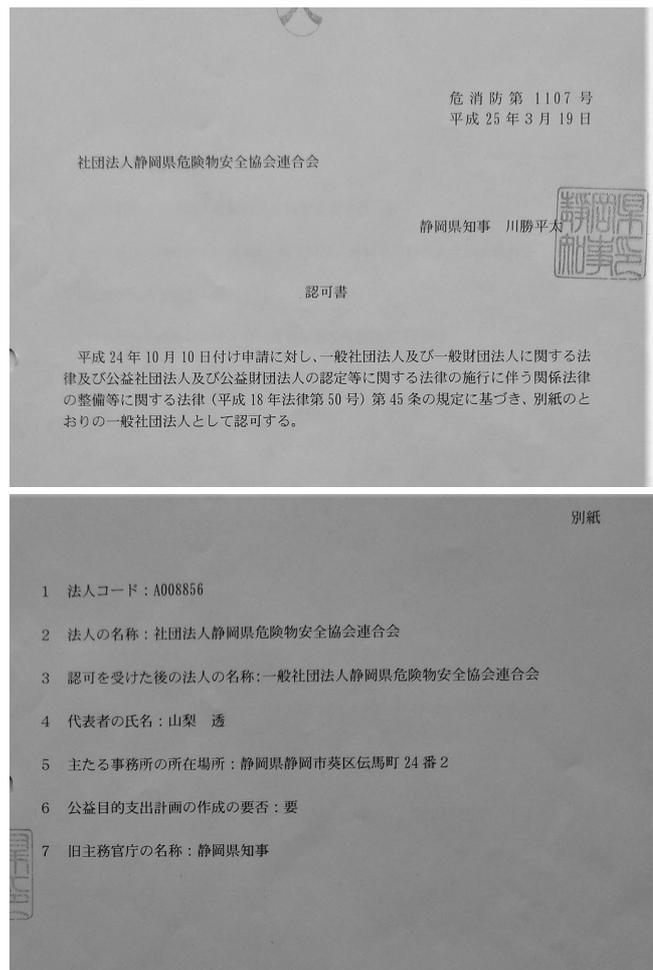
社団法人の設立許可書

3 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会への移行

明治29年の民法制定から始まった公益法人制度は、平成13年以降、国において抜本的な制度改革への取組みが進められ、平成18年6月に「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」など関連3法が公布されました。これにより、当連合会も平成25年11月末までに新制度に対応することが求められることとなりました。

当時、公益社団法人の認定を得ることを模索しましたが、認定条件について理事会や総会での議論を経て、一般社団法人に移行するとの結論に達しました。

平成24年6月15日の平成24年度第1回通常総会に「一般社団法人移行認可申請に関する件」が上程・決議され、同年10月10日に静岡県知事に移行認可を申請したところ、平成25年3月19日に認可を得て、4月1日に、現在の「一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会」へと移行しました。



一般社団法人への移行認可書

第二 連合会の概要

1 会員

定款で当連合会の会員は、「正会員」、「賛助会員」及び「特別会員」としています。正会員は、「危険物施設を有する事業所をもって地域ごとに組織された危険物の安全確保等を目的とした団体」と定義しており、現在、県内の各地域においてそれぞれ組織された危険物安全協会等25の団体（地区協会）で構成されます。

設立当初は、16の地区協会が参加しました。昭和60年に天竜市危険物安全協会の加入を得て正会員数は31となり、消防常備化市町村の地区協会のすべて加入したこととなりました。その後、市町村合併や消防の広域化等により、現在の25地区協会となっています。

賛助会員には、当連合会の事業に賛同していただいた4団体が加入しています。

2 役員

当連合会の役員は、定款上、「理事 5名以上12人以内、監事 2名以内」としています。現在の役員数は、理事10名、監事 2名です。現在の会長及び副会長は以下のとおりです。

会長 中島 博康 (沼津市防火協会会長)
副会長 鈴木 裕司 (浜松市防災協会会長)
副会長 相川 賀秀 (静岡市防災協会副会長)

3 事務所

当連合会の事務所所在地は、静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階 となります。

事務所の移り変わりですが、昭和45年に任意団体として発足した当初、静岡県庁の消防防災課内に事務局を置きました。

昭和51年4月、独立した事務局とするため、静岡市追手町2番12号の「安藤ビル」4階に事務所を設けました。ここが手狭となったため、平成6年4月には、床面積がより広い同ビルの7階に移転しています。

平成21年3月、経費削減の一環として、現在地へと移転しました。移転先ビルの当時の名称は「穴吹第17静岡ビル」でした。平成23年3月、ビル所有者の変更に伴い、名称が「相川伝馬町ビル」に変わり、現在に至ります。

第三 主な事業

1 危険物取扱者保安講習

消防法第13条の23に規定する危険物取扱者保安講習は、昭和46年に制度化され、静岡県が講習を行っていましたが、昭和55年に静岡県から委託を受けて以来、当連合会が毎年度、保安講習を実施しています。

例年、講習は、44回程度を7月期、9月期、11月期及び2月期の4期に分けて、県内各地で行っています。講習は、消防庁告示に従って、①給油取扱所、②石油コンビナート及び③その他（一般）の3区分に分けています。また、一定数以上の受講者がまとめれば、企業への出張講習も行っています。

近年の申請数は、毎年8千人前後であり、また、昭和55年から令和元年までの申請者



裾野市での保安講習

合計は273,639人に及んでいます。

2 危険物取扱者試験予備講習

危険物施設の自主安全管理の充実に向け、危険物取扱者を養成するため、危険物取扱者試験（乙種第4類）の受験者を対象とする講習会（予備講習）を実施しています。

予備講習は、6月期、11月期及び2月期と県内の危険物取扱者試験の実施月にあわせて年3期としており、それぞれ1日講習と2日講習を用意しています。

この講習は、当連合会の設立した年から始め、これまで毎年、継続して実施しています。年間で800程度の申請数ですが、最高では昭和48年に8,134人もの方から申請があり、令和元年までの申請者数は通算で167,864人となっています。

3 危険物管理技術研修会

昭和53年度にスタートした「保安管理講習会」は、平成21年度に現在の「危険物管理技術研修会」に改称しました。

危険物管理技術研修会は、危険物に関わる災害事故の防止を目的として、危険物の貯蔵や取扱いの保安管理に関する知識、技術等の向上を図るため、危険物に係る行政職員や専門家、学識者等を講師に招き、毎年開催しています。



平成29年度危険物管理技術研修会

4 創立記念大会（危険物安全大会）

昭和50年、危険物の安全管理の普及のために設けた「静岡県危険物安全週間」（9月1日から1週間）の期間中に「危険物安全大会」を開催したのが始まりです。

平成3年には、名称を「創立記念大会」に改め、毎年9月に開催しています。

記念大会では、主な行事として、危険物の保安功労者等の表彰及び記念講演を行います。



令和元年度創立記念大会

5 表彰

危険物施設の安全管理に努めた事業所、危険物安全思想の啓蒙・普及に功労のあった者、危険物の安全管理に功労のあった危険物取扱者等を対象に表彰規程に基づき表彰しています。表彰の種類は、「優良事業所表彰」、「保安功労者表彰」、「優良取扱者表彰」、「特別表彰、感謝状」です。

また、消防庁長官表彰、一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰及び静岡県知事表彰・知事褒賞の表彰候補者の推薦手続きを行っています。



平成30年度表彰状授与式

6 機関誌の発行

危険物災害事故防止思想の普及と各種情報の周知を図るため、当連合会発足の年から毎年度、機関誌を発行しています。平成元年度までは年2回発行し、平成2年度からは年1回発行に変更し、令和2年度で第70号となります。

平成15年9月発行の第53号まではB5判でしたが、翌平成16年9月発行の第54号からA4判となりました。また、インターネット環境の充実にあわせ、平成22年9月発行の第60号からはWEB上での公開を開始しました。同時に、紙ベースの印刷部数は、約6千部から約4百部としました。



7 広報活動事業

主な広報・啓発の活動は次のとおりです。

①危険物安全週間への参加

毎年6月の危険物安全週間の期間中に東京で開催される危険物安全大会に参加します。

②危険物安全週間啓発ポスター及び小冊子の配布

安全週間ポスター及び危険物に関する小冊子を地区協会を通じて配布しています。

創立50周年記念

資料編

資料目次

◇ 連合会の創立に至るまで（会報第1号の記事）	12
◇ 設立に至るまでの経過報告（設立総会での経過報告）	13
◇ 年表	14
◇ 歴代正副会長	22
◇ 消防庁長官表彰受賞歴	24
◇ （一財）全国危険物安全協会理事長表彰受賞歴	26
◇ 静岡県知事表彰及び連合会会長表彰受賞の状況	30
◇ 危険物取扱者保安講習申請者数の推移	32
◇ 危険物取扱者試験予備講習申請者数の推移	33
◇ 危険物管理技術研修会開催状況	35

危険物安全協会連合会の第一報が発刊されるに当り一言お

へら感想を述べさせて頂きます。

ふりかえって見れば連合会が結成されるまでには、すい分いろいろ問題が多く一時はその設立もあやぶまれた時もありました。

昨年一月二十一日県下の危険物安全協会会長が伊東市で開備されたとき、静岡市の望月会長さんから始めて全国危険物安全協会連合会の設立とその概況の説明があり静岡県がこれに加盟するかどうかについて当日出席した各市

の協会長と関係者が意見交換を行ったのであります。全国連合会の加盟は先づ県に連合会の

支部を造らなければならぬがこれに伴う負担金その他の問題もあり各市の安全協会としても今後大きな影響のある重要なことなので各市毎に役員会にはかつて後日その結論を持ちより改めて検討することになったのであります。

その後静岡市の肝いりで数回に亘り関係者の会議が行なわれたが、危険物取扱主任者の予備講習会費の値上げ問題等もからんでなかなか意見

がまとまらずそのうち連合会性格や必要性などについて云々する協会も出て前途多難で、このまとめ役の立場にあった静岡の望月会長さんや、事務局の方々のご苦労は本当にお気の毒であった。当市としては予備講習会費の値上げや会の運営方針が明確でなかったので多少問題はあったが安全協会の発展と会員の視野を広め、知識を高めるためには組織が大きくなる事は何かにつけプラスになると考え、会長と相談し早速役員会を開催してこの主旨を説明した結果

がまとまらずそのうち連合会性格や必要性などについて云々する協会も出て前途多難で、このまとめ役の立場にあった静岡の望月会長さんや、事務局の方々のご苦労は本当にお気の毒であった。当市としては予備講習会費の値上げや会の運営方針が明確でなかったので多少問題はあったが安全協会の発展と会員の視野を広め、知識を高めるためには組織が大きくなる事は何かにつけプラスになると考え、会長と相談し早速役員会を開催してこの主旨を説明した結果

連合会の創立に至るまで

清水市消防本部予防課長 藤 田 正 雄

役員全員の賛同を得たので連合会の設立に積極的に協力することになったのであります。

しかし静岡市でその後県の東部、中部、西部の各協会から選出された安全協会長とその関係者が集り連合

会の性格や負担金、予備講習会費の値上げ問題等について協議したが出席者の役員の顔ぶれがその都度変つたり、事務局と会長の意見が喰違つたりして主旨が徹底せず、行ったり

来たり同じような会議が何回か繰返された。

この間県消防防災課長さんの移動や二、三の協会から連合会の創立は時尚早だという反対意見も出てなかなか足並がそろわず関係者の苦勞は容易なものではなかった。その後、後任の県消防防災課長さんや久保田さん石切山さんの陰の協力と望月会長さんのねばり強い努力によって八月一日連合会の運営方針の大綱と会則の最終案がようやくまとまり、とに即九月四日に創立総会を行うことを

決め各都市に呼びかけた処、いろいろ問題はあったが総会には県下一六の協会が出席、ここに目出度く静岡県危険物安全協会連合会が誕生したのであります。

発会当時組織の体質上その加入を一時保留されていた富士市もその後正式に加入されこれで県下一七の全協会がそろい県消防防災課の援助のもとに望月新会長を中心として危険物災害の防止を旗印に活ばつた運動

を展開することになったのであります。

私も当時職員の立場で初めからの会が生れることを念願して来た一人であつたが、この結成に協力させて頂きました関係上本会が無事誕生した事はこの上もない喜びであります。

しかし今静かに当時を顧り見て反省することは安全協会の運営は現在殆んど消防本部職員が業務し消防本部は指導的な立場でこれに協力している関係上当初基本方針を事務担当者

が十分検討し消防本部としての意見を事前にまとめ、会長との意志の疏通をはかっていたればもっとスムーズに事が運んだ様な気がする。

公害は現代社会の敵である。特に危険物災害は社会に大きな損害を与えるので関係者の責任は重大であり、その為にも高度な防災知識が必要であることはいうまでもない。文字通り官民一体となつて予防体制の充実をはかり無災害に総力を結集しなければならぬ。その意味から安全協会の使命は大きく連合会の今後の活躍を期待してやまないのであります。最後に会員皆様の無事故をお祈りすると共に会報の発刊を心からお祝い申し上げます。

設立に至るまでの経過報告

月 日	実 施 内 容
昭和 44 年 12 月 16 日	東海北陸地区所在県の危険物安全協会(以下「ブロック協会」という。)会長会議開催(於名古屋市)静岡県危険物安全協会連絡会(以下「連絡会」という。)望月会長、静岡市消防本部岡村係長、県消防防災課望月主事出席。会議は消防庁の指導により 11 月 20 日東京で開催された全国危険物安全協会連合会(以下「全協」という。)設立準備会にブロック協会代表として出席した愛知県危険物安全協会協議会(以下「愛知協議会」という。)会長から全協設立の経緯と趣旨について説明、全協加入の可否について協議。
昭和 45 年 1 月 21 日	県内の市町村等を単位として設立されている危険物安全協会(以下「地区協会」という。)会長会議開催(於伊東市)。12 月 16 日名古屋で開催されたブロック協会会議に出席した連絡会会長から全協設立の趣旨と経緯について説明、静岡県危険物安全協会連合会(以下「連合会」という。)の設立ならびに全協への加入について協議、それぞれ地区協会へ持ち帰って検討することに決定。
昭和 45 年 2 月 21 日	連合会設立に伴う予算の打合せならびに県費助成陳情のため連絡会代表(静岡、清水地区協会会長外)県消防防災課へ。
昭和 45 年 3 月 20 日	地区協会会長会議開催(於静岡市消防本部)連合会の設立ならびに全協加入について協議、次のように決定。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 連合会の設立については 16 協会中賛成 11、保留のうえ後日回答 5 で設立することに決定。 2. 設立準備のため東部、中部、西部より委員を選出し、会則等の審議をすることになり委員に熱海、沼津、清水、静岡、磐田、浜松の地区協会代表者と静岡市消防本部予防課、県消防防災課が推せんされた。 3. 設立のための事務処理については県消防防災課と静岡市消防本部予防課が連絡のうえ進める。 なお、設立後しばらくの間、事務処理は県消防防災課で行なう。 4. 全協には加入する。
昭和 45 年 5 月 14 日	第 1 回準備委員会開催連合会会則案等審議(於静岡市中央公民館)
昭和 45 年 5 月 日	準備委員会開催打合せのため(静岡地区協会会長、静岡市予防課長)県消防防災課へ
昭和 45 年 6 月 6 日	第 2 回準備委員会開催、連合会会則案等審議(於県庁貴賓次室)
昭和 45 年 6 月 12 日	全協創立総会へ連絡会会長出席
昭和 45 年 6 月 17 日	地区協会会長会議開催連合会会則案等審議(於静岡市消防本部)
昭和 45 年 7 月 29 日	準備委員会開催打合せのため(静岡地区協会会長、同副会長、同事務局海野氏)県消防防災課へ
昭和 45 年 8 月 1 日	第 3 回準備委員会開催、連絡会会則案等審議(於県庁東館 4 階会議室)

年 表

年	連合会・地区協会	消防関係・災害事故など
1948 (昭和 23)		<ul style="list-style-type: none"> • 3月7日 国家消防庁発足、消防組織法施行、自治体消防誕生 • 7月24日 消防法公布 (8月1日施行)
1959 (昭和 34)		<ul style="list-style-type: none"> • 4月1日 消防法改正 (危険物の全国統一規制)
1960 (昭和 35)		<ul style="list-style-type: none"> • 7月1日 自治省消防庁発足
1961 (昭和 36)		<ul style="list-style-type: none"> • 5月30日 全国都市消防長連絡協議会を全国消防長会と改称
1964 (昭和 39)		<ul style="list-style-type: none"> • 3月25日 (財) 日本防火協会設立
1969 (昭和 44)	<ul style="list-style-type: none"> • 1月24日 静岡県危険物安全協会連絡会設立のため地区協会 会長による連絡会議 • 3月26日 静岡県危険物安全協会連絡会設立総会 • 12月16日 東海北陸地区所在県危険物安全協会 (ブロック協 会) 会長会議で全国危険物安全協会連合会加入の 可否について協議 	<ul style="list-style-type: none"> • 5月7日 (財) 日本防災協会設立 • 11月20日 全国危険物安全協会連合会設立準備会
1970 (昭和 45)	<ul style="list-style-type: none"> • 1月21日 静岡県危険物安全協会連絡会会長会議で静岡県危 険物安全協会連合会設立と全国危険物安全協会連 合会加入について協議 • 3月20日 静岡県危険物安全協会連絡会会長会議で静岡県危 険物安全協会連合会設立及び全国危険物安全協会 連合会加入について決定 • 5月14日 第1回準備委員会 • 6月6日 第2回準備委員会 • 6月12日 全国危険物安全協会連合会設立総会へ静岡県危険 物安全協会連絡会会長が出席 • 6月17日 静岡県危険物安全協会連絡会会長会議 • 8月1日 第3回準備委員会 • 9月4日 静岡県危険物安全協会連合会設立総会 賀茂郡、伊東市、熱海市、三島市、御殿場市・小 山町、沼津市、富士宮市、庵原地区、清水市、静 岡市、藤枝市、島田市、掛川市、袋井市、磐田、 浜松市の各危険物安全協会 (会員 16 地区協会) 	<ul style="list-style-type: none"> • 6月11日 救急車サイレン音を電子サイレン化 (ピーポ) • 6月12日 全国危険物安全協会連合会設立 • 12月17日 (財) 日本防火研究普及協会設立

	<p>○正副会長 〈初代会長：望月靖彦（静岡市） 〈初代副会長：遠藤永太郎（沼津市） 川島富蔵（清水市） 中村良一（浜松市）〉</p> <p>○当初事業 〈予備講習〉 〈地区協会事業：免状所有者再教育講習協力〉 〈地区協会への助成〉 〈機関紙発行〉 ・富士市防火協会加入（会員 17 地区協会）</p>	
1971 （昭和 46）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月 31 日 会報創刊号発刊 ・ 新規事業 〈映写機とフィルム購入〉 〈火災予防週間事業で地区協会へ助成〉 〈視察研修〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 月 10 日 ロサンゼルス大地震 ・ 6 月 1 日 消防法改正（危険物取扱者制度の確立（保安講習制度制定））
1972 （昭和 47）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国危険物安全協会連合会に加盟 ・ 4 月 22 日 長泉町危険物安全協会加入〈会員 18 地区協会〉 ・ 7 月 6 日 焼津市大井川町危険物安全協会加入 〈会員 19 地区協会〉 ・ 島田市危険物安全協会が島田・金谷地区危険物安全協会に改称 ・ 正副会長 〈第 2 代会長：川島富蔵（清水市）〉 〈副会長：遠藤永太郎（沼津市） 木村芳雄（静岡市） 中村良一（浜松市）〉 ・ 新規事業 〈火災予防週間でポスターと垂幕配付〉 〈県の総合防災訓練へ参加：地区協会主体〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 13 日 千日デパートビル火災 ・ 9 月 28 日 第 1 回全国消防救助技術大会
1973 （昭和 48）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月 26 日 裾野市危険物安全協会加入〈会員 20 地区協会〉 ・ 4 月 1 日 田方危険物安全協会加入〈会員 21 地区協会〉 ・ 4 月 富士宮市危険物安全協会が富士宮市芝川地区危険物安全協会に改称 ・ 正副会長 〈会長：川島富蔵（清水市）〉 〈副会長：佐藤英之助（沼津市） 原木周作（静岡市） 中村良一（浜松市）〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 29 日 大洋デパート火災
1974 （昭和 49）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月 1 日 9 月 1 日から 7 日を静岡県危険物安全週間として制定 ・ 9 月 1 日 引佐郡危険物安全協会加入〈会員 22 地区協会〉 ・ 新規事業 〈役員等対象の研修会〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 9 日 伊豆半島沖地震 ・ 7 月 7 日 七夕豪雨 ・ 12 月 18 日 三菱石油(株)水島製油所重油流出事故

1975 (昭和 50)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 浜北市危険物安全協会加入〈会員 23 地区協会〉 ・9月4日 第1回危険物安全大会開催 ・焼津市危険物安全協会が焼津市大井川町危険物安全協会に改称 ・正副会長 〈会長：川島富蔵（清水市）〉 〈副会長：佐藤英之助（沼津市） 木村芳雄（静岡市） 中村良一（浜松市）〉 ・新規事業 〈危険物安全大会〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月1日 （財）日本消防設備安全センター設立 ・12月17日 石油コンビナート等災害防止法公布 （51年6月1日施行）
1976 (昭和 51)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 事務局独立 （県消防防災課内から追手町の安藤ビルへ：初代 事務局長 吉野彬雄） ・4月28日 会則の一部改正（委員会の設置） ・7月1日 小笠地区危険物安全協会加入 〈会員 24 地区協会〉 ・12月7日 湖西市・新居町危険物安全協会加入 〈会員 25 地区協会〉 ・新規事業 〈保安管理講習会（会員に対する自主講習）〉 〈消防機関連絡会議〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月29日 酒田市大火 ・11月10日 危険物保安技術協会設立 ・12月26日 沼津市雑居ビル火災
1977 (昭和 52)	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマークの募集、制定 ・正副会長 〈会長：川島富蔵（清水市）〉 〈副会長：佐藤英之助（沼津市） 木村芳雄（静岡市） 明石為次（浜松市）〉 ・12月1日 西伊豆広域危険物安全協会加入 〈会員 26 地区協会〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月16日 （財）消防科学情報研究センター設立（後の（財）消防科学総合センター）
1978 (昭和 53)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業 〈保安技術連絡会の設置〉 ・4月28日 吉田榛原危険物安全協会、相良浜岡御前崎地区危険物安全協会加入 〈会員 28 地区協会〉 ・清水市危険物安全協会が清水市防火協会に改称 （以降、市町村合併に伴う名称変更以外は、記載しない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月14日 伊豆大島近海地震 ・6月15日 大規模地震対策特別措置法公布（12月14日施行）
1979 (昭和 54)	<ul style="list-style-type: none"> ・11月1日 清水町危険物安全協会加入〈会員 29 地区協会〉 ・7月6日 東部危険物安全協会会長会議 （現「東部地区危険物安全協会連絡会」発足） 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月11日 東名高速日本坂トンネル内車両火災 ・8月7日 地震防災対策強化地域指定
1980 (昭和 55)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業 〈保安講習受託事業：静岡県から〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・8月16日 静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災

1981 (昭和 56)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長 〈会長：川島富蔵（清水市） 副会長：佐藤英之助（沼津市） 杉山菊雄（静岡市） 内山玄治（浜松市）〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月15日 適マーク制度全国実施
1982 (昭和 57)	<ul style="list-style-type: none"> ・3月25日 法人化を理事会で決定 ・4月30日 法人設立総会 ・7月1日 法人設立許可 ・7月13日 法人設立登記完了 ・新規事業 〈免状交付等事務受託事業：静岡県から〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月8日 ホテル・ニュージャパン火災 ・2月9日 羽田沖日航機墜落事故 ・4月1日 （財）消防科学情報研究センターと（財）消防研修協会が統合し、（財）消防科学総合センター発足 ・9月9日 第1回救急の日
1983 (昭和 58)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2代事務局長 〈石田貞義〉 	
1984 (昭和 59)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長 〈会長：川島富蔵（清水市） 副会長：佐藤英之助（沼津市） 杉山菊雄（静岡市） 藤田郁治（浜松市）〉 ・6月13日 東伊豆町危険物安全協会加入（賀茂から分離） 〈会員 30 地区協会〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月18日 三井三池炭鉱坑内火災 ・10月1日 （財）消防試験研究センター設立
1985 (昭和 60)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月27日 天竜市危険物安全協会加入〈会員 31 地区協会〉 （消防常備化市町村の地区協会 100%加入） 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月22日 第1回全国婦人消防操法大会
1986 (昭和 61)		<ul style="list-style-type: none"> ・2月11日 熱川大東館火災 ・4月1日 国際消防救助隊の結成 ・11月21日 伊豆大島三原山大噴火（全島民離島）
1987 (昭和 62)		<ul style="list-style-type: none"> ・11月9日 第1回119番の日
1988 (昭和 63)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 西部地区危険物安全協会連絡会発足 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 （財）全国危険物安全協会設立（旧「全国危険物安全協会連合会」） ・5月24日 消防法改正（危険物の定義の明確化等抜本的見直し）
1989 (平成元)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長 〈第3代会長：杉山菊雄（静岡市） 副会長：鷹巣英治（沼津市） 福田豊（清水市） 藤田郁治（浜松市）〉 ・第3代事務局長 〈伊達俊夫〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月末から 伊豆群発地震
1990 (平成 2)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 中部地区危険物安全協会連絡会発足 ・9月4日 危険物安全大会（創立 20 周年記念）開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年6月第2週（日曜日から土曜日） 危険物安全週間制定（消防庁）

1991 (平成 3)	<ul style="list-style-type: none"> 9月4日 創立記念大会（危険物安全大会を改称） 	<ul style="list-style-type: none"> 4月23日 救急救命士法公布（8月15日施行） 5月26日 雲仙普賢岳噴火災害
1992 (平成 4)	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長 〈第4代会長：藤田郁治（浜松市）〉 〈副会長：鷹巢英治（沼津市） 福田豊（清水市） 櫻井一男（静岡市）〉 第4代事務局長 〈川崎二郎〉 	
1993 (平成 5)		
1994 (平成 6)		
1995 (平成 7)	<ul style="list-style-type: none"> 第5代事務局長 〈坂本雅彦〉 	<ul style="list-style-type: none"> 1月17日 阪神淡路大震災 6月30日 緊急消防援助隊創設
1996 (平成 8)		<ul style="list-style-type: none"> 1月17日 第1回防災とボランティアの日 1月22日 全国航空消防防災協議会設立
1997 (平成 9)		
1998 (平成 10)		<ul style="list-style-type: none"> 2月25日 危険物の規制に関する政令改正（セルフスタンドの基準の整備等）〈4月1日施行〉 4月1日 セルフスタンド営業開始
1999 (平成 11)	<ul style="list-style-type: none"> 第6代事務局長 〈金井勝〉 	<ul style="list-style-type: none"> 7月16日 総務省設置法公布（13年1月6日施行）
2000 (平成 12)		<ul style="list-style-type: none"> 3月31日 有珠山噴火
2001 (平成 13)	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長 〈第5代会長：櫻井一男（静岡市）〉 〈副会長：杉山尚（沼津市） 西川昭策（清水市） 中村捷二（浜松市）〉 第7代事務局長 〈杉山猛〉 	<ul style="list-style-type: none"> 1月6日 省庁再編、消防庁移転改組 9月1日 新宿歌舞伎町ビル火災
2002 (平成 14)		
2003 (平成 15)		<ul style="list-style-type: none"> 8月14日 三重ごみ固化燃料発電所火災爆発事故 9月8日 ㈱ブリジストン栃木工場火災 9月26日 十勝沖地震 出光興産㈱北海道製油所原油タンクリング火災、ナフサタンク全面火災
2004 (平成 16)		<ul style="list-style-type: none"> 10月23日 新潟県中越地震 12月26日 スマトラ沖大地震、インド洋津波災害

<p>2005 (平成 17)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正副会長 〈会長：櫻井一男（静岡市） 副会長：桑原明文（沼津市） 西川昭策（清水市） 中村捷二（浜松市）〉 • 第 8 代事務局長 〈古屋佳宏〉 • 3月 31 日 市町村合併により小笠地区危険物安全協会解散 • 4月 1 日 菊川市危険物安全協会発足 	<ul style="list-style-type: none"> • 8月 15 日 消防庁に国民保護・防災部設置
<p>2006 (平成 18)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正副会長 〈会長：櫻井一男（静岡市） 副会長：桑原明文（沼津市） 水野義猛（藤枝市） 中村捷二（浜松市）〉 • 4月 1 日 市町村合併（平成 15 年 4 月 1 日）により静岡市危険物安全協会と清水防火協会が合併し、静岡市防災協会となる。 市町村合併（平成 17 年 7 月 1 日）により浜松市、浜北市、天竜市春野町、引佐郡の各危険物安全協会が合併し、浜松市危険物安全協会となる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 24 日 消防庁ヘリコプター運行開始 • 5月 27 日 インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波災害 • 7月 12 日 消防広域化推進本部設置（消防庁）
<p>2007 (平成 19)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正副会長 〈会長：櫻井一男（静岡市） 副会長：中島博康（沼津市） 水野義猛（藤枝市） 中村捷二（浜松市）〉 	<ul style="list-style-type: none"> • 1月 1 日 消防団協力事業表示制度運用開始 • 2月 6 日 全国瞬時警報システム（J-ALERT）運用開始 • 7月 16 日 新潟県中越沖地震 • 10月 1 日 緊急地震速報運用開始（気象庁）
<p>2008 (平成 20)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正副会長 〈第 6 代会長：中村捷二（浜松市） 副会長：中島博康（沼津市） 水野義猛（藤枝市） 山梨透（静岡市）〉 • 第 9 代事務局長 〈息明雄〉 • 10月 30 日 市町村合併により庵原地区協会が解散（旧由比町は静岡市へ、旧富士川町は富士市へ） • 11月 1 日 市町村合併により焼津市大井川町危険物安全協会が焼津市危険物安全協会に改称 	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 7 日 自治体消防制度 60 周年 • 5月 12 日 中国四川省で大規模地震 • 6月 14 日 岩手・宮城内陸地震 • 8月 3 日 首都高速タンクローリー横転火災事故 • 10月 1 日 大阪市浪速区個室ビデオ店火災
<p>2009 (平成 21)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 28 日 事務所移転 〈伝馬町の穴吹第 17 静岡ビルへ〉 	<ul style="list-style-type: none"> • 8月 11 日 駿河湾地震最大震度 6 弱 • 9月 11 日 岐阜県消防防災ヘリコプター墜落事故 • 11月 30 日 インドネシア・スマトラ沖地震

<p>2010 (平成 22)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 23 日 市町村合併により富士宮市芝川町防火安全協会が富士宮市防火安全協会に、湖西市・新居町危険物安全協会が湖西市危険物安全協会に改称 • 正副会長 〈第 7 代会長：山梨透（静岡市）〉 〈副会長：中島博康（沼津市） 鈴木裕司（浜松市） 吉原徹郎（静岡市）〉 • 9月 3 日 創立 40 周年記念大会・記念祝賀会 • 創立 40 周年記念事業 ホームページ・リニューアル 〈4 月 1 日〉 パーソナルコンピューター整備 〈6 月 11 日〉 視察研修〈沖縄県〉 〈11 月 25～27 日〉 • 9月 15 日 会報WEB版を開始 	<ul style="list-style-type: none"> • 1月 12 日 ハイチ大地震 • 3月 20 日 東富士演習場野焼き死亡事故 • 2月 27 日 チリ大地震 • 5月 18 日 ツイッターを利用した災害情報タイムライン利用開始 (消防庁)
<p>2011 (平成 23)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 1 日 事務所ビルの名称変更（相川伝馬町ビルに） • 第 10 代事務局長 〈日吉公男〉 	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 11 日 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震） 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故 コスモ石油(株)千葉製油所液化石油ガスタンク火災 • 11月 13 日 東ソー(株)南陽事業所プラント爆発
<p>2012 (平成 24)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 16 日 一般社団法人への移行の方向が総会で決議 • 6月 15 日 一般社団法人への移行認可の申請を総会で決議 • 正副会長 〈会長：山梨透（静岡市）〉 〈副会長：中島博康（沼津市） 鈴木裕司（浜松市） 大河原三雄（島田・北榛原地区）〉 • 10月 10 日 知事へ一般社団法人への移行認可を申請 	<ul style="list-style-type: none"> • 4月 22 日 三井化学(株)岩国大竹工場プラント爆発火災 • 5月 13 日 広島県福山市ホテル火災 • 6月 27 日 消防法改正(雑居ビル等における防火・防災管理体制の強化、消防用機器等の「検定」制度等の見直し等) • 9月 29 日 (株)日本触媒姫路製造所プラント爆発火災
<p>2013 (平成 25)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 19 日 一般社団法人への移行が認可 • 4月 1 日 一般社団法人に移行（一般社団法人設立） • 6月 28 日 牧之原市相良地区危険物安全協会が加入 	<ul style="list-style-type: none"> • 8月 15 日 京都府福知山市花火大会火災 • 10月 11 日 福岡市博多区整形外科火災 • 12月 13 日 消防団等充実強化法公布・施行
<p>2014 (平成 26)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正副会長 〈第 8 代会長：中島博康（沼津市）〉 〈副会長：鈴木裕司（浜松市） 春日雅博（富士市） 吉原徹郎（静岡市）〉 • 第 11 代事務局長 〈宮澤武久〉 	<ul style="list-style-type: none"> • 1月 9 日 三菱マテリアル(株)四日市工場爆発事故 • 9月 27 日 御嶽山噴火
<p>2015 (平成 27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 3月 31 日 西伊豆広域危険物安全協会が解散により退会（会員は下田地区危険物安全協会へ） • 6月 26 日 定款変更（副会長 3 名→2 名） • 正副会長 〈会長：中島博康（沼津市）〉 〈副会長：鈴木裕司（浜松市） 糠谷徳昭（静岡市）〉 	<ul style="list-style-type: none"> • 5月 17 日 川崎市簡易宿泊所火災

2016 (平成 28)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 志太危険物安全協会入会（焼津市危険物安全協会と藤枝市危険物安全協会が解散・移行） ・正副会長 〈会長：中島博康（沼津市）〉 〈副会長：鈴木裕司（浜松市） 相川賀秀（静岡市）〉 ・第12代事務局長 〈近藤聡〉 ・12月22日 事務所ネットに情報セキュリティシステム導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月14日、16日 熊本地震 ・12月22日 新潟県糸魚川市大規模火災
2017 (平成 29)		<ul style="list-style-type: none"> ・12月17日 さいたま市特殊浴場火災
2018 (平成 30)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長 〈会長：中島博康（沼津市）〉 〈副会長：鈴木裕司（浜松市） 相川賀秀（静岡市）〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月26日 東京都多摩市工事中建物火災 ・9月6日 北海道胆振東部地震
2019 (平成 31) (令和元)	<ul style="list-style-type: none"> ・第13代事務局長 〈小林比登志〉 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月18日 京都アニメーション放火殺人事件 ・10月31日 沖縄県那覇市首里城跡火災
2020 (令和2)	<ul style="list-style-type: none"> ・正副会長 〈会長：中島博康（沼津市）〉 〈副会長：鈴木裕司（浜松市） 相川賀秀（静岡市）〉 ・7月13日 知事へ公益目的支出計画実施完了確認を請求 ・7月17日 知事が公益目的支出計画の実施完了を確認 ・9月11日 創立50周年記念式典（コロナ渦で中止） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の発生、流行 ・7月30日 福島県郡山市飲食店ガス爆発事故

◇一般社団法人移行後の会員数（毎年4月1日現在）

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R 2
会員数	26	27	26	25	25	25	25	25

歴代正副会長

年度	会長	副会長 (※1)			
昭和45	望月 靖彦 (静岡市)	遠藤永太郎 (沼津市)	川島 富蔵 (清水市)	中村 良一 (浜松市)	
46	望月 靖彦 (静岡市)	遠藤永太郎 (沼津市)	川島 富蔵 (清水市)	中村 良一 (浜松市)	
47	川島 富蔵 (清水市)	遠藤永太郎 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	中村 良一 (浜松市)	
48	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	原木 周作 (静岡市)	中村 良一 (浜松市)	
49	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	原木 周作 (静岡市)	中村 良一 (浜松市)	
50	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	中村 良一 (浜松市)	
51	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	中村 良一 (浜松市)	
52	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	明石 為次 (浜松市)	
53	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	明石 為次 (浜松市)	
54	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	明石 為次 (浜松市)	
55	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	木村 芳雄 (静岡市)	明石 為次 (浜松市)	
56	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	内山 玄治 (浜松市)	
57	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	内山 玄治 (浜松市)	
58	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	内山 玄治 (浜松市)	
59	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	藤田 郁治 (浜松市)	
60	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	藤田 郁治 (浜松市)	
61	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	藤田 郁治 (浜松市)	
62	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	藤田 郁治 (浜松市)	
63	川島 富蔵 (清水市)	佐藤英之助 (沼津市)	杉山 菊雄 (静岡市)	藤田 郁治 (浜松市)	
平成元	杉山 菊雄 (静岡市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	藤田 郁治 (浜松市)	
2	杉山 菊雄 (静岡市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	藤田 郁治 (浜松市)	
3	杉山 菊雄 (静岡市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	藤田 郁治 (浜松市)	
4	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
5	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
6	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
7	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
8	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
9	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	

年度	会長	副会長 (※1)			
10	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
11	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
12	藤田 郁治 (浜松市)	鷹巣 英治 (沼津市)	福田 豊 (清水市)	櫻井 一男 (静岡市)	
13	櫻井 一男 (静岡市)	杉山 尚 (沼津市)	西川 昭策 (清水市)	中村 捷二 (浜松市)	
14	櫻井 一男 (静岡市)	杉山 尚 (沼津市)	西川 昭策 (清水市)	中村 捷二 (浜松市)	
15	櫻井 一男 (静岡市)	杉山 尚 (沼津市)	西川 昭策 (清水市)	中村 捷二 (浜松市)	
16	櫻井 一男 (静岡市)	杉山 尚 (沼津市)	西川 昭策 (清水市)	中村 捷二 (浜松市)	
17	櫻井 一男 (静岡市)	桑原 明文 (沼津市)	西川 昭策 (清水市)	中村 捷二 (浜松市)	
18	櫻井 一男 (静岡市)	桑原 明文 (沼津市)	水野 義猛 (藤枝市)	中村 捷二 (浜松市)	
19	櫻井 一男 (静岡市)	中島 博康 (沼津市)	水野 義猛 (藤枝市)	中村 捷二 (浜松市)	
20	中村 捷二 (浜松市)	中島 博康 (沼津市)	水野 義猛 (藤枝市)	山梨 透 (静岡市)	
21	中村 捷二 (浜松市)	中島 博康 (沼津市)	水野 義猛 (藤枝市)	山梨 透 (静岡市)	
22	山梨 透 (静岡市)	中島 博康 (沼津市)	鈴木 裕司 (浜松市)	吉原 徹郎 (静岡市)	
23	山梨 透 (静岡市)	中島 博康 (沼津市)	鈴木 裕司 (浜松市)	吉原 徹郎 (静岡市)	
24	山梨 透 (静岡市)	中島 博康 (沼津市)	鈴木 裕司 (浜松市)	大河原三雄 (島田・北榛原地区)	
25	山梨 透 (静岡市)	中島 博康 (沼津市)	鈴木 裕司 (浜松市)	大河原三雄 (島田・北榛原地区)	
26	中島 博康 (沼津市)	吉原 徹郎 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	春日 雅博 (富士市)	
27	中島 博康 (沼津市)	糠谷 徳昭 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	(※2)	—
28	中島 博康 (沼津市)	相川 賀秀 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	—	—
29	中島 博康 (沼津市)	相川 賀秀 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	—	—
30	中島 博康 (沼津市)	相川 賀秀 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	—	—
令和元	中島 博康 (沼津市)	相川 賀秀 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	—	—
2	中島 博康 (沼津市)	相川 賀秀 (静岡市)	鈴木 裕司 (浜松市)	—	—

※1；順不同

※2；副会長の定数が2名に変更（H27.6.26～）

消防庁長官表彰受賞歴

年度	危険物保安功労者表彰（個人・団体）			優良危険物関係事業所表彰		
	東 部	中 部	西 部	東 部	中 部	西 部
昭和60		川島 富蔵				
昭和61						
昭和62						
昭和63		杉山 菊雄				
平成元						
平成 2			藤田 郁治			
平成 3		静岡市危険物安全協会				
平成 4	鷺巣 英治					本田技研工業(株)浜松工場
平成 5		福田 豊	鈴木 文雄	ポリプラスチック(株)富士工場		
				東レ(株)三島工場		
平成 6	北原 陸奥	西村 寛次				高砂香料工業(株)磐田工場
平成 7			山下 武夫	東洋インキ製造(株)天間工場 ¹⁾	住友ベークライト(株)静岡工場	
平成 8			大霜 正夫	富士写真フィルム(株)富士宮工場	中部電力(株)清水火力発電所	
平成 9		巻田 廣吉		旭化成工業(株)富士支社 ¹⁾		スズキ(株)本社
平成10			松下 鐵男		山之内製薬(株)焼津事業場	
平成11	井出 稔	濱田 秀雄		(株)フジクラ沼津事業所		
平成12	高村 紀秋				日本軽金属(株)清水工場	
平成13		池田 耕三				(株)資生堂掛川工場
平成14	杉山 尚				第一製薬(株)静岡工場	

年度	危険物保安功労者表彰（個人・団体）			優良危険物関係事業所表彰		
	東 部	中 部	西 部	東 部	中 部	西 部
平成15		八木 正三				NEDO磐田アルコール工場
平成16	遠藤 真道		濱崎 晃		大東化学(株)浜岡工場	
平成17		須藤 安郎		東京応化工業(株)御殿場工場		
平成18			池田 八束	伊東瓦斯(株)		
平成19	勝又 敏雄				三菱電機(株)静岡製作所	
平成20		吉原 徹郎			シェブロンジャパン(株)御前崎事業場 ¹⁾	ヤマハマリン(株)
平成21	中島 博康		小口 昭三	(株)ADEKA富士工場		
平成22		松崎 至宏			科研製薬(株)静岡工場	
平成23			大村 邦男			遠鉄石油(株)
平成24	近藤 安			トヨタ自動車(株)東富士研究所		
平成25		山梨 透 竹下 幸嗣			(有)加藤燃料商会	
平成26	伊藤 重義			富士通(株)沼津工場	矢崎計器(株)島田製作所	
平成27			岩本 栄久			三井化学東セロ(株)浜松工場
平成28	那須野孝之					
平成29				田子の浦埠頭(株)		
平成30		望月 久司				
令和元			鈴木 厚		中外製薬(株)藤枝工場	
令和2	後藤 浩					

注1) 他団体の推薦による。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰受賞歴

(1) 会員表彰、会員感謝状

年度	会員表彰（個人・団体） ¹⁾			会員感謝状		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部
昭和56	池田 董吾（保） 内藤 昇平（保）	岩崎 颯二（保） 漆畑 三郎（優） 小林 義行（優）	河村彌三郎（保） 松下 国夫（優）			
昭和57	遠藤 真道（保） 山本巳喜郎（優）	武光 康之（保） 浜田 勇（保）	里見 厚（保）			
昭和58		渡辺 鎧治（保）	塚田 秀雄（優）			
昭和59		谷藤 武夫（優）	佐田 保雄（保）			
昭和60	炭谷 巨孝（保） 大熊 英男（優）	増井 彌市（保）	鈴木 謙一（優）			
昭和61	村上 光博（保）	仲野 英夫（優）	藤田 清作（保） 河合 邦男（優）			
昭和62						
昭和63						
平成元	山田 二郎					
平成 2	鷺巣 英治		浜北市危険物安全協会		石田 貞義	
平成 3		福田 豊	小笠地区危険物安全協会 湖西市・新居町危険物安全協会			
平成 4	西伊豆広域危険物安全協会	吉田榛原危険物安全協会	相良浜岡御前崎地区危険物安全協会			
平成 5	清水町危険物安全協会 長泉町防火協会		大霜 正夫			大村 進
平成 6	東伊豆町危険物安全協会	濱田 秀雄	松下 鐵男			鈴木 正裕
平成 7	小林 茂夫	池田 耕三	天竜市危険物安全協会	市川 進		
平成 8	井出 稔	櫻井 一男	森下 孝		八木 和夫	
平成 9	小野 正廣 御殿場市・小山町危険物安全協会		鈴木 正裕			川隅 清次
平成10	富士宮市芝川町防火安全協会	八木 和夫 清水市防火協会				岩本 栄久
平成11	高村 紀秋	須藤 安郎 小田 孫一				前田 米蔵
平成12	杉山 尚	八木 正三	濱崎 晃	篠原松太郎		
平成13	進士 光明	鈴木 康司	安西 為人	町野 好宥		

年度	会員表彰（個人・団体） ¹⁾			会員感謝状		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部
平成14	横田 守夫 小川 静男		小口 昭三		朝田 健治	
平成15	勝又 敏雄	吉原 徹郎	金子紀久雄			金指 洋司
平成16	細野 芳男	西川 昭策	大村 邦男	伊藤 重義		
平成17	堤 定夫	山梨 透	佐田 保雄		榊原 茂	
平成18	近藤 安 熱海市防火協会	島田・北榛原地区危険物 安全協会	磐田市危険物安全協会	杉山 尚		
平成19	中島 博康	竹下 幸嗣	長峰 寛 掛川市危険物安全協会		八木 正三	
平成20	服部 隆輔 伊藤 重義	静岡県石油商業組合富士 支部	山本 幹彦	桑原 明文		
平成21	川崎 寿	原木 忠男 岩本 智夫	大庭治呂久		櫻井 一男	
平成22	赤城 宏和 池田 勝美	田中 義郎	鈴木 恒哉	杉山 了		佐田 保雄
平成23	名智 一雄 北岡 貴人		佐竹 康次	高野 純次 宮内 章		
平成24		和田 静雄 青木 徹	伊藤 卓治		内山 力夫	
平成25	那須野孝之	望月 久司	岩本 栄久	古屋 一弥		池田 八束
平成26	芹沢 俊夫		鈴木 厚 伊藤 好志			伊藤 文夫
平成27	後藤 浩	吉村 鉄也	古橋 吉正	波多野秀樹		
平成28	松本 大明	大河原三雄 河原崎勝弘				黒田 晃治
平成29	遠藤友喜彦		松山 豊			
平成30	井原 宏政		鈴木 裕司			鈴木 克弘
令和元	根上 武久		吉田 清和	山本 裕		
令和2		池田 敦郎	渥美 化文			平松 敏和

注1) 昭和56年度から昭和63年度までは、保安功労者又は優良取扱者

注2) 昭和62年度までは全国危険物安全協会連合会。以後、平成24年度までは、財団法人全国危険物安全協会。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰受賞歴

(2) 危険物関係事業所表彰、特別表彰

年度	危険物関係事業所表彰			特別表彰			
	東 部	中 部	西 部				
昭和56	富士写真フィルム(株)富士宮工場	三菱電機(株)静岡製作所	高砂香料工業(株)磐田工場	沼津市危険物安全協会			
昭和57		住友デュレズ(株)静岡工場	ポーラ化成工業(株)袋井工場				
昭和58			本田技研工業(株)浜松製作所				
昭和59	昭和石油(株)沼津油槽所						
昭和60		トモノ農薬(株)島田工場	アスモ(株)	熱海市防火協会 川島 富蔵 全危連創立15周年記念表彰 (県危連業務推進功労者) 石田 貞義 感謝状(県危連発展尽力功 労者)佐藤英之助、杉山 菊雄 感謝状(社)静岡県危険物安全 協会連合会	賀茂危険物安全 協会 浜松市危険物安 全協会	富士宮市芝川町 危険物安全協会 磐田市危険物安 全協会	御殿場市・小山 町危険物安全協 会
昭和61	(株)高橋商事	山之内製薬(株)焼 津事業所		藤田 郁治 藤枝市危険物安全協会 巻田 広吉	内藤 昇平 伊東市危険物安 全協会 河合 多三	掛川市危険物安 全協会 島田金谷地区危 険物安全協会 鈴木 平一	三島市危険物安 全協会 石原喜三郎
昭和62				清水市防火協会 北原 陸奥 西村 寛次 静岡市危険物安全協会	田方危険物安全 協会 野田 一 山下 武夫 焼津市大井川町 危険物安全協会	裾野市危険物安 全協会 下山 晋一 富士市防火協会	引佐郡危険物安 全協会 池田 正作 庵原地区危険物 安全協会
昭和63				斎藤 孝雄	鈴木 文雄	袋井保安管理協 会	
平成元							
平成2							
平成3							
平成4		東燃(株)清水工場					
平成5		(株)巴川製紙所用 宗工場					
平成6	富士通(株)沼津工 場						
平成7			ヤマハ発動機(株) 浜北工場				
平成8		矢崎計器(株)島田 製作所					
平成9	(株)フジクラ沼津 工場						
平成10			(株)ニヤクコーポ レーション関東 支店浜松事業所				

年度	危険物関係事業所表彰			特別表彰			
	東 部	中 部	西 部				
平成11		クミアイ化学工業(株)清水工場					
平成12			遠鉄石油(株)				
平成13	王子製紙(株)富士工場						
平成14			豊田合成(株)森町工場				
平成15	横浜ゴム(株)三島工場						
平成16			東セロ(株)浜北工場				
平成17		中外製薬(株)藤枝工場					
平成18		伊藤忠ペトロリアム(株)大井川油槽所					
平成19	(株)明電舎沼津事業所						
平成20		東海アルミ箔(株)					
平成21			鈴与商事(株)浜松支店				
平成22	松本石油(株)7下田ハイパスSS						
平成23			スズキ(株)相良工場	焼津市危険物安全協会			
平成24		富士フィルム(株)吉田南工場		沼津市防火協会	富士宮市防火安全協会	三島市防火協会	
平成25	旭化成(株)富士支社			長泉町防火協会			
平成26			アマノ(株)細江事業所	御殿場市小山町防火安全協会	清水町防火協会	菊川市危険物安全協会	
平成27		(株)ツチヤコーポレーション		富士市防火協会	藤枝市危険物安全協会	磐田市危険物安全協会	
平成28				伊東市危険物安全協会	島田・北榛原地区危険物安全協会		
平成29	(株)前田燃料			吉田榛原危険物安全協会	掛川市危険物安全協会	湖西市危険物安全協会	
平成30		出光興産(株)大井川油槽所					
令和元			THKリズム(株)浜松工場	裾野市防火協会			
令和2	キリンディスプレイラリー(株)御殿場工場			(一社)静岡県危険物安全協会連合会	熱海市防火協会		

静岡県知事表彰及び連合会会長表彰受賞の状況

	知 事									会 長						
	顕 彰			表 彰		褒 賞				計	表 彰					感謝状
	優 良 事業所	保 安 功労者	優 良 取扱者	保安功労者		保 安 功労者	優 良 事業所	優 良 取扱者	特 別 功労者		団 体	優 良 事業所	保 安 功労者	優 良 取扱者	計	
				個人	事業所 団 体											
S50												3	3	16	22	
S51												3	3	24	30	2
S52												3	3	24	30	
S53	3	1	1						5			3	3	26	32	
S54	3	1	1						5			3	3	27	33	
S55	3	1	1						5			3	3	29	35	2
S56	3	1	1						5			3	3	28	34	5
S57	3	1	1						5			3	3	29	35	1
S58	2	2	1						5			3	3	29	35	4
S59	3	1	1						5			4	3	29	36	3
S60	3	1	1						5	7		4	3	30	44	5
S61	3	1	1						5			4	6	31	41	10
S62	3	1	1						5			10	10	31	51	18
S63	3	1	1						5		3	10	10	31	54	7
H 1	3	1	1						5		5	10	10	31	56	16
H 2				3		1	3	1	8	10		10	10	31	61	13
H 3				2		1	3	1	7			10	10	31	51	19
H 4				1		1	3	1	6			10	10	31	51	19
H 5				2	1	2	3	1	9			10	10	31	51	17
H 6				3		1	3	2	9			10	10	31	51	19
H 7				2	1	3	2		8			10	10	31	51	22
H 8				3		3	1	1	8			10	10	31	51	20
H 9				2	1	1	3	2	9			10	10	31	51	14
H10				2	1	3	3		9			10	10	31	51	23

	知 事									会 長						
	顕 彰			表 彰		褒 賞				計	表 彰					感謝状
	優 良 事業所	保 安 功 労 者	優 良 取 扱 者	保 安 功 労 者		保 安 功 労 者	優 良 事 業 所	優 良 取 扱 者	特 別 功 労 者		団 体	優 良 事 業 所	保 安 功 労 者	優 良 取 扱 者	計	
				個 人	事 業 所 団 体											
H11				2	1	3		2	8			10	10	31	51	16
H12				3		3		3	9			10	10	31	51	20
H13				1	2	4	2		9	1		10	10	31	52	22
H14				2	1	3	2	1	9			10	10	31	51	15
H15				2	1	3	2	1	9			10	10	31	51	19
H16				2	1	2	3	1	9			10	10	31	51	21
H17				3		3	1	2	9			10	10	31	51	14
H18				1	2	3	2		8			10	10	27	47	25
H19				3		2	3	1	9			10	10	27	47	14
H20				2	1	3	2	1	9			10	10	27	47	23
H21				3		4	2		9			10	10	26	46	19
H22				3		4	2		9			10	10	25	45	25
H23				2	1	1	4	1	9			10	10	26	46	22
H24				2	1	5	1		9			10	10	26	46	31
H25				1	2	4	2		9			10	10	27	47	36
H26				1	2	3	3		9			10	10	27	47	15
H27				3		1	4	1	9			10	10	26	46	29
H28				1	2	4	1	1	9			10	10	25	45	26
H29				2	1	1	4	1	9			10	10	25	45	25
H30				3		2	3	1	9			10	10	25	45	27
R 1				1	2	2	3	1	9			10	10	23	43	17
R 2					3	2	2	2	9			10	10	25	45	29

危険物取扱者保安講習申請者数の推移

(単位：人)

年度	7月期				9月期			11月期				2月期			合計			
	給取	一般	コンビナート	小計	給取	一般	小計	給取	一般	コンビナート	小計	給取	一般	小計	給取	一般	コンビナート	総計
S 55				-			2,647				-			2,337	-	-	-	4,984
S 56				-			1,914				-			1,848	-	-	-	3,762
S 57				-			-				-			-	-	-	-	4,918
S 58				-			-				-			-	-	-	-	3,911
S 59				-			1,945				-			2,429	-	-	-	4,374
S 60				-			2,259				-			1,934	-	-	-	4,193
S 61				-			2,017				-			1,749	-	-	-	3,766
S 62				-			3,419				-			1,975	-	-	-	5,394
S 63			30	30	600	1,832	2,432				-	403	1,497	1,900	1,003	3,329	30	4,362
H 1			-	-	-	-	-				-	-	-	-	-	-	-	5,320
H 2			44	44	765	3,041	3,806				-	682	2,780	3,462	1,447	5,821	44	7,312
H 3			47	47	854	2,798	3,652				-	654	2,118	2,772	1,508	4,916	47	6,471
H 4			45	45	1,462	4,866	6,328				-	588	2,793	3,381	2,050	7,659	45	9,754
H 5			38	38	1,098	4,012	5,110				-	545	2,697	3,242	1,643	6,709	38	8,390
H 6			47	47	1,068	3,777	4,845				-	608	2,302	2,910	1,676	6,079	47	7,802
H 7			41	41	1,356	4,972	6,328				-	538	2,419	2,957	1,894	7,391	41	9,326
H 8			38	38	1,087	3,996	5,083				-	493	2,502	2,995	1,580	6,498	38	8,116
H 9			43	43	926	3,623	4,549				-	526	2,159	2,685	1,452	5,782	43	7,277
H 10			38	38	1,172	4,301	5,473				-	513	2,112	2,625	1,685	6,413	38	8,136
H 11			32	32	1,042	3,733	4,775				-	494	2,289	2,783	1,536	6,022	32	7,590
H 12			30	30	843	3,585	4,428				-	428	1,993	2,421	1,271	5,578	30	6,879
H 13			37	37	1,053	3,862	4,915				-	435	1,975	2,410	1,488	5,837	37	7,362
H 14			33	33	953	3,628	4,581				-	391	2,048	2,439	1,344	5,676	33	7,053
H 15			30	30	876	3,336	4,212				-	448	1,980	2,428	1,324	5,316	30	6,670
H 16			32	32	1,112	3,560	4,672				-	383	1,850	2,233	1,495	5,410	32	6,937
H 17			28	28	1,014	3,665	4,679				-	365	2,009	2,374	1,379	5,674	28	7,081
H 18			35	35	952	3,468	4,420				-	444	2,015	2,459	1,396	5,483	35	6,914
H 19			32	32	1,013	3,742	4,755				-	432	2,008	2,440	1,445	5,750	32	7,227
H 20			35	35	1,027	3,904	4,931				-	358	2,201	2,559	1,385	6,105	35	7,525
H 21	817	1,365	42	2,224	392	2,112	2,504	341	848		1,189	106	994	1,100	1,656	5,319	42	7,017
H 22	697	1,426	25	2,148	333	1,989	2,322	311	996	17	1,324	86	1,079	1,165	1,427	5,490	42	6,959
H 23	688	1,601	24	2,313	435	2,050	2,485	312	1,052	10	1,374	92	1,262	1,354	1,527	5,965	34	7,526
H 24	657	1,526	30	2,213	0	603	603	663	2,548	12	3,223	156	1,310	1,466	1,476	5,987	42	7,505
H 25	529	1,792	32	2,353	139	609	748	615	2,655	0	3,270	220	914	1,134	1,503	5,970	32	7,505
H 26	470	1,503	27	2,000	145	1,160	1,305	665	2,351	0	3,016	228	951	1,179	1,508	5,965	27	7,500
H 27	501	1,247	35	1,783	137	1,235	1,372	666	2,834	0	3,500	237	906	1,143	1,541	6,222	35	7,798
H 28	527	1,190	32	1,749	151	1,392	1,543	728	3,100	0	3,828	247	762	1,009	1,653	6,444	32	8,129
H 29	544	1,268	34	1,846	147	1,396	1,543	693	2,816	0	3,509	232	897	1,129	1,616	6,377	34	8,027
H 30	636	1,533	34	2,203	143	1,537	1,680	615	2,954	0	3,569	257	841	1,098	1,651	6,865	34	8,550
R 1	575	1,337	24	1,936	155	1,593	1,748	675	2,854	0	3,529	280	824	1,104	1,685	6,608	24	8,317
合計	6,641	15,788	1,074	23,503	22,450	89,377	126,028	6,284	25,008	39	31,331	11,869	54,487	78,628	47,244	184,660	1,113	273,639

注1) 平成21年度から年4回実施。

注2) 平成21年度から出張講習を実施。8月分は9月期へ、10月分と12月分は11月期へ、1月分は2月期へ含めた。

注3) 昭和57年度、58年度及び平成元年度は、開催時期ごとの明細が不明。

注4) 昭和55年度から62年度及び平成元年度は、講習種別ごとの明細が不明。

注5) 合計は、総計の列の合計のみ正しく、内訳の列は、一部不明の欄があるため、参考値。

危険物取扱者試験予備講習申請者数の推移

(単位：回、人)

年度	6 月 期						1 1 月 期						2 月 期						合 計					
	乙 4		丙 種		小 計		乙 4		丙 種		小 計		乙 4		丙 種		小 計		乙 4		丙 種		小 計	
	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数	回	人 数
S 45																							16	3,175
S 46					16	3,448					19	4,776											35	8,224
S 47					14	4,238					15	3,728											29	7,966
S 48					15	3,908					15	4,226											30	8,134
S 49					15	4,427					16	3,057											31	7,484
S 50					14	4,304					15	4,147											29	8,451
S 51					15	4,197					16	3,656											31	7,853
S 52					15	3,722					15	3,224											30	6,946
S 53					16	3,077					15	2,925											31	6,002
S 54					15	2,853					15	2,321											30	5,174
S 55					15	2,971					15	2,182											30	5,153
S 56					15	2,426					16	1,967											31	4,393
S 57					16	2,248					15	1,937											31	4,185
S 58		1,669		306	16	1,975		1,603		261	15	1,864						3,272		567	31	3,839		
S 59		1,859		414	17	2,273		1,846		332	15	2,178						3,705		746	32	4,451		
S 60	14	1,783	3	404	17	2,187		1,540		204	15	1,744						3,323		608	32	3,931		
S 61	13	1,677	3	249	16	1,926		1,390		219	15	1,609						3,067		468	31	3,535		
S 62	13	1,498	3	288	16	1,786		1,779		316	15	2,095						3,277		604	31	3,881		
S 63	13	1,457	3	243	16	1,700		1,404		157	15	1,561	5	537			5	537		3,398	3	400	36	3,798
H 1	13	1,343	3	142	16	1,485		1,756		173	15	1,929	4	744			4	744		3,843	3	315	35	4,158
H 2	14	1,538	1	92	15	1,630	14	1,563	1	75	15	1,638	3	542			3	542	31	3,643	2	167	33	3,810
H 3	14	1,173	1	58	15	1,231	14	1,418	1	63	15	1,481	3	612			3	612	31	3,203	2	121	33	3,324
H 4	14	1,471	1	73	15	1,544	14	1,296	1	64	15	1,360	5	692			5	692	33	3,459	2	137	35	3,596
H 5	12	1,064	1	53	13	1,117	14	1,203	1	57	15	1,260	5	617			5	617	31	2,884	2	110	33	2,994
H 6	13	1,082	1	51	14	1,133	14	997	1	40	15	1,037	5	532			5	532	32	2,611	2	91	34	2,702
H 7	13	1,019	1	57	14	1,076	12	1,097	1	64	13	1,161	5	483			5	483	30	2,599	2	121	32	2,720
H 8	12	802	1	46	13	848	12	860	1	41	13	901	5	377			5	377	29	2,039	2	87	31	2,126
H 9	12	835	1	31	13	866	12	924	1	42	13	966	5	456			5	456	29	2,215	2	73	31	2,288
H 10	12	789	1	34	13	823	12	742	1	25	13	767	5	570			5	570	29	2,101	2	59	31	2,160
H 11	12	771	1	20	13	791	12	717	1	21	13	738	5	484			5	484	29	1,972	2	41	31	2,013
H 12	12	690	1	30	13	720	12	730	1	34	13	764	5	219			5	219	29	1,639	2	64	31	1,703
H 13	12	719	1	15	13	734	12	738	1	21	13	759	5	465			5	465	29	1,922	2	36	31	1,958
H 14	12	800	1	26	13	826	12	680	1	19	13	699	5	419			5	419	29	1,899	2	45	31	1,944
H 15	12	730	1	40	13	770	10	754	1	24	11	778	5	459			5	459	27	1,943	2	64	29	2,007
H 16	11	792	1	17	12	809	10	758	1	36	11	794	5	510			5	510	26	2,060	2	53	28	2,113
H 17	10	764	1	15	11	779	10	815	1	18	11	833	6	555	1	22	7	577	26	2,134	3	55	29	2,189
H 18	11	755	1	11	12	766	9	940	1	12	10	952	5	514			5	514	25	2,209	2	23	27	2,232
H 19	11	707	1	16	12	723	9	898	1	17	10	915	5	565			5	565	25	2,170	2	33	27	2,203
H 20	10	694	1	13	11	707	8	871	1	9	9	880	5	538			5	538	23	2,103	2	22	25	2,125
H 21	10	539			10	539	8	693			8	693	5	353			5	353	23	1,585			23	1,585
H 22	10	441			10	441	13	675			13	675	9	413			9	413	32	1,529			32	1,529
H 23	11	421			11	421	11	497			11	497	8	375			8	375	30	1,293			30	1,293
H 24	11	322			11	322	11	335			11	335	8	300			8	300	30	957			30	957
H 25	11	234			11	234	11	385			11	385	9	256			9	256	31	875			31	875
H 26	11	285			11	285	12	354			12	354	9	240			9	240	32	879			32	879
H 27	11	264			11	264	12	323			12	323	9	198			9	198	32	785			32	785
H 28	11	234			11	234	12	318			12	318	9	205			9	205	32	757			32	757
H 29	11	230			11	230	12	307			12	307	9	205			9	205	32	742			32	742
H 30	10	238			10	238	11	302			11	302	9	207			9	207	30	747			30	747
R 1	10	244			10	244	11	285			11	285	9	246			9	246	30	775			30	775
計					76,496						77,458							13,910						167,864

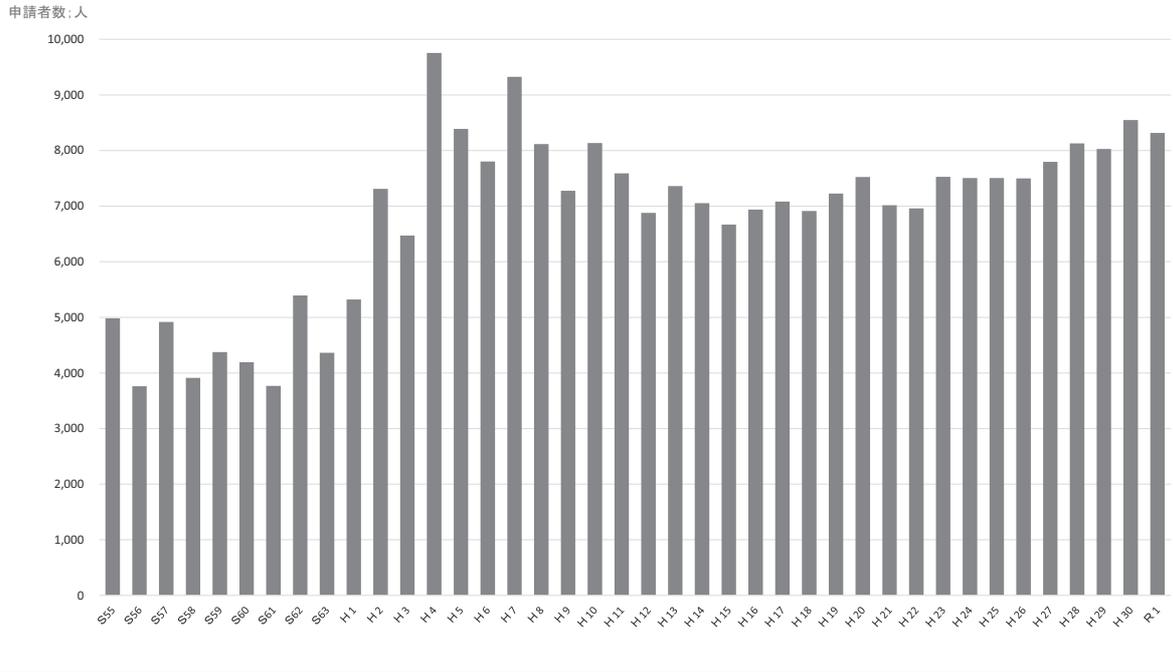
注1) 古いデータは、申請者数でなく受講者数の場合がある。

注2) 昭和57年度以前は、乙種第4類と丙種の別のデータが不明。

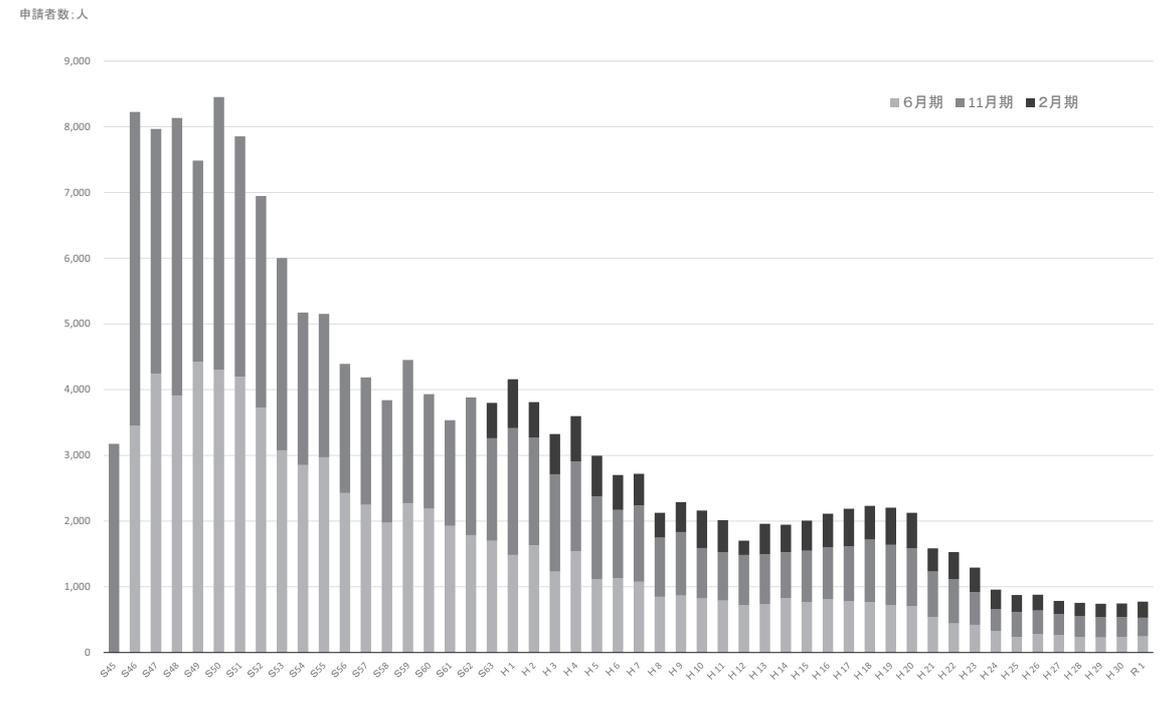
注3) 2月期は、昭和63年度から実施。

注4) 回は、開催会場数(追加講習は、平成25年度には2月期1回、平成26年度以降は各期1回を含む。)

危険物取扱者 保安講習 申請者数の推移



危険物取扱者試験 予備講習 申請者数の推移



危険物管理技術研修会開催状況

年度	開催日	会場	演題及び講師
S53	S54.2.16	県庁西館第4会議室	定期点検の実施要領について 〈保安技術連絡会員 14名〉
	S54.2.19	県庁西館第4会議室	
S54	S54.12.4	県庁西館第4会議室	地震防災対策について 〈保安技術連絡会員 15名〉
	S54.12.7	県庁西館第4会議室	危険物施設の地震対策について 〈保安技術連絡会員 15名〉
S55	S56.2.3	県庁西館第4会議室	危険物の地震防災応急計画について 〈静岡県総務部消防防災課 宮村哲補佐〉
	S56.2.5	沼津インバシプラザ	危険物の地震防災応急計画について 〈静岡県総務部消防防災課 名倉光雄係長〉
	S56.2.6	浜松ひくま公民館	危険物の地震防災応急計画について 〈静岡県総務部消防防災課 味岡嘉輝技師〉
S56	S57.2.10	中部電力浜岡原子力発電所	各事業所の防災応急計画について 〈各事業所防災担当〉 中国唐山市の地震対策について 〈静岡市消防本部 前田強逸氏〉 〈三島市消防本部 小川日出雄氏〉 〈浜松市消防本部 神谷正尚氏〉
	S57.2.12	富士教育研修所	
	S57.3.5	本田技研浜松製作所	
S57	S58.3.4	沼津労政会館	市民生活と防災について 〈東京消防庁防災部 小池次雄部長〉
	S58.3.7	県庁西館第4会議室	静電気とその防止対策について 〈東京消防庁 本山良介司令〉
S58	S59.3.23	県総合社会福祉会館	最近の地震情報と地震予知 〈静岡県総務部地震対策課 井野盛夫主幹〉
			危機物施設の地震対策推進について 〈静岡県総務部消防防災課 宮村哲技監〉
S59	S59.11.18	静岡商工会議所	危険物施設の地震対策推進について 〈静岡県総務部消防防災課 宮村哲技監〉
			腐食とその対策について 〈横浜国立大学工学部 朝倉祝治助教授〉
S60	S60.10.28	静岡商工会議所	最近の地震情報について 〈静岡県総務部地震対策課 斎藤恭興主幹〉
			危険物施設の腐食対策について 〈横浜国立大学工学部 朝倉祝治助教授〉
S61	S61.11.12	静岡商工会議所	気象と災害について 〈静岡地方気象台 名取大賢課長〉
			地震と災害について 〈静岡地方気象台 柴田武男台長〉
S62	S62.11.5	静岡労政会館	危険物地下施設の保安点検について 〈日本エンジニアサービス(株) 和田弘主幹〉

年度	開催日	会場	演題及び講師
S63	S63.11.5	静岡労政会館	危険物関係法令改正の動向について 〈静岡市消防本部危険物係 小沢一係長〉
			危険物地下施設の事故事例について 〈日本エンジニアサービス(株) 加藤薫次長〉
H1	H1.11.7	静岡労政会館	危険物法令の改正及び火災予防条例準則の改正について 〈自治省消防庁危険物規制課危険物第2係 原井耕治係長〉
H2	H2.11.16	静岡労政会館	危険物関係法令の改正と今後の危険物行政の動向について 〈自治省消防庁危険物規制課 梅原直課長補佐〉
H3	H3.11.29	静岡労政会館	危険物の取り扱いに関連した静電気現象について 〈自治省消防庁消防研究所特殊災害研究室 松原美之室長〉
H4	H4.11.25	静岡労政会館	危険物施設の保安管理のあり方及び災害事故防止からの教訓 〈自治省消防庁危険物規制課化学火災係 相場千代史係長〉
H5	H5.11.19	静岡労政会館	危険物施設と腐食 〈自治省消防庁消防研究所第3研究部 亀井浅道部長〉
H6	H6.11.17	静岡労政会館	最近の地震活動と近年の地震災害事例 〈静岡県総務部地震対策課 斎藤繁元主幹〉
			危険物施設の保守管理のあり方 〈東京消防庁予防部危険物課 白井玄課長補佐〉
H7	H7.11.20	静岡労政会館	兵庫県南部地震による危険物施設の被害について 〈神戸市消防局予防部危険物保安課 金岡清一氏〉
			危険物施設の安全対策について 〈静岡県総務部消防防災課 望月勇人副主任〉
H8	H8.11.29	静岡労政会館	静岡県における地震対策の現状と課題 〈静岡県総務部地震対策課 岩田孝仁主査〉
			危険物製造所等における地震対策の推進について 〈静岡県総務部消防防災課 味岡嘉輝課長補佐〉
H9	H9.11.16	静岡労政会館	屋外タンク、屋内タンク等及び導配管の腐食防止について～現状とその対策～ 〈日本触媒(株)品質保証部 山室富士雄取締役部長他〉
			ヒマラヤに挑む 〈(株)建設基礎調査事務所 安間荘社長〉
H10	H11.1.21	静岡労政会館	危険物施設における事故事例とその防止対策等について 〈東京消防庁予防部危険物課 相場千代史課長補佐〉
H11	H11.11.30	静岡労政会館	静電気安全対策の基礎 〈シムコジャパン(株)技術開発本部 蒲池正之介本部長〉
H12	H12.11.30	静岡労政会館	静電気安全対策の基礎 〈シムコジャパン(株)技術開発本部 蒲池正之介本部長〉
H13	H13.11.21	静岡労政会館	危険物施設の腐食防食 〈(社)腐食防食協会 山室富士夫運営委員他〉
H14	H14.11.19	静岡労政会館	危険物施設の事故事例とその対策 〈危険物保安技術協会業務企画部 鈴木和男部長〉
H15	H15.11.19	静岡労政会館	実験機器を利用した危険物の引火、着火等の小実験 〈(株)NIPPOコーポレーション 貝瀬達夫氏〉
			過去の災害に学ぶ 〈文化放送 高橋民夫防災キャスター〉

年度	開催日	会場	演題及び講師
H16	H16.12.6	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	地下タンクの腐食と定期点検について 〈日本エンジニア・サービス(株) 佐藤耕一氏〉
H17	H17.11.18	静岡労政会館	危険物の保安管理 〈東京消防庁予防部危険物課 富井道高課長補佐〉
H18	H18.11.30	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	企業における危機管理について 〈日本大学国際関係学部国際研究科 大泉光一主任教授〉
H19	H19.11.22	静岡労政会館	東海地震の現状とその対応について 〈静岡県地震防災センター 川端信正氏〉
H20	H20.11.30	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	最近の危険物施設における事故事例と安全対策 〈東京理科大学総合研究機構火災科学研究センター 小林恭一教授〉
H21	H21.11.19	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」	危険物流出等の事故調査 〈総務省消防庁消防大学校消防研究センター火災災害調査部原因調査室 西晴樹室長〉
H22	H22.11.19	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」	事業継続計画（BCP）の必要性と策定・運用上のポイント 〈富士常葉大学 社会災害研究センター センター長 池田浩敬教授〉
H23	H23.11.17	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	危険物安全管理と東日本大震災の被害状況について 〈危険物保安技術協会事故防止調査研修センター 川田等次長〉
H24	H24.11.7	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	危険物保安行政の動向 〈総務省消防庁危険物保安室 三浦宏課長補佐〉
H25	H25.11.19	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	南海トラフ巨大地震に備える！ 〈静岡県地震防災センター 小林佐登志所長〉
H26	H26.11.13	静岡市民文化会館	津波災害も含めた 危険物施設の震災等対策について 〈（一財）全国危険物安全協会業務部 古河大直部長〉
H27	H27.11.19	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	危険物施設の事故事例と安全対策 〈危険物保安技術協会事故防止調査研修センター長 伊藤英男氏〉
H28	H28.11.1	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	危険物保安行政の動向（過去の事故事例に学ぶ） 〈静岡県危機管理監代理兼危機管理部理事 白石暢彦氏〉
H29	H29.11.20	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	危険物施設の安全管理（事故事例と安全対策等） 〈危険物保安技術協会事故防止調査研修センター長 伊藤英男氏〉
H30	H30.11.21	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	自ら考え、失敗事例から学ぶ危機管理 〈東京経済大学名誉教授 吉井博明氏〉
R元	R1.11.14	静岡県コンベンションアーツセンター 「グランシップ」	最近の危険物事故から学ぶこれからの安全管理 〈東京工業大学環境・社会理工学院特任教授 中村昌允氏〉
R 2	R2.11.18	静岡音楽館A O I	（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

注) 名称は、平成20年まで「保安管理講習会」、平成21年に改称し、以降「危険物管理技術研修会」。

令和2年度 危険物安全大会

令和2年6月8日(月)に東京都千代田区のルポール麹町において「令和2年度危険物安全大会」の開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。

これに伴い、消防庁長官表彰及び一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状の授与式は取りやめとなり、表彰状は受賞者にそれぞれ届けられました。

消防庁長官表彰及び一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状受賞の栄誉に輝かれた本県関係者は次のとおりです。心よりお祝い申し上げます。

消 防 庁 長 官 表 彰

◆危険物保安功労者(個人)

後 藤 浩

沼津市防火協会副会長

一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰等

◆危険物保安功労者(個人)

池 田 敦 郎

志太危険物安全協会理事(兼)顧問

渥 美 化 文

浜松市防災協会副会長

◆優良危険物関係事業所

キリンディスティラリー株式会社御殿場工場

御殿場市小山町防火安全協会

◆感謝状

平 松 敏 和

菊川市危険物安全協会

総務省消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）

後藤 浩 植松石油商事株式会社 代表取締役社長
沼津市防火協会 副会長



このたびは、消防庁長官表彰の榮譽にあずかり大変光栄に思います。

これは、ひとえに静岡県危険物安全協会連合会はじめ、沼津市防火協会及び駿東伊豆消防本部の皆様のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

令和2年は残念ながら、新型コロナウイルスの全国的な影響により、6月に例年行われる東京での全国危険物安全大会及び表彰式は取りやめとなりました。

それと同時に、沼津市防火協会の事業所従業員を対象とした年2回の防災訓練のほか、多くの計画を断念することとなりました。

ただそんな中で、沼津市危険物安全協会時代より40年以上継続して10月に行っております、市内全会員の危険物施設への会員2人組による立入検査及び改善指導を、今年も実施出来ますことは、会員の誇りであります。

防火・防災という目的に向かって沼津市防火協会約400事業所が力を合わせて努力しています。

今、全国的に考えられないような災害が発生しております。

少しでもそのリスク減少に役立つよう努力してまいります。

最後に、静岡県危険物安全協会連合会及び沼津市防火協会の益々のご発展と関係各位のご健勝を祈念して御礼とさせていただきます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

池田 敦郎 有限会社池田塗料店 代表取締役
志太危険物安全協会 理事（兼）顧問



今年度、一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰の栄誉を賜りましたこと、志太危険物安全協会、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会、志太広域事務組合志太消防本部の各皆様方に厚く御礼申し上げます。

さて、志太危険物安全協会も設立より5年が経過しました。初代会長として2年務めさせて頂きました。設立当時、会員数が県下3番目の大所帯になると知らされ、新たな思いで運営していかなければと強く決意した事が思い出されます。その間、危険物による大きな事故、火災もなく漫然と会長職を務めさせて頂きました。この会に限っては意味何事もないことが慶事であります。

「志太危険物安全協会の設立にあたり」という一文を設立時に会報に載せていただきました。古事記にある火照命（ほでののみこと）と火遠理命（ほおりののみこと）の兄弟のはなしです。平たく言いますと「海彦山彦」または「海幸彦山幸彦」という童話です。海の民（焼津）と山の民（藤枝）になぞらえ、合併するにあたり、お互いの気質の違いを乗り越えて仲良くやりましょうと言う内容でした。5年が経過した現在、ONE TEAMになるべく努力しております。

最後に、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会、志太危険物安全協会ならびに志太広域事務組合志太消防本部の益々の発展と関係各位のご活躍を祈念してお礼の言葉とします。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

渥美 化文 浜二ペイント株式会社イナサ工場 工場長
浜松市防災協会副会長



令和2年6月8日（月）、東京都千代田区のルポール麹町で令和2年度全国危険物安全大会の開催が予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染防止のために中止となりました。本来ならばその大会において、全国危険物安全協会の理事長より表彰を受ける予定でしたが、国民が一体となり感染防止に努めなければならない事態であることも理解していますので開催中止は当然のこととして承知しております。

弊社は、株式会社浜二ペイントとして昭和24年6月に創業し、70年間一貫して塗料の製造販売をしてまいりました。

私自身も入社時（当時の会社はイナサペイント株式会社）から塗料の製造開発に携わり、今年で37年目になります。これまで長きにわたり無事故で過ごすことができたのは、浜松市消防局や浜松市防災協会の皆様の御指導とお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

私たち危険物を取り扱う事業所では、ひとたび災害が起これば被害は自分の事業所だけに留まらず、付近住民への影響は計り知れません。

これからも危険物の取り扱いには十分注意し、安全管理を怠ることなく、なお一層の努力をして、危険物施設の安全安心を心掛けていくとともに、災害全般に対しても事業所の防災思想の普及啓発と自主防災管理体制の確立に取り組んでまいります。

私自身も、この表彰を機に、浜松市防災協会の事業に寄与できるよう努めてまいりますので、引き続き関係各位からの御指導を宜しくお願い申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○優良危険物関係事業所

キリンディスティラリー(株)御殿場工場 (御殿場市小山町防火安全協会)



このたびは令和2年度全国危険物安全協会理事長表彰受賞の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。これもひとえに、関係各位の皆様の御指導、御鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

キリンディスティラリー(株)御殿場工場は、1973年、前身キリン・シーグラム御殿場蒸留所として国内ウイスキーの製造を開始して以来50年近く、多くの国産ウイスキー・ブランデー等の飲料を製造してまいりました。

製造過程で発生する高濃度アルコールの取扱いについては細心の注意を払い、地域の皆様方に「安全」「安心」「信頼」を得るべく従業員全員が一丸となって業務を遂行すると共に消防本部予防課の御指導の下、無事故・無災害を達成することができました。

今後も富士山の恵を将来に亘り享受できるよう環境保全活動、安全衛生活動に重点を置いて取り組んでいく所存です。

最後に、コロナ禍で社会環境が大きく変貌していますが、静岡県危険物安全協会連合会、御殿場市小山町防火安全協会及び消防本部の益々の発展と皆様のご健勝を祈念して、お礼の言葉とさせていただきます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

◇会員感謝状(個人)

平松 敏和 菊川燃料有限会社 代表取締役社長
菊川市危険物安全協会 前会長



令和2年度全国危険物安全協会理事長表彰感謝状を受賞いたしましたことは、誠に光栄であり、心より感謝申し上げる次第です。

通常ならば6月に東京に於いて、全国危険物安全大会が開催され、授賞式があるはずでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で今年は開催されず、宅急便での受賞とはなりましたが、妻と母は大変喜び、さっそく2年前に亡くなった先代である父の仏前に報告させていただきました。

これもひとえに日頃よりご指導をいただいている菊川市消防本部をはじめ、静岡県危険物安全協会連合会ならびに関係各位様のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

私は平成19年の理事就任以来、12年間役員を務め、平成27年からは4年間菊川市危険物安全協会会長として務めさせていただきました。当協会は創立15周年を迎え、危険物を取り扱う約100事業者が安全管理体制を図るため年間を通じてさまざまな活動に取り組んでいます。毎年6月の危険物安全週間には当会員の事業所において大規模な防災訓練を実施しています。どの事業所も熱心に取り組んでいただき、会員の意識向上に大きく貢献しており、各事業所の安全管理体制の確立に役立てていただけていると思います。

最近におきましても、思いがけない事故が世界中で起きています。タンカーの重油流出や薬品倉庫の大爆発等、これらの事故の報道に触れるたびに日々の安全点検の重要性を思い知ります。

そして、このような世界的な新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越え、1日も早く穏やかな日常が戻ることを願わずにはられません。

今後も微力ではありますが、この表彰を機にさらに協会の事業に寄与できるよう努めてまいります。引き続き関係各位からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

令和2年度静岡県知事表彰、連合会会長表彰等の表彰状授与式

(一社)静岡県危険物安全協会連合会の創立50周年を記念して、令和2年9月11日(金)に静岡市内のホテルにおいて開催を計画していた「創立50周年記念大会(第50回創立記念大会)」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら開催中止となりました。

これに伴い、例年、この大会において実施していた静岡県知事表彰及び褒賞並びに当連合会会長表彰等の表彰状授与式は、日を改めて11月18日(水)に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」において執り行われました。

当日は、来賓として、静岡県危機管理監代理兼危機管理部長代理 加藤晃一様にご臨席を賜りました。中島博康会長のあいさつの後、長く保安管理等に努められた個人と事業所に対し、静岡県表彰及び褒賞並びに連合会会長表彰、感謝状がそれぞれ授与されました。

(1) 静岡県知事表彰

(保安功労者)

株式会社富士化工研究所
堀谷株式会社
浜名湖競艇企業団

富士宮市防火安全協会
静岡市防災協会
湖西市危険物安全協会

(2) 静岡県知事褒賞

(保安功労者)

前田 幹 雄
宮野 知津夫

静岡市防災協会
磐田市危険物安全協会

(優良事業所)

芝浦機械株式会社御殿場工場
株式会社くろしおエクスプレス

御殿場市小山町防火安全協会
牧之原市相良地区危険物安全協会

(優良危険物取扱者)

大場 進
小口 友義

富士市防火協会
湖西市危険物安全協会



中島会長挨拶



知事表彰の授与

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(保安功労者)

山田晃弘	熱海市防火協会
杉山真也	田方防火協会
井上直久	沼津市防火協会
粉川昌樹	清水町防火協会
谷津徹	静岡市防災協会
吉川茂則	静岡市防災協会
黒田克浩	牧之原市相良地区危険物安全協会
出羽正二	磐田市危険物安全協会
鈴木学	浜松市防災協会
水野武司	湖西市危険物安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良事業所)

株式会社熱川重機運輸	東伊豆町危険物安全協会
矢崎エナジーシステム株式会社	
沼津製作所	沼津市防火協会
株式会社電業社機械製作所	
三島事業所	三島市防火協会
日立化成ダイアグノスティックス・	
システムズ株式会社富士工場	長泉町防火協会
あらしお株式会社	静岡市防災協会
株式会社先生製作所	志太危険物安全協会
有限会社浅井商店	吉田榛原危険物安全協会
遠州夢咲農業協同組合	菊川市危険物安全協会
中遠環境保全株式会社	掛川市危険物安全協会
株式会社NTN袋井製作所	袋井保安管理協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

関寿男	下田地区危険物安全協会
近藤純司	東伊豆町危険物安全協会
森田浩	伊東市危険物安全協会
奥田悠紀男	熱海市防火協会
高橋尊久	田方防火協会
吉田哲也	沼津市防火協会
井原繁往	清水町防火協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

岩崎友子	三島市防火協会
金刺好秋	長泉町防火協会
長田高一	裾野市防火協会
富永勝秀	御殿場市小山町防火安全協会
杉山正和	富士市防火協会
遠藤健	富士宮市防火安全協会
山谷幸広	静岡市防災協会
曾根田諭史	志太危険物安全協会
森下豊治	島田・北榛原地区危険物安全協会
牧田稔	吉田榛原危険物安全協会
三浦慎太郎	牧之原市相良地区危険物安全協会
牧野匡成	御前崎市危険物安全協会
杉山充宜	菊川市危険物安全協会
榛葉悦司	掛川市危険物安全協会
二橋和亮	袋井保安全管理協会
福代和正	磐田市危険物安全協会
鈴木宏政	浜松市防災協会
滝本昇司	湖西市危険物安全協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(連合会理事・監事・地区協会会長)

渡辺智明	前連合会理事、前富士市防火協会会長
本目武彦	前連合会理事 (牧之原市相良地区危険物安全協会会長)
望月久司	前連合会監事 (静岡市防災協会)
松本昭二	前田方防火協会会長
鈴木靖	前清水町防火協会会長
山本良一	前三島市防火協会会長
影山正樹	前長泉町防火協会会長
土屋仁	前志太危険物安全協会会長
龍光純男	前掛川市危険物安全協会会長

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(連合会事業貢献者)

赤城博由
永田清也

前連合会総務委員会委員・表彰委員会
委員 (三島市防火協会)
前連合会総務委員会委員・広報委員会
委員 (磐田市危険物安全協会)

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(地区協会事務局前担当者)

井手秀治
田代英樹
長倉浩之
太田寿久
佐野時宗
河野泰之
友田貴久

清水町防火協会
御殿場市小山町防火安全協会
富士市防火協会
富士宮市防火安全協会
富士宮市防火安全協会
志太危険物安全協会
袋井保安全管理協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(連合会・地区協会事務局担当者)

伊藤香織
吉田恭子
奥山恵子
辻真理子
市川真実
戸田明子
星川由美子
戸本弘美
大川井朋美

沼津市防火協会
富士市防火協会
静岡市防災協会
袋井保安全管理協会
磐田市危険物安全協会
浜松市防災協会
湖西市危険物安全協会
静岡県危険物安全協会連合会
静岡県危険物安全協会連合会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(連合会主催保安講習会講師)

松永大志
和田有紀

静岡市消防局
御前崎市消防本部

静岡県知事表彰

○保安功労者

株式会社富士化工研究所 代表取締役社長 藤尾 吉保
(富士宮市防火安全協会)



この度、静岡県危険物安全協会連合会創立50周年の記念すべき年に栄えある県知事表彰を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

これもひとえに静岡県危険物安全協会連合会、富士宮市防火安全協会関係者各位のご指導、ご支援によるものと深く感謝申し上げます。

弊社は55年前に設立された富士宮市危険物安全協会初代会長を仰せつかり、無事故企業として運営にあたってまいりました。

また、製造部、技術部員全員危険物取扱者免状を取得し業務に携わっており、近年では実地防災訓練に加えて、BCPの概念を取り入れた想定にて実施しております。

今後も危険物を取り扱う企業として身を引き締め業務に務めてまいりますので、従前同様関係各位のご指導をお願い申し上げます。

結びに、静岡県危険物安全協会連合会並びに富士宮市防火安全協会の益々のご発展と、会員企業各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

静岡県知事表彰

○保安功労者

堀谷株式会社 代表取締役 堀谷 匠
(静岡市防災協会)



この度、令和2年11月18日に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催されました一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会主催の表彰状授与式におきまして、危険物保安功労者として静岡県知事表彰を頂きました。

これもひとえに静岡県危険物安全協会連合会様と、静岡市防災協会様並びに関係各位の皆様のご指導の賜物と感謝しています。

弊社は創業者又蔵が静岡県でいち早く塗装工事業として103年前に清水市伝馬町（現静岡市清水区江尻3丁目）にて産声を上げ、戦後二代目年男が塗料販売業を始めました。

現在は三代目としての役目を全うしようともがいており、この度の静岡県知事表彰は、「もっとしっかり安全への取り組みをなさい」とはっばを掛けられたと受け止めております。

生まれ変わっても、この会社を継ぎたいと思えるようになる事を目標にしています。

今後も弊社は安全に関する取り組みを最優先で実施し、社会に貢献出来ればと思います。

静岡県危険物安全協会連合会様の益々のご発展と、関係各位の皆様のご多幸を心から祈念し、お礼に代えさせていただきます。

静岡県知事表彰

○保安功労者

浜名湖競艇企業団 企業長 菅本 利隆
(湖西市危険物安全協会)



この度は、令和2年11月18日（水）に開催されました一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 令和2年度表彰状授与式におきまして、静岡県知事表彰という栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。これもひとえに、静岡県危険物安全協会連合会様及び、湖西市危険物安全協会様並びに、関係各位のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

当企業団は、浜松市、湖西市の構成による一部事務組合として認可され、今年度で67周年を迎えました。ボートレースにとって欠かせない競技用の燃料及び、レース場内における空調用ボイラーの燃料として、日々危険物を取り扱っていることから、関係法令の遵守、日常点検、保安管理に細心の注意を払い取り組んでまいりました。また、当企業団では、近年、「地域に開かれたボートレース場」とするための取り組みを行ってまいります。その施策の一つとして、レース場内に知育玩具を取りそろえた親子のあそび場「BOAT KIDS PARKモーヴィ浜名湖」をオープンいたしました。

今後、地域における社会福祉の増進、地方財政の改善、公共施設の充実を本旨として地域に開かれ近隣住民に親しまれる施設を目指すとともに、職員の危険物に対する認識と意識の高揚を図り、危険物事故防止に一層努めて参ります。

最後に、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会様並びに、湖西市危険物安全協会様の益々のご発展と、関係者の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。この度は誠にありがとうございました。

静岡県知事褒賞受賞者

(敬称略)

【保安功労者】



前田 幹雄



宮野 知津夫

【優良事業所】



芝浦機械株式会社御殿場工場



株式会社くろしおエクスプレス

【優良危険物取扱者】



大場 進



小口 友義



歴史はドラマチック

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 理事
沼津市防火協会副会長 芹澤 俊夫

毎週末楽しみ観ていたNHKの大河ドラマ「麒麟が来る」が昨今の情勢により放送を休止していたが、8/30より放送再開することとなった。明智光秀の生涯を描いたこのドラマが最後どのような終わり方になるのか、最終回を迎える年末までの展開を予想するのも楽しみの一つである。

「京都山崎の合戦で終わるのか、細川家との間をどのように描いていくか？」本能寺に至る動機をどのようなシナリオで描くか今後の展開内容が気になります。歴代の大河ドラマでは特に戦国時代の武将を取り上げ、日本史においては欠かすことのできない秀吉・信長・家康などの超有名な戦国武将たちを題材にし、視聴率を上げてきました。

しかし、放映開始から50数年も違う人物を毎年取り上げ、ドラマにするにはNHKの脚本に携わる方々の大変なご苦労があると思います。既に再来年2022年の大河ドラマ制作発表がされており、来年は“渋沢栄一”、2022年は“北条義時”が取り上げられる。やはり時代物は、安定的に視聴率が期待できるようです。

伊豆の国市江間地区出身の北条義時が主人公となる「鎌倉殿の13人」の世界観を伝えるドラマ館を建て、観光客の呼び込みを図っていく模様だということで、大河ドラマファンとしてドラマ館が完成したら是非足を運びたい。

静岡県西部地区では、戦国時代の家康、武田軍との三方ヶ原の合戦や高天神城の攻防などが有名で、中部地区では今川氏の興亡、東部地区では伊豆国蛭が小島に配流されていた頼朝の旗揚げ・北条氏の協力と執権として興亡、戦国時代になり今川・武田・北条の攻防と和睦や三国同盟など、地元の歴史も面白いものがたくさんあります。

特に7代今川氏親は、6代義忠奥の北川殿の兄にあたる足利幕府官僚だった伊勢新九郎盛時（早雲）の功を認め、駿東郡南部の現在の沼津市原の興国寺城に入城します。

その後、堀越公方を撃った茶々丸を攻め韮山に侵出。その後、小田原の大森氏を撃ち関東に覇を唱えていきます。1519年北条早雲が没すると2代目氏綱は主従関係を切り、今川氏に対抗し富士川以東では河東の乱（1526年頃～1552年頃まで）として今川・武田・北条が競い合っていきます。城巡りや歴史博物館など歴史を知ること、盛者必衰の理は全ての判断の方向付けになると思います。

武田家がどのように滅亡したか？又、現代に至る、いろんな合戦（戦争）の中で、どのようにして当事者が負けたのか知るとは面白いと思います。

好きなことを深く掘り下げると様々な世界が広がります。

皆さんの身近で研究している題材はありますか。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



親子クッキングコンテスト

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 理事
富士市防火協会会長 瀧 真砂人

本日は、食育活動の一環として取り組んでいる「全国親子クッキングコンテスト（以下：親子CC）」についてご紹介いたします。

親子CCは、料理実演を伴う大会としては全国一の応募数（2019年58,402組）を誇るクッキングコンテスト大会で、「わが家のおいしいごはん」をテーマにオリジナルメニューを募集しています。大会が始まるひとつのきっかけとして、近年の子供たちの「食」を取り巻く環境が大きく様変わりし、偏った栄養摂取、朝食欠食や食事を一人でとる（孤食）が増えているなどの社会問題が背景にあります。

親子CCは親子で調理することでコミュニケーションを深め、料理の楽しさや「食」の大切さなど、家庭に「食育」を浸透させることを目的としています。コロナ禍の本年は中止となりましたが、2008年に始まった大会は、昨年13回を迎えました。主催者は住宅関連事業者やキッチン・バス工業会、ガス石油機器工業会、ガス体エネルギー事業者で組織する「ウイズガスくらぶ」です。応募数を県別でみると、当県は8年連続の全国1位（2019年12,603組）の実績です。大会は地域予選大会（県内5会場）から始まり、県大会、関東大会（当県は関東）、全国大会へとつながり、全国11地区の代表者の中からグランプリ親子が選ばれます。全国大会の審査委員長は服部幸應氏（服部学園理事長）が務めます。

地域予選大会に臨む親子の緊張感は、応援に来た家族や学校関係者にヒシヒシと伝わり、子供たちの真剣なまなざしには感動を覚えます。年に一度、9月に開催される地域予選大会や10月の県大会をご覧いただくと、皆さまにもピリピリした臨場感が伝わります。

親子CC大会は食育や食品ロス問題、環境に配慮した料理とはなにか・・・など多くのことを学ぶ大会でもあります。微力ながら、今後も子供たちへの「食育」活動に寄り添っていきたいと思います。



☆☆☆県からのお知らせ☆☆☆

危険物取扱者及び危険物施設の違反について

静岡県消防保安課

1 危険物取扱者の違反状況

危険物取扱者が消防法又は消防法に基づく命令の規定に違反した場合、消防法第13条の2第5項に基づき、免状を交付した都道府県知事から危険物取扱者免状の返納を命じられることがあります。

その運用については、「危険物取扱者免状の返納命令に関する運用基準」が定められており、全国的に統一的な対応が図られています。

都道府県知事は、この運用基準に基づいて当該違反行為に係る違反点数を算出しており、過去3年以内に累積した違反点数が20点に達したときは、違反者は免状を返納しなければなりません。

【平成31年（令和元年）度 静岡県内における危険物取扱者の違反状況成】

危険物取扱者の違反内容	法令	違反点数	件数
貯蔵及び取扱基準違反	消防法第10条第3項	4点	4件
貯蔵又は取扱危険物の届出違反	消防法第11条の4	4点	1件
危険物保安監督者監督業務不履行	消防法第13条第1項	4点	3件
予防規程遵守義務違反	消防法第14条の2第4項	2点	1件
定期点検義務違反	消防法第14条の3の2	4点	1件

(1) 平成31年（令和元年）度における違反事例

【違反行為の概要】

立入検査において、危険物と思われる物品の不適切な貯蔵及び取扱い等が認められ、分析した結果危険物であることが判明したもの。

【違反点数】

危険物取扱者の違反内容	法令	違反点数
貯蔵及び取扱基準違反	消防法第10条第3項	4点
貯蔵又は取扱危険物の届出違反	消防法第11条の4	4点
危険物保安監督者監督業務不履行	消防法第13条第1項	4点
合 計		12点

(2) よくある違反事例

顧客に自ら給油等をさせる給油取扱所（セルフスタンド）において、危険物取扱者が顧客の給油作業の監視を怠り、安全上支障が無いことを確認せずに顧客に給油作業等を行わせたもの ⇒ 貯蔵及び取扱基準違反 4点

2 危険物施設の違反事例等

危険物施設の立入検査については、市町の消防本部が実施しており、構造設備基準への適合や保安管理体制の整備等について監視指導を実施しています。

平成31年（令和元年）度は、県内の危険物施設13,897施設（R2.3.31現在）のうち、4,005施設に対して立入検査を実施し、334件の違反事例に指導を行いました。

この他、平成31年（令和元年）度の移動タンク貯蔵所及び危険物運搬車両の路上監視指導において、98車両の違反について改善指導されています。

【平成31年（令和元年）度 静岡県内における危険物施設の違反状況】

危険物施設の違反内容	違反件数
製造所等における危険物貯蔵又は取扱いの技術上の基準違反	48
製造所等の位置、構造及び設備の技術上の基準違反	195
製造所の無許可変更違反	1
定期点検の実施、点検記録作成又は点検記録保存義務違反	66
危険物保安監督者未選任違反又は統括管理者未選任違反	19
指定数量以上の危険物の無許可貯蔵又は取扱い違反	5
合 計	334

【平成31年（令和元年）度 静岡県内における危険物施設に対する措置命令等】

危険物施設の違反内容	命令件数
製造所等の緊急使用停止命令等	2
製造所等の位置、構造及び設備の技術上基準に関する措置命令	なし
無許可施設等に対する措置命令	4
合 計	6

平成31年・令和元年危険物関係法令の改正概要と主な通知

参考資料；（一財）全国危険物安全協会保安講習テキスト（令和2年版）

1 危険物関係法令の改正概要

No	改正項目及び概要	公布・施行日等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外タンク貯蔵所に係る水張検査の代替に関する事項 （危規則第20条の9及び第22条の4等関係） ●地下所蔵タンク等の定期点検期間の弾力化に関する事項 （危規則第62条の5の2～第62条の5の4関係） ●危険物施設の泡消火設備に係る合成樹脂管の使用に関する事項 （製造所等の泡消火設備の技術上の基準の細目を定める告示 （平成23年総務省告示第559号）第19条関係） 	公布日 令和元年8月27日 施行日 令和元年8月27日 *内容は解説参照

【解説】各改正における概要について

- 1 屋外タンク貯蔵所に係る水張検査の代替に関する事項（危険物の規制に関する規則（昭和34年総理府令第55号。以下「危規則」という。）第20条の9及び第22条の4、石油パイプライン事業の事業用施設の技術上の基準を定める省令（昭和47年通商産業省、運輸省、建設省、自治省令第2号）第55条第4項及び石油パイプライン事業の事業用施設の技術上の基準の細目を定める告示（昭和48年通商産業省、運輸省、建設省、自治省告示第1号）第68条の12第4項関係）

屋外タンク貯蔵所に係る補修工事のうち、以下の要件をすべて満たすことを確認できたものについては水張試験に係る規定を適用しないこととされた。

- (1) 有害な変形がないタンクの底部に係るものであること。
- (2) ぜい性破壊を起こすおそれのない溶接部に係るものであること。
- (3) タンク本体の変形に対する影響が軽微なものであること。
- (4) 補修箇所について漏れがないものであること。

- 2 地下貯蔵タンク等の定期点検期間の弾力化に関する事項（危規則第62条の5の2、第62条の5の3及び第62条の5の4関係）

地下タンク貯蔵所等の漏れの点検時期について、完成検査済証の交付日又は直近の点検日から起算して、タンクの区分ごとに定める期間を超えない日までとされているところ、タンクの区分ごとに定める期間を経過する日の属する月の末日までとなるよう所要の規定の整備がされた。

- 3 危険物施設の泡消火設備に係る合成樹脂管の使用に関する事項（製造所等の泡消火設備の技術上の基準の細目を定める告示（平成23年総務省告示第559号）第19条関係）

危険物施設の泡消火設備の配管について、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第12条第1項第6号ニ（ロ）及び同号ホ（ロ）等に定める技術上の基準に適合し、火災の熱等の影響を受けないよう設置されている場合は、合成樹脂製のものをを用いることができるよう技術上の基準の整備がされた。

2 危険物関係の主な通知

No	通知の名称及び概要
1	<p>●危険物等に係る事故防止対策の推進について (平成31年3月28日 消防危第47号)</p> <p>平成29年3月に危険物等事故防止対策情報連絡会(以下「連絡会」という。)で決定した「危険物等に係る事故防止対策の推進について」に基づき、毎年度「危険物等事故防止対策実施要領」を策定し、関係機関と一体となった事故防止等を推進しているところであるが、平成元年から平成29年の間の危険物施設で発生した事故のヒューマンファクター分析及び対策を取りまとめ、重大事故につながるヒューマンファクター起因防止に重点を置いた取り組みを行っていく必要があるとされた。</p> <p>また、危険物関係業界における平成30年度の参考となる取組事例についても取りまとめられた。</p>
2	<p>●プラントにおけるドローンの安全な運用方法に関するガイドライン等の送付について (平成31年3月29日消防危第51号 消防特第49号)</p> <p>無人航空機(以下「ドローン」という。)の技術開発が進展し、高所の点検や災害時の現場確認等への活用が期待される中、防爆エリアへの進入及び設備への落下等を防ぎ、安全な活用方法を普及させることが重要であるため、消防庁では、厚生労働省、経済産業省と共同で開催している「石油コンビナート等災害防止3省連絡会議」においてガイドライン及び活用事例集が取りまとめられた。</p> <p>また、留意事項として、ドローンを使用する場合はガイドラインを参考に運用するとともに、ドローンの飛行計画書について予防規程の関連文書として位置付けること、予防規程作成義務のない場合においても、安全管理に関する社内規定やマニュアル等に飛行計画を盛り込み、消防機関に情報提供することが望ましいとされた。</p>
3	<p>●「製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について」の一部改正及び点検実施上の留意事項について (平成31年4月15日 消防危第73号)</p> <p>危険物施設の高経年化が進んでいることを踏まえ、消防庁では平成29年度から「危険物施設の長期使用に係る調査検討会」を開催し検討を行っているが、同検討会の中間まとめにおいて、「製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について」(平成30年5月29日消防危第48号。以下「48号通知」という。)に示す点検表の点検項目の追加と点検実施上の留意事項が取りまとめられた。(別記の解説参照)</p>
4	<p>●危険物施設における可燃性蒸気の滞留するおそれのある場所に関する運用について (平成31年4月24日 消防危第84号)</p> <p>危険物施設において、可燃性蒸気の滞留するおそれのある場所(以下「危険区域」という。)で用いる電気設備・器具については防爆構造を有するものとする必要があるが、経済産業省において有識者等から構成される検討会が開催され、その結果を踏まえ「プラント内における危険区域の精緻な設定方法に関するガイドライン」が策定され、危険区域を設定する際の事業所における「自主行動計画」の例が取りまとめられた。</p> <p>また、留意事項として、火災や流出事故が発生した場合には、危険区域外であっても、予</p>

期せぬ場所に可燃性蒸気が滞留しているおそれがあることから、可搬式の非防爆機器の使用にあたってはガス検知器等により安全を確認することとされた。

センサーやタブレット等を用いた危険物施設の点検や災害時の現場確認等は、予防規程に定めることとされている「危険物の保安のための巡視、点検及び検査」等に該当するものであることから、所有者等により作成された自主行動計画については、予防規程の関連文書として位置付けることと、予防規程作成義務のない場合においても、安全管理に関する社内規定やマニュアル等に自主行動計画を盛り込み、消防機関に資料提出することとされた。

【解説】「製造所等の定期点検に関する指導指針の整備について」の一部改正及び点検実施上の留意事項について

1 48号通知の一部改正について

48号通知の一部の点検表において、配管の点検内容等に追加がされた。

(1) 追加があった点検表

別記2 製造所・一般取扱所

別記5 地下タンク貯蔵所点検表

別記8-1 給油取扱所（屋外）点検表

別記8-2 給油取扱所（屋内）点検表

別記8-3 顧客に自ら給油等させる給油取扱所（屋外）点検表

別記8-4 顧客に自ら給油等させる給油取扱所（屋内）点検表

別記10-1 一般取扱所（吹付塗装作業等）点検表

別記10-2 一般取扱所（焼き入れ作業等）点検表

別記10-3 一般取扱所（ボイラー・バーナー等による危険物の消費施設）点検表

別記10-4 一般取扱所（充てん施設）点検表

別記10-5 一般取扱所（詰替え施設）点検表

別記10-6 一般取扱所（油圧装置等）点検表

(2) 追加された内容

ア 点検内容「保温（冷）材の損傷、脱落等の有無」

イ 点検方法「目視*注」

ウ 注「保温（冷）材の損傷、脱落等が認められた場合には、保温（冷）下の配管が腐食しているおそれがあることから、保温（冷）材を外して点検することが望ましい。」

2 点検実施上の留意事項について

(1) 48号通知の点検表の様式は、個別の設備構成や自主的な点検項目等に応じ、内容を変更したものを用いることも可能とされた。この場合において、消防法令上の点検記録として活用するものについては、適切な記載内容となっていることをあらかじめ管轄の消防本部と十分協議しておくこととされた。

(2) 48号通知の点検方法を補足し、効果的な点検・維持管理に資するため、定期点検の実施要領として腐食疲労等劣化による事故の多い配管及び塔槽類について、①目視を行う際にポイントとなる確認事項、②モニタリング技術・診断技術に関する適用可能な新技術の例がとりまとめられた。

☆☆☆ 事故の情報 ☆☆☆

県内の危険物等に係る事故状況（平成31年・令和元年）

1 危険物施設に係る火災等の事故発生件数

（年次別）

区 分	静 岡 県					全 国				
	27年	28年	29年	30年	元年	27年	28年	29年	30年	元年
爆 発	1	0	1	0	0	215	215	195	206	218
火 災	1	6	2	9	7					
流出・漏洩	11	9	11	12	9	345	356	369	403	380
小 計	13	15	14	21	16	560	571	564	609	598
破 損	0	0	0	7	4	173	179	193	※	※
その他	1	2	2	1	3					
計	14	17	16	29	23	733	750	757	—	—

※消防庁による統計業務見直しの結果、平成30年分から破損、その他の全国集計なし

2 事故増加の主な要因

近年における事故増加の要因は、①火災に関しては一般取扱所、製造所、給油取扱所等における管理不十分・確認不十分等の人的要因、②漏えいに関しては給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所、一般取扱所等における危険物施設の老朽化等に伴う腐食・劣化の物的要因が主である。

3 県内の事故状況

県内の危険物等に係る事故は、平成31年・令和元年は、危険物施設23件（負傷4人）の事故が発生した。

4 平成31年・令和元年の県内の危険物等に係る事故

（平成31年1月～令和元年12月）

発 生 年月日	製造所等 の 区 分	事故 種別	事故概要	主原因	人的被害
H31. 1 .23	給油取扱所	火災	原動機付自転車から漏洩したガソリンに静電気がスパークしたことによる火災	誤操作	なし
H31. 2 .19	一般取扱所	流出	少量危険物移動タンクから灯油約30リットルが敷地内に流出	監視不十分	なし
H31. 3 .20	屋内貯蔵所	火災	従業員の静電気放電によりポリシラザン溶液に引火し、貯蔵所全体に延焼拡大した火災	維持管理不十分	なし

発 生 年月日	製造所等 の 区 分	事故 種別	事故概要	主原因	人的被害
H31. 3 .23	一般取扱所	流出	配管溶接部に亀裂が生じ、オイルが漏洩	腐食疲労等劣化	なし
H31. 3 .26	給油取扱所	破損	隣地にある重機レンタル会社のパワーショベルが後退し破損	交通事故	なし
H31. 4 .4	屋外タンク貯蔵所	流出	配管サポート箇所から危険物約100リットルが河川に流出	腐食疲労等劣化	なし
H31. 4 .9	給油取扱所	破損	トラックが後退し防火塀に接触し、破損	交通事故	なし
H31. 4 .12	給油取扱所	流出	従業員が誤って給油ノズルを給油口から外し、軽油約3リットルが流出	誤操作	なし
R 1 . 5 .14	その他	火災	鑄造中に溶湯が付近のメタノールと引火性固体の混合液に飛び跳ねて引火	維持管理不十分	重症 1名
R 1 . 5 .22	移動タンク貯蔵所	流出	注入ホース結合部金具部分の緩みにより重油約30リットルが流出	維持管理不十分	なし
R 1 . 6 .15	給油取扱所	火災	隣接する工場の建物火災により類焼	類焼	なし
R 1 . 6 .24	一般取扱所	火災	シンナー缶上に置いた、ハンドガンの静電気と可燃性蒸気により出火	誤操作	中等者 1名
発生不明 発見・覚知 R 1 . 7 .14	屋内貯蔵所	火災	硝化綿をビニール袋にて木製パレット上で貯蔵していたところ出火	維持管理不十分	なし
R 1 . 7 .25	製造所	流出	バルブを閉め忘れたことにより、製造所のタンクからエタノール6,500リットルが流出	操作確認不十分	なし
R 1 . 8 .14	一般取扱所	流出	危険物配管老朽により、第4類第3石油類重油約20リットルが流出	腐食疲労等劣化	なし
R 1 . 8 .19	屋外タンク貯蔵所	流出	危険物第4類第2石油類灯油を受入れ作業中に受入れ配管から流出	操作未実施	なし

発生年月日	製造所等の区分	事故種別	事故概要	主原因	人的被害
R1.9.27	一般取扱所	火災	吸着槽に粉体の原料を投入中、静電気が発生、可燃性蒸気に着火し爆発	操作確認不十分	中等者 1名
R1.10.3	給油取扱所	破損	トラックの左側面後部が防火設備に接触して破損	破損	なし
R1.10.4	移動タンク貯蔵所	流出	移動タンク貯蔵所が脱輪し崖下に転落した際に、積載していた危険物が流出	交通事故	中等者 1名
R1.10.12	一般取扱所	破損	台風19号の発生に伴い、裏山からの土石流により計量器が破損	地震等災害	なし
R1.11.10	給油取扱所	その他	セルフ型屋外給油取扱所において、自動車燃料タンクに灯油を誤給油	監視不十分	なし
R1.11.11	給油取扱所	その他	移動タンク貯蔵所からガソリンを荷卸しする際、軽油用地下タンクへ誤注入	誤操作	なし
R1.12.7	給油取扱所	その他	移動タンク貯蔵所から地下タンクへ注入中、低弁の誤操作によりコンタミ	誤操作	なし
計23件（火災7件、流出9件、破損4件、その他3件）				負傷 4人	

（参考資料；静岡県消防保安課）



ガソスタオヤジとして、 危険物について苦慮すること

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 理事

志太危険物安全協会会長 青木 徹

私は焼津片田舎のガソリンスタンドのオヤジです。危険物施設としてのガソスタの安全確保と老朽化、想定外の自然災害への対応に、どうにかやり過ごしてきましたが、将来的には非常に苦慮しています。ガソスタの危険物施設の老朽化の問題といえば、まずは、地下タンク及び埋設配管です。石油業界は、漏洩検査及び最新検知機器の設置・タンクライニング等の費用に対し、国からの補助金で対応していますが、これってこの先もずっと続くの、と考えている全国のガソスタオヤジは数多いと思います。

さて、国内のガソスタの歴史は、黎明期はさておき、およそ60年、まさに危安協の歴史と共に歩んできました。その歴史を65歳の私が見てきたかがごとく解説すると、ざっと3つに区分され、第一期、60年代の高度成長期に全国津々浦々の道路端に建設が広がり、第二期、80年代のバブル期にモータリゼーションを謳歌、ガソスタのリニューアルや新設に過剰？投資をして乱立、第三期は2000年代に入り、セルフスタンドが先進国に周回遅れで席卷している、となり、当社も同じ類の経歴があります。

で、危険物施設の老朽化問題に戻ると、第一期のガソスタは、大方はすでに撤退しており、今後、第二期後期の重装備となっているガソスタにワンサカ高額補助金が必要になってくると思われる、ということです。国の財政はトコトン大変な状況です。首都高等アップデート・マストのインフラ整備がいっぱい控えていますし、コロナ禍で税金使い果たした感もあります。いつまでもあると思うな〇〇です。苦慮です。

加えて、想定外の自然災害です。今年の夏の暑さ35℃超え続きは凄かったです。温暖化・異常気象下では、なんだって起こりうると改めて思い知らされましたよね。で、今後の危険物施設は、想定外の自然災害への対応を想定した？施設が求められていく、ということです。とは、安全に対するハードルは、規制緩和どころか、ぐぐっと高くなっていく、ということです。スマート危険物施設とでも言いましょうか、人手・経験不足の中、技術革新・AIを駆使した設備が開発されるでしょう。しかし、ここで、また苦慮です。大手企業はやるでしょうが私らみたいな中小零細にはね、ということです。まして、化石燃料によるモータリゼーションはとっくのとなまにピークを越え再生エネルギーにバトンを渡すべくラストラン中です。日本の企業の競争力が弱いのはコストがかかり革新ができない中小零細を補助金などで温存しているからだ、の批判には忸怩たる思いにかられつつ反駁の余地もないことはないですが、苦慮。

ところで、私はこの4月に志太危険物安全協会の会長、新型コロナの影響で会長らしきことはほとんど何もしていません。だれも困っていない？ようです。今までやってきたことなんだったんでしょうね、と、否定するつもりはないですが。今日まで日本は、官と民が協力して経済の臼を回し、危機管理にも当たってきたんですから。でもその在り様危安協も含めて思案時かもですね。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



新理事就任にあたって

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 理事
浜松市防災協会副会長 坂井 智司

本年6月23日の理事会におきまして、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の要職を仰せつかり、その職責の重さを日々感じているところであります。

私共、危険物取扱い事業者は、法令に定められた諸基準を遵守することはもちろん、日々の安全対策に決して気を緩めてはいけません。

近年、危険物に対し人々の関心が高まっています。これは京都アニメーションスタジオでの危険物を使用した放火事件、福島県郡山市で休業店舗がガス爆発した事故のほか、北海道札幌市では危険物とは関係が薄い不動産会社でのスプレー缶爆発など様々な危険物による事件や事故が発生し、新聞紙面上を賑わせているからです。

危険物事故の発生要因については、設備の維持管理不足や操作上の不手際、不注意や故意的な取扱いなどの人的要因や施設の老朽化など物的要因によるものが考えられます。

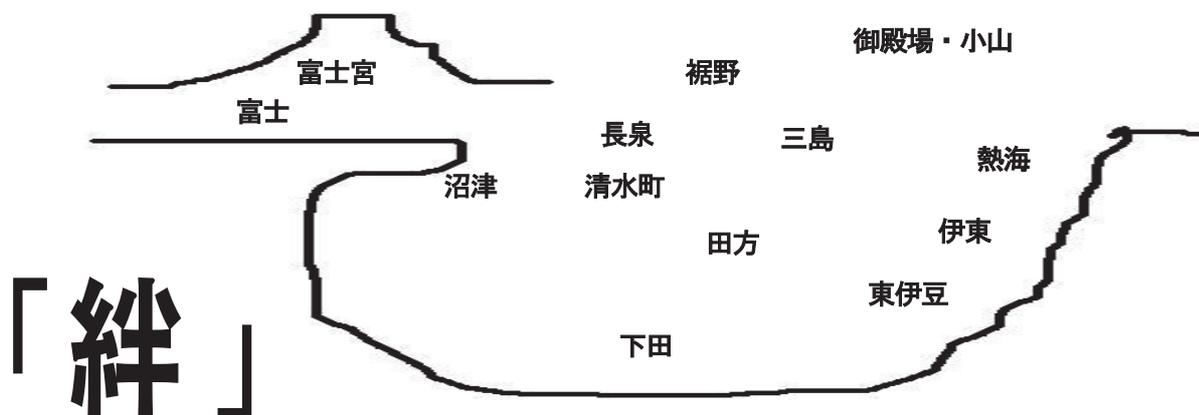
ひとたび危険物事故が発生すると、近隣住民への影響ばかりか、社会全体への影響は計り知れません。決して危険物を危険なものにしてはいけません。

私共の扱っている危険物は、日々の生活に必要な不可欠なものであるからこそ、より安全に滞りなく供給しなくてはなりません。これは災害時に顕著に表れます。災害が発生した時には、我々は、社会インフラを担う者として全力で安定供給、十分な供給ができるようにしなくてはならないと考えます。

いずれにいたしまして、危険物による事故や事件を防ぎ安全を守るためにも、消防機関との連携や協力を今まで以上に深いものにして安全意識の普及・啓蒙活動を進めてまいりますので皆様方の一層のご協力をお願いいたします。

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

東部地区危険物安全協会連絡会



静岡県危険物安全協会連合会創立50周年に当たり、東危連会員一同心からお祝い申し上げます。

また、貴連合会の益々の発展をご祈念申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は、各地区協会と同様に当連絡会にも出ており、5月の幹事会は中止、6月に伊東市で予定していた通常総会は書面会議に変更し実施いたしました。

さらに、東京方面で検討していた10月の幹事視察研修会も中止したことにより、県危連の事業も含め、顔を合わせる行事がないまま今年度が終了してしまうのではないかと、少し寂しい気持ちになっている今日この頃です。

令和3年3月に予定している幹事会は、ぜひ開催したいものです。

そして、令和2年と言えば、東京2020オリンピック・パラリンピックが、ここ東部地域においても、伊豆ベロドローム及び富士スピードウェイを中心として、自転車競技ロードレース、マウンテンバイク、トラックが開催され、多くの関係者が訪れる予定でした。

ところが、みなさまもご存じのとおり、長いオリンピックの歴史の中でも初めての延期となり、すでに新たな開催日も決定しておりますが、その準備には多くの課題が残されていると報道されております。

国際オリンピック委員会のバッハ会長が「世界が暗いトンネルの中にいる今、オリンピックの聖火が、そのトンネルの先にある光明になれるはずだ。」と述べているとおり、今後、新型コロナウイルスに打ち勝ち、選手や観客をはじめすべての関係者にとって、安全・安心な大会が開催されることを切に願い、日本代表選手の活躍を応援したいものです。

東危連に話を戻しまして、全国的に危険物事故が増加傾向にある中で、昨年度、当連絡会において幸いにも危険物が起因する事故はありませんでした。

今後も各事業所が保安管理体制を強化し、安全・安心をモットーに歩んでいきたいと思っております。

以下に本年度の事業を紹介します。

1 正副会長会議

(1) 月 日 令和2年6月12日(金)

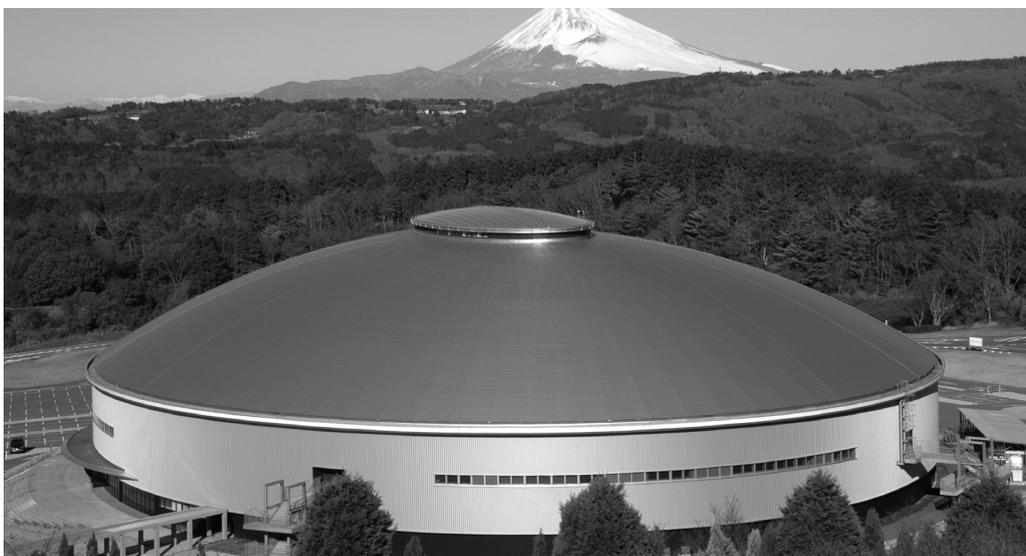
(2) 場 所 駿東伊豆消防本部 沼津南消防署

2 令和2年度(第42回)通常総会書面会議

3 幹事会

(1) 月 日 令和3年3月5日(金)

(2) 場 所 沼津市 FDIビル バンケットホール



写真協力：伊豆ペロドローム



写真協力：富士スピードウェイ

中部地区危険物安全協会連絡会



米ジョンズ・ホプキンス大の集計では、日本時間8月14日夕の時点で、世界の新型コロナウイルス感染症の感染者数が約2090万人、亡くなった方は76万人に上り、新型コロナウイルス感染症拡大は止まることを知りません。

日本で新型コロナウイルスの感染者が初めて確認されたのは、今年1月16日、中国から日本に帰国した神奈川県在住の30代男性から新型コロナウイルスが検出されたという厚生労働省の発表でした。

その後日本国内でも感染者数が増えるとともに、2月頃には小売店の店頭からマスクや消毒用アルコール等の商品が無くなり、入手困難な状況が続きました。

このような状況の中、4月18日の地元新聞に、日本各地の老舗酒造会社が消毒液の代わりとなるアルコール度数の高いお酒の製造に相次ぎ乗り出したという記事が掲載されました。医療機関にお

いても消毒液が不足する中で生まれたアイデアの一つではありますが、アルコール度数が高くなると、それはそれとして考えなければならないことが生じてきます。

消防法上の危険物である第4類アルコール類には、重さで考えたときの濃度である60重量%濃度以上のものが該当しますが、酒造等において一般に使用されているのは体積で考える濃度の容量%だそうです。その場合、67容量%濃度以上のものは消防法上の危険物に該当します。つまり、新聞記事に掲載された酒造会社のアルコール度数70%を超える商品はお酒であり、消防法上の危険物として規制を受ける商品ということになります。

その場合に注意が必要なことは、普段は危険物でない酒類を取り扱っている流通業者、販売業者、消費者が、高濃度アルコール酒を危険物であると十分理解せず、消防法の規制を受けることを知らずに、基準に合わない貯蔵や取扱いをして無意識に消防法違反をしてしまう危険性があることです。

日本において危険物は、火災の危険性が高い物質として消防法による厳しい規制と、危険物取扱者という資格制度により安全確保の徹底が図られています。

このコロナ禍の中、危険物に関する正しい知識を持たない消費者もアルコールを使用する機会が増えているため、当連絡会においても地域社会の危険物に起因する災害防止のため、危険物に関する知識の普及に努めてまいりたいと思います。引き続き会員の皆様におかれましてもご理解ご協力をお願いいたします。

【平成31年度の主な事業】

幹事会

各地区協会の事務局員が参加し、協会事業の円滑な推進等について協議するとともに、危険物規制事務に関する意見交換や研修会等の情報共有を積極的に行い、危険物施設での事故・違反の防止を図っています。

【第1回幹事会】

〈日 程〉令和元年5月16日（木）

〈会 場〉藤枝市立駅南図書館

【第2回幹事会】

〈日 程〉令和元年12月6日（金）

〈会 場〉葵消防署会議室

平成31年度総会

静岡県中部地区の危険物安全協会及び防火協会等が、事務事業に関する情報交換と連絡調整等の交流に努めることにより、各地区協会相互の事務事業の円滑な推進・発展と会員相互の親睦を図ることを目的としており、会則の変更、事業計画及び事業報告、予算及び決算、その他運営上重要な事項に関して決議を行います。

〈日 程〉令和元年6月28日（金）

〈会 場〉静岡市中島屋グランドホテル



来賓、役員（会員）の皆様

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆



西部地区危険物安全協会連絡会

令和2年度西部地区危険物安全協会連絡会は、会員並びに幹事が各地区協会の改選又は異動により、メンバーも入れ替わりスタートしています。

退任されました会員や幹事の皆様には、長年に渡り当連絡会に貢献いただきました事に感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染が日本全国に広がり、感染防止のため、各地区協会の会議や事業が次々と中止、延期となり、多難な始まりとなっております。

早期の収束を願うばかりです。

当連絡会の令和元年度の主な事業については、6月18日（火）に県危連の小林事務局長並びに御前崎市消防本部の松下貴幸消防長にご臨席を頂き総会を開催いたしました。

研修としましては、7月26日（金）に浜松市防災協会が主催となり、「東日本大震災の教訓と巨大災害への備え」としまして防災講演会を実施しました。講師は、越村俊一氏（東北大学災害科学国際研究所・教授）で、参加した会員からは、改めて防災対策の重要性を認識することができたとの声が聞かれました。

視察では、令和2年1月23日（木）東海プリントメディア株式会社清州工場（愛知県清洲市）の視察をしました。

今後も各地区協会相互に連絡協調を図り、より実りある連絡会としていく所存です。

令和元年度に実施した事業についての詳細については次のとおりです。

1 総会・会議関係

(1) 総会 令和元年6月18日（火）

オークラアクトシティホテル浜松で開催され、平成30年度事業報告・収支決算、役員改選及び令和元年度事業計画案、収支予算案等について承認されました。



総会

(2) 幹事会議

次のとおり3回の幹事会により、事業の円滑な推進や地区協会の発展を目的とした情報交換等を行いました。

- 第1回幹事会 令和元年5月10日（金） 於：浜松市消防局
- 第2回幹事会 令和元年8月23日（金） 於：浜松市消防局
- 第3回幹事会 令和2年2月7日（金） 於：浜松市消防局

(3) 連絡会議 令和元年11月20日（水）

オークラアクトシティホテルで連絡会議を開催、令和元年度の中間事業報告及び令和元年度の事業方針等について審議し、会議終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気の中、情報交換を行いました。

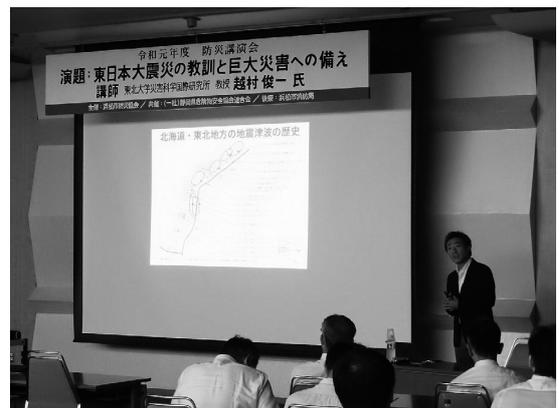
2 研修会関係

(1) 会員・幹事研修会

令和元年7月26日（金）

於：浜松市中区アクトシティコンGRESS
センター

講師に、越村俊一氏（東北大学災害科学国際研究所・教授）をお招きし、「東日本大震災の教訓と巨大災害への備え」の講演をいただきました。



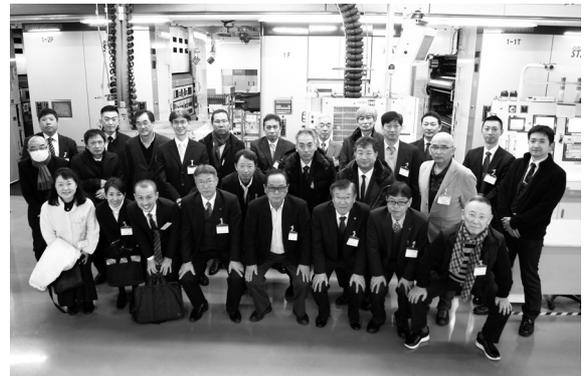
防災講演会「講師：越村俊一氏」

(2) 会員・幹事視察研修会

令和2年1月23日（木）

於：愛知県清須市東海プリントメディア
株式会社清州工場

施設内の防災体制等を視察しました。



東海プリントメディア株式会社清州工場にて

(3) 幹事研修会 令和元年8月23日（金） 於：浜松市消防局

各地区協会から規制事務に関する事例について、情報交換を実施しました。



歩くこと

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 監事

静岡市防災協会副会長 伊坂 龍一郎

令和2年がコロナ禍の年になるとは思いませんでした。娘の高校の卒業式は、校長先生から一人一人への卒業証書授与が代表者のみへの授与となり、校歌斉唱もありませんでした。大学の入学式も中止、前期授業もオンラインでの聴講でした。私自身も3月から全ての会合が中止となりました。当社は塗料の卸売業ですが、3月以降売上減が続いています。いろいろなことを変えていかなくてはいけない時だと思っています。

実は3月以降、変えたというかわ変わったことが2つあります。1つはマスクをするようになったこと、2つめはよく歩くようになったことです。外出自粛といえども運動をしないはいけませんから、マスクをして町内1周、慣れてくると隣の町内まで足を伸ばして1時間位1周、飽きると反対周りで1周。街中でないので、密にはなりません。スマホに歩数計がついているのでこれがとても励みになり、休日は1日1万歩を目標に歩いています。本来はいわゆるウォーキングという、足を上げる高さや腕の振る角度などを考えてやらないと運動にならないし効果も少ないのですが、あまり深く考えると続かないと思い、今まで通りの歩き方でごく普通に歩いています。靴も普通の運動靴を履き、革靴やサンダルで歩くこともあります。服装も普段着です。これまで膝が痛くなったり、足にマメはできませんでしたが、靴が足に合っているのか、歩き方がいいのか、さあそれはどちらでしょう。歩くことで、今まで気づかなかった小さなことも見つけましたし、思いがけなく小学校の同級生の家を発見したりもしました。

6月から徐々に制限が緩和されて、行事も復活してきました。以前は会合に出向く際は、15分ほどバスに乗って出かけていましたが、今は町まで時間が許せば35分かけて歩いています。駿府城公園の入口が中間点で、公園内の草木をながめながら、目的地まで歩きます。バスも普段と違う視点から景色を見られますが、歩きによる発見にはかないません。歩くことで毎回発見があるわけではありませんが、たまに見つける小さな気づきが、積もり積もって大きな気づきになるのではと思います。とはいえ、真夏は歩くと汗がすごくて会合に臨めなくなるので、自転車で町まで行くようにしています。自転車だと町までの所要時間はバスと同じ位で、とても便利な乗り物であることを実感させてくれます。町に行くのには南下するのですが、川の流れの関係で、行きは駿府城公園までなだらかな上り坂、帰りが下り坂になります。自転車では歩くほどの汗はかかず、そんなところでも歩くことの運動量の多さを実感しています。

コロナ禍はまだまだ続きそうです。これが去ればマスクは付けなくてよくなるのですが、歩くことはこれからも続けていきたいと思っています。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



郷土と仲間

田方防火協会 会長
石 渡 延 人

昭和35年伊豆天城の里に生まれて以来60年の歳月が過ぎました。

故郷を離れていた時期はわずか8ヶ月、幼少期はごく普通の家庭の生活。気が付くと12歳の時、父が突然のガソリンスタンドを開業。店には、いつも多くのお客さんというより、父の仲間がいました。

毎日夕方の時間帯には店のバックヤードからは賑やかな声が聞こえ、将来自分も同じ道を歩む予感を感じました。

しかし、楽しい時間はすぐに消え去ることとなります。19歳の時、東京のスタンドで修行中に父の異変の連絡があり、帰省すると、そこに居たのは痩せ細った父の姿でした。

入院して1ヶ月で他界、自分も修行先を退職し、実家の店を手伝う事となり、現在に至っています。

父の残した店は、母と私が経営する事となりました。多くの方の励ましもありましたが、なかなか順風満帆とはいかず、父の仲間、親族からは手厳しい言動もあり辛い時期がありました。

地元に戻り、消防団、青年団、野球連盟チームに所属して多くの仲間が出来ました。青年団ではバレーボール県優勝、野球では県準優勝2回、栄光もありましたが数えきれない位の挫折も経験しました。

時が過ぎ26歳の秋、結婚を機に石油組合、危険物安全協会の会合、総会に出席し始め、多くの方と知り合いになり、私も団体の仲間の一員にして頂きました。以来、多くの団体に相談が出来る友人、仲間が出来ました。多くの役職も経験しましたが、出会えた仲間の協力で事業推進が出来た事と思うと、只々感謝しています。

田方という郷土に多くの仲間が出来ました。

これからもよろしくお願いします。

田方防火協会会員の事業所の無事故、無火災を願って。



☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



夢のリタイアメント生活

清水町防火協会 会長

齋 藤 忍

MM2Hをご存じだろうか？マレーシア・マイ・セカンド・ホームの略で、日本人が最も移住したい国13年連続NO1であるマレーシアの10年間長期滞在ビザのことだ。

警察の定年退職を前に、「リタイア後は、海外でゆったりとした生活がしてみたい。インフラが整い、気候が良くて治安もいい。コンドミニアムに住み、好きなゴルフを格安で楽しめ、釣りもでき、食事は街の屋台で外食、そんなのんびりとしたリタイアメント生活も物価が日本の1/2から1/3といわれるこの国なら可能・・・」そんな夢を描きながら資料集めを始めていた。大詰めを迎えた頃、富士山南東消防本部の初代消防長への招聘話しが舞い込み、任期3年という約束でお引き受けした。「退職が3年延びるだけ、むしろ準備期間が整ったと思えばいい。」そんな気持ちをひた隠し、与えられた職務には真剣に取り組みながら、夢の実現に向けた資料集めは切れ間なく継続された。

申請には、最低35万リンギット（約945万円）以上の財産証明と月額1万リンギット（約27万円）以上の収入証明があれば足りる。仮承認が下りたら、15万リンギット（約405万円）をマレーシアの金融機関に定期預金する必要があるが、利子が3%以上と言われるマレーシアの銀行口座を併せて所有することができる。最も気になるところの生活費もプール・ジム・警備員付きの2LDKコンドミニアムを借り、食費、光熱費、通信費、交通費、ゴルフ代等合計約20万円でそこそこの生活ができる。妻も「住むならハワイがいいけど、高くて生活できないね。マレーシア、いいんじゃない。いやになったら帰ってくればいいんだし」と乗り気は充分。「留守する自宅も二世帯住宅にしておいて良かったね。管理も任せられるし、孫の世話からも解放される。」「年に数回顔を合わせる程度がお互い幸せなんだよ。航空運賃も現地入手の方が格安だし、滞在義務もなく、自由に2国間を行き来できるというのがMM2H最大のメリットだから・・・」そんな会話が日に日に増えていった。

約束の任期3年目となった夏。既に仮承認手続き中であったが、「一度、下見旅行に行こう。仮承認後に必要となる現地での本申請は来春4月末までの有効期限だから、本申請と物件探しは退職後にしよう。まだ現職だし、休暇も多くは取れない。土日と夏季休暇を合わせ5日間の募集旅行に参加しよう。」これが失敗だった。

参加したツアーは、席をプレミアムエコノミーとはしたものの、あくまでも団体旅行であって、失敗の最大原因は「全行程食事付き」にあった。マレーシアの食事は、日本人の

口に合い、美味しい、そんな情報を鵜呑みにしていたが、ツアー団体客を案内する店だからどこもそれなり。どの食事でも口に合わないのだ。中華にしても、マレー料理にしても二人の口にまったく合わない。特に、妻の口に合わなかった。「いいところで食べればきっと美味しい」そんなことを言っても無駄だった。「食べ物が合わない国なんて絶対にいやー」確かに、5日間の旅行で美味しいと思えたのは、クアラルンプールのショッピングモール内に見つけた「築地銀だこ」だけだったのだ。

夢のリタイアメント生活は、シャボン玉のように消え去り、現実が押し迫ってきた。物価の高い日本でのごく当たり前のジジ・ババの生活である。生活する以上、仕事をしないわけにはいかない。

そこに「神」が現れた。東部地区有数規模の商業施設、誰もが知っている「サントムーン柿田川」を管理運営する当社「大東紡エステート株式会社」だ。2019年5月、こんな私を施設保安部部長として雇い入れてくださったのだ。

「清水町防火協会の会長職ですか、喜んでお引き受けさせていただきます。」



昔から慣れ親しんだ施設であったが、毎日のように新たな発見がある。また、

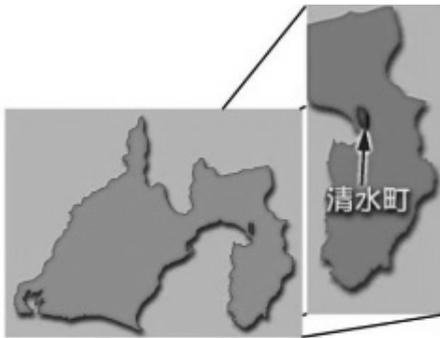
施設内を歩くと、警察、消防でお世話になった多くの方々とふれあう機会も数多く得られる。感謝に堪えない。そして、ここには地域の方々の「笑顔」があふれている。幼児がはしゃいで走り回り、それを咎める若い夫婦、互いを支え合うよう手を繋いで歩く老夫婦の姿も多く目にする。ここは地域の人達にとって、まさに「愛するわがまち」なのだ。

2020年3月10日、新棟オアシス（Oasis）も開業し、本館、アネックスとも連絡通路で繋がった。施設コンセプトは、「Bridge to a Brighter Life —もっと輝く暮らしへ」地域のお客様の毎日に彩りを添え、もっと心きらめく暮らしへの架け橋となることをめざしていくというもの。勤務して1年半、「サントムーン愛」が日に日に大きく膨らんでいることに気づく。そして夢も変わった。「サントムーン柿田川」の本館島、アネックス島、オアシス島で過ごす日々と、毎日可愛い孫と一緒に過ごせるというごく当たり前のジジ・ババのリタイアメント生活へと。

皆さん、「サントムーン柿田川」に是非お立ち寄りください。「築地銀だこ」をはじめ、日本人の口に合う美味しいお店ばかりですから。

清水町防火協会

【清水町の紹介】



清水町は、総面積8.84km²、人口32,192人（令和2年4月1日現在）を有し、東に三島市、西に沼津市、北は長泉町に隣接しています。町の95%は平坦地であり、国道一号線が東西に横断し、町の中央部には富士山を背景にして流れる国の天然記念物指定を受けた湧水柿田川が流れ、温暖な気候に恵まれた緑と清流の美しい町です。

《ゆうすいくん》

清水町制施行50周年を記念し、平成25年に作成されたイメージキャラクターです。

日本3大清流である清水町の柿田川湧水で生まれ、柿田川の水のような美しい心で愛と平和と笑顔のために戦うヒーローです！



《柿田川湧水群》



柿田川湧水群は、「名水百選」「21世紀に残したい日本の自然百選」「国の天然記念物」に認定されています。清らかな水が湧き出る「湧き間」をはじめ、清流で営まれる生態系すべてが一つになって豊かな自然を創りだしています。

優れた自然条件にしか育たない動植物が、数多く生息しています。

【清水町防火協会の活動】

昭和54年11月に発足した清水町危険物安全協会が発展的解散をし、平成6年5月12日の設立総会において、危険物の50事業所に新たな83事業所を加えた133事業所により清水町防火協会が発足しました。

事業所における防火管理の向上、危険物の安全管理を図るとともに、消防行政機関と密接な連携を保ち自主的な災害防止活動を推進し、併せて会員相互の親睦を深め、事業の振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的に活動しています。令和2年4月1日現在、会員は118事業所からなり、予防、危険物及び広報の3つの事業推進委員会で構成されています。ここで清水町防火協会の事業を紹介します。

《定時総会》



毎年、5月に定時総会を開催し、前年度の事業報告、決算、今年度の予算案及び事業計画案の承認等を受けた後、懇親会を開催しています。

《花火教室》



幼稚園及び保育所を対象とした花火教室を実施し、正しい花火の使用法を指導しています。

《火災予防啓発キャンペーン》

秋季火災予防運動期間中に、協会役員による火災予防啓発キャンペーンを実施しています。火災予防のリーフレットや啓発品を渡しながら、火災多発シーズンの注意喚起を呼び掛けています。



《合同消火訓練》



10月頃に会員対象の合同消火訓練を開催しています。参加者の皆さんは、屋内消火栓、消火器及び煙体験等のコーナーを巡回し、真剣に取り組んでいます。

《視察研修》



毎年、秋頃には視察研修を行っており、研鑽の場であるとともに、会員相互の親睦も深める有意義なものとなっています。(令和元年度 神奈川県横須賀市 猿島)

裾野市防火協会

裾野市防火協会は、昭和48年4月に発足した裾野市危険物安全協会と昭和60年4月に設立した旧裾野市防火協会が平成元年4月に運営の効率化を図るため統合し現在に至ります。

防火管理の向上徹底を図るとともに、危険物の安全管理と消防行政機関と密接な連携を保ち自主的な災害防止を推進し、併せて会員相互の親睦を深め事業の振興発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的としています。

現在の会員事業所数は224事業所で、防火防災に関する事業や救急法講習など会員事業所に役立つ事業を行っています。

～次世代型近未来都市の推進～

裾野市では、医療、介護、教育、交通、農業、行政サービスなどあらゆる分野においてIoT（モノのインターネット）が隅々まで行き渡り、先進技術が加速的に活用されていく未来社会に対応するため、また、トヨタ自動車株式会社が展開する実証都市「ウーブン・シティ」の実現に向けた支援体制を構築し、新たな価値を創出するまちづくりを推進しています。

富士山麓の豊かな自然のもと、デジタル技術やデータの利活用によりまちをリデザインし、あらゆる分野の地域課題を解決するため「スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想」を掲げ、豊かな自然と調和する次世代型近未来都市を目指しています。

ウーブン・シティのイメージ



トヨタ自動車公式企業サイトより引用

《裾野市防火協会事業のご紹介》

「裾野市防火協会創立30周年記念式典・祝賀会」

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会の中島会長、(一財) 消防試験研究センター静岡県支部の中西支部長、(一社) 静岡県危険物安全協会連合会の小林事務局長や市長をはじめとする市関係者にご臨席を賜り、また東部地区危険物安全協会連絡会の地区協会長の皆様の御出席のもと、30周年記念式典等を滞りなく盛大に実施することができました。



「消火技術競技大会」

会員事業所を対象として、「消火技術競技大会」を毎年開催しています。また、最近は近隣への配慮から事業所内で消防訓練を行うのに苦慮している事業所が多いことから、年2回「消防訓練会」を開催し消防訓練を行う機会を提供しています。



「各種救命講習会」

会員事業所を対象として、各種救命講習会を開催しています。普通救命講習会、上級救命講習会は毎回大盛況です。



「危険物施設定期点検記録簿の確認審査会」

危険物施設の維持管理、事故防止のため、会員事業所（危険物施設）が危険物施設定期点検記録簿を持ち寄り、防火協会の危険物対策委員に記載事項の確認をしてもらいます。危険物施設が良好に保たれているか確認を受けるとともに、保安管理に関するアドバイスを受けます。



「火災予防週間中の事業」

春季火災予防運動週間には、防火協会会員事業所の従業員に「一日消防署長」をお願いし、火災予防PR活動を実施しています。



「防火標語の募集」

裾野市防火協会独自の防火標語を毎年公募し啓発活動に使用しています。最優秀作品は裾野市防火標語として、市民の皆さんに火災予防の呼びかけを行います。



☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

島田・北榛原地区危険物安全協会

昭和41年4月、年々増加する危険物災害を危惧し、製造業、ガソリンスタンド、製茶工場、塗装業等々の事業所の参加により、島田市危険物安全協会として発足しました。

その後、昭和48年4月には島田市と金谷町との組合消防発足を受け、当協会も島田・金谷地区危険物安全協会と改名し、金谷町の危険物取扱事業所が新たに加入されました。

さらに、1市4町の広域消防の確立に伴い、平成10年4月には、川根町、中川根町、本川根町の危険物取扱事業所が加入し、島田・北榛原地区危険物安全協会と名称を改め、平成28年には創立50周年を迎えました。

同年4月からは、消防広域化により静岡市、島田市、川根本町、吉田町、牧之原市の3市2町の広域消防が静岡市消防局としてスタートし、事務局員も静岡市消防局島田消防署の職員が事務局を務めております。

現在は140事業所で構成され、自主保安管理体制の確立を促し、災害のない明るいまちづくりを目指し、活動しています。

先進都市視察研修

令和元年度は、兵庫県神戸市のティー・エム・ターミナル株式会社で危険物施設及び高圧ガス施設を視察しました。



2日目には、阪神淡路大震災を機に建てられた体験型施設、人と防災未来センターへの視察研修を実施しました。

島田市・川根本町の紹介

蓬菜橋



蓬菜橋は、1879年（明治12）年に、大井川に架けられた全長897.4m、通行幅2.4mの木造歩道橋です。

1997年（平成9年）12月には、「世界一長い木造歩道橋」として英国ギネス社から認定を受け、全国的にも有名な観光名所となりました。

蓬菜橋は、その長さが897.4mということから、【やくなし=厄無し】【長い木の橋=長生の橋】など、厄払いや長寿のご利益スポットでもあります。

島田髷まつり



島田髷については諸説あり定かではありませんが、島田出身の大磯の遊女「虎御前」が考案して結ったのが始まりと伝えられています。

昭和8年9月17日に虎御前感謝祭が行われ、以来「島田髷まつり」として開催されてきました。様々な型の日本髪・島田髷を結び、揃いの浴衣を着た髷娘たちが手踊りしながら歩く「島田髷道中」の後、鶴田寺にて髷供養感謝祭が行われます。

金谷茶まつり

金谷茶まつりは、井桁模様の紺がすりの着物に茜だすきの茶娘たちが踊る茶娘道中をはじめ、屋台道中や金谷大井川川越し太鼓が通りに繰り出て、新茶の季節の到来を告げる2年に一度の大イベントです。



大井川鐵道株式会社



大井川鐵道はSLが走ることで有名ですが、大井川上流の森林資源の搬出と電源開発を目的に大正14年に創立した鐵道会社です。昭和6年に金谷～千頭間が全通し、以降昭和34年には、井川線（南アルプスあぶとライン）の運行を開始。昭和51年には全国でいち早くSLの復活運転を実施しました。

2014年（平成26年）からアジアで初めての【きかんしゃトーマス号】を運行開始し、2015年にジェームス号、2016年にはバスのパーティーが仲間入りしています。

夢のつり橋



南アルプスの麓、温泉郷としても知られる静岡県川根本町の寸又峡。

ミルキーブルーの美しい湖に架かる【夢のつり橋】は、世界最大規模の旅行口コミサイトである「トリップアドバイザー」から「死ぬまでに渡りたい世界の徒歩吊り橋10選」に選ばれました。

橋の中央でお祈りをすると、恋愛成就するといわれており、パワースポットとしても人気です。

☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

磐田市危険物安全協会

磐田市危険物安全協会は、昭和40年に結成され、会員事業所間の連携と危険物の安全思想の普及と安全確保に向け、各事業を通じて、危険物に起因する災害防止に努めるよう活動を行っております。

主な事業の紹介

通常総会、理事監事会、会員視察研修、保安管理研修会などを行っています。



近年は、広報活動にも力を入れ、市民に対してガソリンや灯油など身近にある危険物の正しい取扱いを消防本部と協力しマスコミやSNSを利用し広報活動を行っています。



磐田市HP内に磐田市危険物安全協会のページを作成



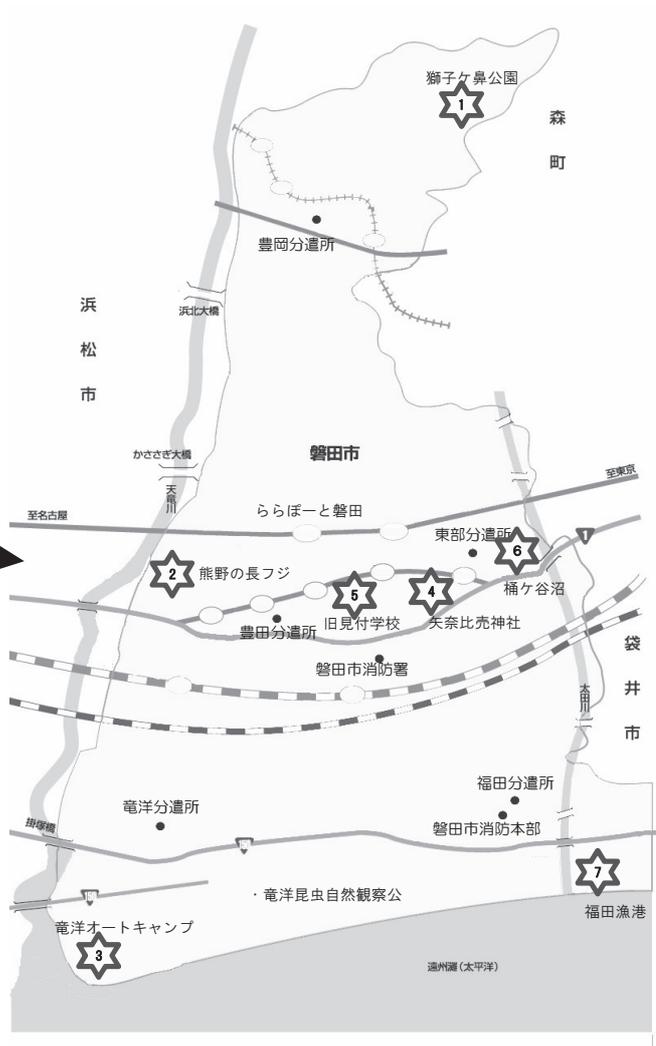
火災予防運動期間には、地区協オリジナルポスターを作成し、市内に掲示

磐田市の紹介



磐田市は、日本のほぼ中央静岡県西部の天竜川東岸に広がる地域で遠州灘に面し、四季折々の豊かな自然に恵まれています。

奈良時代には遠江国の国分寺と国府が置かれ、900基以上の古墳が確認されるなど歴史が語りつがれています。江戸時代には東海道五十三次「見付宿」として繁栄するなど古くから歴史や文化の積み重ねられたまちです。

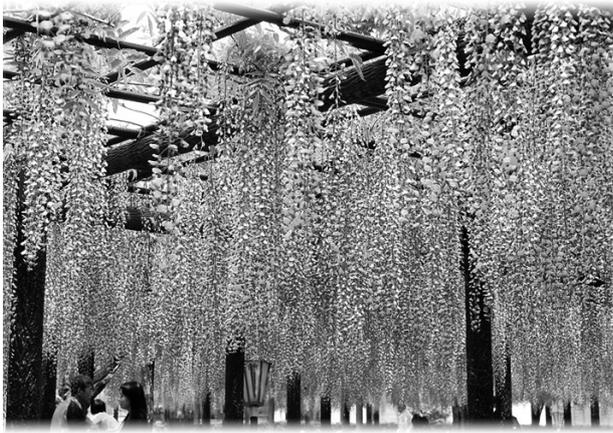


<獅子ヶ鼻公園>

- ・遊歩道やアスレチックが整備され、春は桜・つつじ、初夏は新緑の中で森林浴・バードウォッチング、秋は紅葉など四季折々の自然を満喫できます
- ・約5 kmのコースには「初心者/ベテラン」の2つのトレッキングコースがあります



こちらが、名前の由来になった「獅子の顔」に見える岩です。
トレッキングコースは景色が良く、気持ちがいいです！



2 <熊野の長フジ>

- 行興寺にある国指定の天然記念物「熊野（ゆや）の長フジ」は、花房が1 m以上にもなり見ごたえ十分です
- 藤棚面積約1,600㎡を誇り藤の名所となっています
- 見頃は4月下旬～5月上旬です

キャンプ場の近くには
<竜洋昆虫自然観察公園>があります。

- 子供たちが大好きなカブトムシやクワガタなど、様々な昆虫や自然と触れ合うことができ、昆虫館では世界中の昆虫の標本が展示されています。
- イベントも季節を通して開催していますよ。



3 <竜洋オートキャンプ場>

- JAC認定5つ星のオートキャンプ場で設備の整ったキャンプサイトやコテージがあるのでゆっくり1泊するのもおすすめです



例祭の夜に行われる、腰みのを着けた裸の男達の練りが広く知られていますが、実際は8日間にわたるお祭りっペイ!!



4 <矢奈比売神社（見付天神）>

- 「見付のお天神様」と親しまれ、東海随一の学問神様として崇敬されています。県内外からもたくさんの参拝客が訪れます
- 参道には怪物退治の伝説で有名な「しっぺい太郎」の銅像があり、秋には国の重要無形民俗文化財『見付天神裸まつり』が盛大におこなわれます





<旧見付学校>

- 明治8年に建てられた現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎で、国の史跡に指定されています
- 5階建ての館内は資料の展示や当時の授業風景を再現していてノスタルジックな雰囲気味わえます



<桶ヶ谷沼（おけがやぬま）>

- 日本有数のとんぼの生息地で約70種類のトンボ生育が確認されています
- 春には一面の菜の花、冬には渡り鳥の姿など四季折々違った風景を見ることができます



これが、有名なベッコウトンボです！



<福田漁港>

- シラス漁が盛んで、その品質は全国でも高く評価されています
- 週末にはたくさんの釣り人が所狭しと釣り竿をのぼしている風景や多くの漁船をみることもできます



福田漁港に隣接する「渚の交流館」は漁港で揚がった魚を堪能できる食堂や堤防釣りポイント、サーフポイント、津波避難タワーが集約されています。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



恥の文化

長泉町防火協会 会長

吉田 信幸

新型コロナウイルスの感染拡大は、大変な事態を招き、様々な場面で「自粛」の生活となりました。

しかしながら、日本国内の感染確認者数は、欧米、特に米国の数と比べるとまだまだ圧倒的に少なく、この原因については、例えば、日本には以前からマスクを着用する習慣があるから、などと様々な角度から推察・検証されています。

そんな中で気になった一冊の本、「菊と刀 日本文化の型」を紹介します。

この本は、第二次世界大戦中、米国が戦争をしてきた中で、他のどんな国の人達と比べても理解しがたい国であった日本に対して、米国戦時情報局から依頼された文化人類学者のベネディクト女史が、日本人の心理を考察し、その矛盾した行動を分析した本（日本語訳書）です。

今から70年以上も前に出版されたもので、その内容はかなり古く、誤認では？と思われるところもありますが、一方で共感できる内容も多く、なるほどと納得させられます。

彼女はこの本の中で、日本人の文化は「恥を基調とする文化」、すなわち「恥の文化」であり、欧米人の文化である「罪を基調とする文化」、すなわち「罪の文化」とは大きく異なっていると紹介しています。

日本の「恥の文化」は他人の目を、欧米の「罪の文化」は自分の目を行動の拘束力とする文化であり、日本人は恥をかくことを嫌い、人に迷惑をかけることを嫌い、控えめが「美」とされ、これに加えて「正義より名誉を重んじる」という、武士道の教えも加わって、歴史的に「恥の文化」が形成されてきたようです。

また、日本古来の階層社会が日本人の道德観として「恩」と「義理」を創り出したことも「恥の文化」の形成につながったとも書いています。

現代は急速にグローバル化が進んでいますが、奥深いところに依然として根強く日本文化が存在していることが、もしかしたらギリギリのところまで新型コロナウイルス感染拡大を抑制させているのでは？と考えさせられます。

「恥の文化」や「恩」と「義理」の意識も少しずつ薄れきている世の中だとは思われますが、これからもいろんな場面で意識し、行動に反映させたいと思います。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



趣味の写真への変遷

掛川市危険物安全協会 会長

津 田 昇

50の手習いと言いましょか、写真を撮るのに夢中になっています。写真機が優秀になったのもありますが何より大きな変化はデジタル化ですね。

かつてはフィルムカメラでしたので、当時の私にとっては現像代も高く今のように無作為に目に映る興味深いものをほぼ無制限に撮るということはできませんでした。

ここ5年でしょうかスマートフォンに高性能なカメラ機能が備わり、大量の写真が撮れるようになりました。

保管方法や発表の場もインターネットやクラウド上に与えられる時代になっています。誰もが気軽にSNS等に写真や動画をあげることで美しく撮れた写真や機を逃さない面白い写真が世の中に溢れています。

振り返りますと20代はオートバイを手に入れて北海道から九州までツーリングを楽しみ、その道中で記念という意味合いで風景を中心にフィルム写真を撮りました。

30代は仕事に集中して身を削りましたが、職種上、色材に携わる工業製品の技術者だったので、製品に含まれる異物の確認なんかで顕微鏡写真、販売促進資料作成にやはり写真を多く使いました。このあたりからデジタル写真に移行しています。

40代は子供が習い事を始めて楽器演奏発表会や運動会でまわりの父兄やお母さま方と場所取りを競いながら写真や動画も撮りました。

気が付くとこの間に30万枚のデジタル写真を撮影していました。

人の目がとらえているのは絵や写真の様ではなく動画に近いものです。写真とは心象風景ではないかと最近思い始めました

これから60歳になろうとして私の中で写真の意味は変わり、記念や証拠ではなく花鳥風月を切り撮るのが目的になりつつあります。記憶力が乏しくなるので補完したいのかもしれませんがね。

幸いながら趣味として写真を楽しむにあたり静岡県下には花鳥風月に触れる魅力的な撮影場所があります。

浜名湖ガーデンパーク、浜松フラワーガーデン、島田市ばらの丘公園では花が何かしら

咲き乱れています。一か月もすれば花は入れ替わり毎月楽しめます。花は画像があれば名前も生態も判別でき検索サイトは大きな植物図鑑状態です。

竜洋昆虫自然観察公園では蝶、蜻蛉、蜂が、浜北森林公園、佐鳴湖畔、遠州灘海浜公園では様々な野鳥が季節ごとに観察できます。

霊峰富士を背景にすることはほぼ県下どこでも可能です。人が撮った美しい風景写真を見てどこから富士山を撮影したのかGoogle Mapで推察できるようになり技術の進歩を享受していることを感じます。下調べをして機材を揃えて実写で試行錯誤するのは愉みですね。



写真以外にも一人で楽しめる趣味がありますがまだ十分な時間を割けない状態です。

会社員としての任期が終われば時間はまだ残されておりますので思う存分に遊びまわれそうですね。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

県危連からのお知らせ

1 新型コロナウイルス感染症の事業への影響

新型コロナウイルスを原因とするいわゆる“コロナ禍”の中で、当連合会の事業運営にも大きな影響が出ています。創立から50周年に当たる本年は、9月に創立50周年記念大会を開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため取りやめとなりました。

一方、保安講習等の実施に際しては、いわゆる“三密”を避けるなど新型コロナウイルス感染防止対策をとって行うこととしています。

◇予備講習

- ・6月期分は、開催中止
- ・11月期と2月期分は、大きな会場に変更するなどして開催

◇保安講習

- ・7月開催分を12月に延期して開催
- ・会場での三密を避けるため、一会場当りの定員を減
- ・収容人員が大きな会場に変更（21回分）
- ・開催回数を、一般講習で1回、出張講習で3回の増
- ・定員を上回ったことで会場変更をお願いした方には、ご協力に感謝します。

◇中止となった主な行事

主 催 行 事	参 加 行 事
地区協会担当者会議（4月）	危険物安全大会、表彰式（6月）
総務広報合同委員会（5月）	危険物施設安全推進講演会（6月）
創立50周年記念大会（9月）	法定講習講師研修会（7月）
危険物管理技術研修会（11月）	高圧ガス・危険物防災訓練（10月）

2 危険物に関する講習

(1) 予備講習

当連合会では、危険物取扱者試験の試験対策講座として「予備講習」を開催しています。危険物取扱者乙種第4類を受験する方は、ご利用ください。

また、試験対策用のテキストも販売しています。最寄りの地区協会又は当連合会までお問い合わせください。

(2) 保安講習

消防法において、危険物取扱者は、原則として3年に1度、危険物保安講習を受講することとされています。当連合会は、静岡県から委託を受け、保安講習を開催しています。該当の方は受講をお願いします。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆
乙種第4類を受験される方へ！

本講習を受けると合格率が違います！

危険物取扱者試験 予備講習

1. 一回の受講料で、合格まで何度でも再受講（有効期間1年）できます。
2. わからなかった例題集の問題は、メール（FAX）で個人に回答します。
3. 試験直前に、追加講習を実施します。

●受講案内（受講申請書）の入手方法（以下のどちらか）

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」、および消防署（一部）で配付しています。
- (2) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードできます。

●受講申請書提出先

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会へ郵送してください。

●使用テキスト（一財）全国危険物安全協会のテキスト〈3冊1セット〉を使用します。

講習前にいずれかの方法で入手し、事前に一読してください。講習会場では販売しません。

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」で購入してください。
- (2) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会で購入してください。(送付可。送料は受講者負担。)

テキスト代 4,500円

●受講料（学生割引50%があります。）

- (1) **1日講習** 一般 4,500円（当日受付は5,500円） 学生 2,250円（当日受付は3,250円）
- (2) **2日講習** 一般 8,000円（当日受付は9,000円） 学生 4,000円（当日受付は5,000円）
2日講習は、講義だけでなく例題集もやります。(物理と化学の苦手な方にお勧めします。)
- (3) **追加講習** (30名/定員) 無料 ※1日講習、2日講習を受講した方が対象です。
ポイントと計算問題を中心とした解説を行います。

●講習日程

申請期間	開催時期	講習の種類	講習日	会場
4月1日から 受講希望日の 1週間前 (必着)	令和2年 6月期 (試験日) 6月7日	1日講習	5月7日(木)	富士市 (柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			5月8日(金)	磐田市 (上新屋304「ひとほんの庭にこっと」)
			5月11日(月)	沼津市 (高島本町1-3「沼津労政会館」)
	2日講習	5月18日(月)	浜松市 (中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)	
		5月19日(火)	静岡市 (葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)	
		5月9日(土)～5月10日(日)	浜松市 (中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)	
	追加講習	5月16日(土)～5月17日(日)	沼津市 (高島本町1-3「沼津労政会館」)	
		5月23日(土)～5月24日(日)	静岡市 (駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)	
		5月30日(土)	静岡市 (駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)	
	令和2年 11月期 (試験日) 11月7日 11月8日	1日講習	10月1日(木)	富士市 (富士町20-1「富士市交流センター」)
			10月7日(水)	磐田市 (上新屋304「ひとほんの庭にこっと」)
			10月9日(金)	静岡市 (葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
	2日講習	10月12日(月)	浜松市 (中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)	
		10月13日(火)	焼津市 (三ヶ名1550「焼津文化会館」)	
		10月19日(月)	沼津市 (高島本町1-3「沼津労政会館」)	
	追加講習	10月3日(土)～10月4日(日)	静岡市 (葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)	
		10月10日(土)～10月11日(日)	沼津市 (10日：御幸町15-1「沼津市民文化センター」) (11日：高島本町1-3「沼津労政会館」)	
		10月14日(水)～10月15日(木)	静岡市 (葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)	
令和3年 2月期 (試験日) 2月21日	1日講習	10月17日(土)～10月18日(日)	浜松市 (中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)	
		11月1日(日)	静岡市 (葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)	
		1月13日(水)	静岡市 (駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)	
	2日講習	1月19日(火)	浜松市 (中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)	
		1月20日(水)	磐田市 (上新屋304「ひとほんの庭にこっと」)	
		1月26日(火)	沼津市 (高島本町1-3「沼津労政会館」)	
追加講習	1月9日(土)～1月10日(日)	沼津市 (高島本町1-3「沼津労政会館」)		
	1月16日(土)～1月17日(日)	浜松市 (中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」)		
	1月30日(土)～1月31日(日)	静岡市 (葵区追手町44-1「静岡県産業経済会館」)		
2月14日(日)	静岡市 (葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)			

※日程等は都合により変更になる場合があります。

●問合せ先

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話：054-252-5512 FAX：054-273-6524

(R2.7)

◎新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めています。

- ・体調がよくない方（発熱、咳、咽頭痛、味覚障害などの症状がある場合）は、参加の見合わせをお願いします。
- ・受講の際には、「事前の検温」「マスク着用」「こまめな手洗いやアルコール消毒」の徹底をお願いします。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

危険物取扱者の義務

参考資料: (一財) 全国危険物安全協会 保安講習テキスト (令和2年度版)

消防法は、危険物取扱者が守るべき義務を定めています。

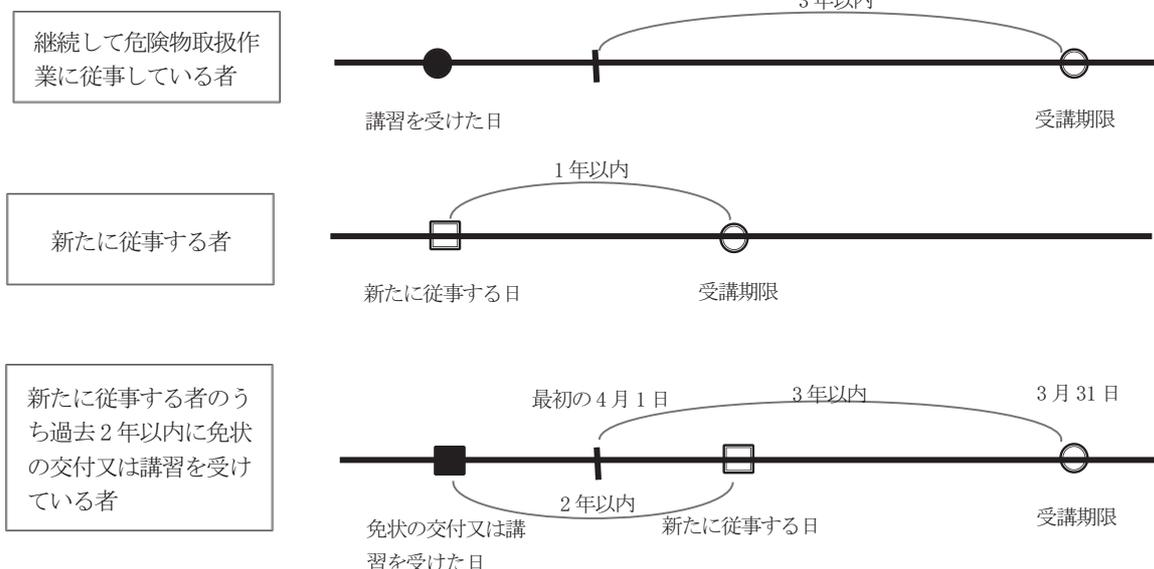
【守るべき義務】

- (1) 危険物保安講習の受講義務 (法第13条の23、危規則第58条の14)
- (2) 危険物取扱者免状の書換え義務 (危政令第34条)
- (3) 危険物の移送時における乗車義務及び危険物取扱者免状の携帯義務 (法第16条の2第1項、第3項)

(1) 危険物保安講習の受講義務

製造所等において、危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者は、原則として保安講習を受けた日以降における最初の4月1日から3年以内に、都道府県知事等が行う危険物の取扱作業の保安に関する講習を受けなければならない。

◆保安講習の受講期限



(2) 危険物取扱者免状の書換え義務等

免状の記載事項に変更を生じた場合には、免状の書換えを申請しなければならない。

ア 書換え → 免状を交付した、又は居住地・勤務地を管轄する都道府県知事へ申請

- ① 本籍の変更 (同一都道府県内での転籍を除く)
- ② 氏名の変更
- ③ 免状の写真を撮影した日から10年を経過した場合 (10年を超える前に申請のこと)

イ 再交付 → 免状を交付又は書換えの処理をした都道府県知事へ申請

- ① 亡失、② 滅失、③ 汚損、④ 破損

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

危険物取扱作業に従事されている方へ

(令和2年度 法定講習)

危険物取扱者保安講習

- 各会場定員があります。定員に達した場合は当連合会のホームページに掲載します。確認の上、受講申請をしてください。
申請者が会場の定員に達した場合は、締切り前でも受付を終了します。詳しくは、受講案内をご覧ください。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、講習の日程変更や中止することがあることをご承知ください。
- 令和3年2月期の講習は、受講者が多くなることが予想されますので、早めの受講をお願いいたします。

開催時期	申請期間	講習種別	講習日	定員(名)	会場
令和2年 9月期	7月1日(水) ↓ 7月31日(金) 締切り必着	給油取扱所	9月16日(水) 午前	60	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
			9月29日(火) 午前	170	御前崎市(池新田5585「御前崎市民会館」)
		一般 ¹⁾	9月16日(水) 午後	60	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
			9月24日(木) 午後	90	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			9月25日(金) 午後	50	裾野市(深良435「裾野市生涯学習センター」)
9月29日(火) 午後	170	御前崎市(池新田5585「御前崎市民会館」)			
令和2年 11月期	8月3日(月) ↓ 8月31日(月) 締切り必着	給油取扱所	11月5日(木) 午前	80	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月11日(水) 午前	150	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月12日(木) 午後	130	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			11月13日(金) 午前	70	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			11月27日(金) 午後	80	浜松市(中区早馬町2-1「クリエート浜松」)
			11月30日(月) 午前	90	三島市(一番町20-5「三島市民文化会館」)
		一般 ¹⁾	11月4日(水) 午後	80	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月5日(木) 午後	80	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月10日(火) 午後	150	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月11日(水) 午後	150	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月12日(木) 午後	130	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			11月13日(金) 午後	70	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			11月20日(金) 午後	90	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			11月25日(水) 午前	115	磐田市(上新屋304「アミューズ豊田」)
11月25日(水) 午後	115	磐田市(上新屋304「アミューズ豊田」)			
11月26日(木) 午後	80	浜松市(中区早馬町2-1「クリエート浜松」)			
11月27日(金) 午前	80	浜松市(中区早馬町2-1「クリエート浜松」)			
11月30日(月) 午後	90	三島市(一番町20-5「三島市民文化会館」)			
令和2年 12月期	8月3日(月) ↓ 8月31日(月) 締切り必着	給油取扱所	12月3日(木) 午前	75	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)
			12月9日(水) 午前	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			12月17日(木) 午後	90	静岡市(駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)
		コンビナート	12月23日(水) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			12月15日(火) 午後	40	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			12月3日(水) 午後	75	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)
		一般 ¹⁾	12月8日(火) 午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			12月9日(水) 午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			12月16日(水) 午後	90	静岡市(駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)
			12月17日(木) 午前	90	静岡市(駿河区馬淵1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」)
			12月22日(火) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			12月23日(水) 午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
令和3年 2月期	12月1日(火) ↓ 12月28日(月) 締切り必着	給油取扱所	2月3日(水) 午前	200	掛川市(御所原17-1「掛川市生涯学習センター」)
			2月5日(金) 午前	135	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月12日(金) 午前	190	静岡市(清水区島崎町214「静岡市清水文化会館マリナート」)
		一般 ¹⁾	2月3日(水) 午後	200	掛川市(御所原17-1「掛川市生涯学習センター」)
			2月5日(金) 午後	135	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月9日(火) 午後	180	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			2月12日(金) 午後	190	静岡市(清水区島崎町214「静岡市清水文化会館マリナート」)

1) 給油取扱所(主にガソリンスタンド等)、コンビナート以外は、一般で受講してください。

●受講案内(受講申請書)の入手方法(次のいずれかの方法で入手してください)

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」、および消防署(一部)で配付しています。
- (2) 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

●受講申請書提出先および問い合わせ先

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会へ郵送またはご持参ください。(土・日・祝を除く平日8:30~17:00)

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 〒420-0858

静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階

電話 054-252-5512 F A X 054-273-6524

U R L : http://www.skiren.jp/

静岡県(保安講習実施機関)

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会(保安講習事務委託機関)

(R 2 . 6)

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

視聴覚教材一覧

連合会で整備している視聴覚教材です。県内への貸出しは無料ですので、市民の普及啓蒙活動や従業員教育などにご活用下さい。

(製作：(一財)全国危険物安全協会)

整備年度	タイトル	媒体	時間	備考
令和2年	危険物施設の異常を感知せよ ～事故事例から学ぶ日常点検のポイント～	DVD	21分	
平成30年	備えあれば憂いなし～震災に備えて危険物施設にできること～	DVD	29分	
平成29年	ノウホワイ (know why) ～危険物施設における保安教育の充実～	DVD	33分	
平成28年	危険物事故とリスク ～教訓を活かすために～	DVD	29分	
平成27年	危険物施設におけるヒューマンエラー	DVD	37分	
平成26年	事故事例から学ぶ 危険物の保安対策	DVD	32分	
平成25年	危険物取扱者の地震発生時の対応 ～そのとき あなたは何をすべきか～	DVD	38分	
平成24年	危険物施設におけるヒヤリハット ～より高い安全をめざして～	DVD	37分	
平成23年	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策 ～危険物取扱者の役割～	DVD	37分	
平成22年	事例に学ぶ危険物施設の火災予防 ～事故ゼロをめざして～	DVD	29分	
平成21年	危険物施設の流出事故を防げ! ～危険物施設 流出事故ファイル～	VHS・DVD	28分	
平成20年	地震に備えていますか!? ～事前の地震対策～	VHS・DVD	29分	
平成19年	安全はつくるもの! ～事故防止対策の推進～	VHS・DVD	27分	
平成18年	危険物施設の自主保安～リスクは潜む～	VHS・DVD	22分	
平成18年	危険物 6つの扉～危険物の性状と消火の方法～	VHS	31分	KHK版
平成18年	給油取扱所の安全を考える～ガソリンスタンドの火災防止対策～	VHS	25分	KHK版
平成18年	危険物施設の火災を防げ!～固定泡消火設備の仕組みと使い方～	VHS	35分	KHK版
平成17年	自主保安へ たしかな一歩を～自主保安確立のための新たな視点～	VHS・DVD	20分	
平成16年	事故事例に学ぶ日常点検のあり方～日常に潜む危険～	VHS	20分	
平成15年	KYT手法による事故防止	VHS	18分	
平成15年	危険物の漏えいによる環境汚染を防ぐために	VHS	29分	KHK版
平成14年	安全はみんなのもの ～給油取扱所の安全管理～	VHS	16分	
平成13年	安全はみんなのもの ～工事中の事故防止～	VHS	20分	
平成12年	安全はみんなのもの ～ヒューマンエラーと保安対策～	VHS	21分	
平成11年	給油取扱所の安全を守る ～危険物保安監督者の責務～	VHS	20分	
平成10年	目で見るヒヤリ・ハット ～コンビナート施設～	VHS	21分	
平成9年	地震だ! あなたはどうする ～危険物～	VHS	20分	
平成8年	給油取扱所の安全を築く	VHS	30分	
平成8年	危険物施設の腐食を防ぐ	VHS	30分	
平成8年	危険物の安全な容器と運搬	VHS	23分	
平成8年	屋外タンクの設置と安全性 (設計から完成まで)	VHS	29分	
平成7年	事故だ! その時あなたは?	VHS	20分	
平成6年	災害事例から学ぶ	VHS	20分	
平成5年	お父さんはタンクローリーの運転手	VHS	20分	
平成4年	危険物施設と静電気	VHS	21分	
平成3年	危険物施設の日常点検	VHS	20分	

注) KHK: 危険物保安技術協会

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆
令和元年度事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I 継続事業（公益事業）

I-1 危険物の保安管理に関わる人材育成事業

(1) 危険物取扱者試験予備講習事業

【申請者数等】

(単位；箇所、人)

	会場数	申請者数 ①	H30実績 ②	増減(① - ②)	再受講者数
1日講習	17	474	424	50	26
2日講習	10	301	323	△22	35
追加講習	3	—	—	—	73
合計	30	775	747	28	134

(2) 危険物管理等技術研修事業

①危険物管理技術研修会

日時；令和元年11月14日（木）

会場；静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市駿河区）

講演；講師 東京工業大学環境・社会理工学院 特任教授 中村昌允 氏

演題 「最近の危険物事故から学ぶこれからの安全管理」

②高圧ガス・危険物防災訓練事業

日時；令和元年10月30日（水）

会場；掛川市 小笠山総合運動公園駐車場

主催；静岡県、静岡県一般高圧ガス地域防災協議会、（一社）静岡県LPガス協会、（一社）静岡県危険物安全協会連合会、掛川市危険物安全協会 等団体

協力；静岡県警察本部、掛川警察署、掛川市消防本部

(3) 講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①地区協会等主催、当連合会後援・共催の講演会等

- ・令和元年5月24日 菊川市危険物安全協会記念講演会
- ・令和元年7月19日 裾野市防火協会創立30周年記念講演会
- ・令和元年7月26日 浜松市防災協会防災講演会
- ・令和2年1月16日 磐田市危険物安全協会保安管理研修会

②（一財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等

- ・令和元年6月4日、6日 危険物施設安全推進講演会（東京都、大阪市） 5名

I-2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

① 表彰委員会の開催

(第1回)

- ・日時；令和元年6月12日（水）
- ・会場；グランディエールブケトーカイ会議室（静岡市）
県知事表彰候補者、会長表彰等の選考

(第2回)

- ・日時；令和2年2月7日（金）
- ・会場；グランディエールブuketーカイ会議室（静岡市）
消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考

② 創立記念大会開催事業

- ・第49回創立記念大会
日 時；令和元年9月9日（月）
会 場；静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市駿河区）
表 彰；県知事表彰・褒賞 9名（4人、5事業所）
県危険物安全協会連合会会長表彰 60名
記念講演；講師 名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和伸夫 氏
演題 「彼を知り己を知れば百戦殆からず」で南海トラフ地震を凌ぐ
参 加 者；329名（内、講演会のみ11人）

(2) 広報活動事業

① 危険物安全週間推進事業

危険物安全週間 令和元年6月2日（日）～8日（土）

- ・危険物安全大会への参加
日 時；令和元年6月3日（月）
会 場；ルポール麴町（東京都千代田区）
参加者；13名（受賞者、地区協会職員、連合会職員）
- ・危険物施設安全推進講演会への参加（再掲）
（東京会場、大阪会場）
日 時；令和元年6月4日（火）、6日（木）
会 場；全国町村会館（東京都千代田区）、ホテルアウィーナ大阪（大阪市）
参加者；5名（地区協会職員、連合会職員）
- ・危険物安全週間啓発ポスター及び小冊子の配布
安全週間推進ポスター 4,530枚
危険物に関する小冊子 一般用 3,600冊
取扱者用 4,110冊

② 静岡県防火のつどいへの参加

- ・日時；令和元年10月26日（土）
- ・会場；焼津市大井川文化会館ミュージコ

(3) 他団体事業への協力事業

- ・静岡県幼少年女性防火委員会協力費

Ⅱ その他事業（収益事業）

Ⅱ－１ 保安管理等受託業務事業

（１）危険物取扱者保安講習

実施時期		令和元年度		平成30年度	
		回数	申請者数	回数	申請者数
7月期	7月	12	1,936	13	2,203
9月期	8～9月	12	1,748	12	1,680
11月期	10～12月	25	3,529	25	3,569
2月期	1～2月	9	1,104	8	1,098
計		58	8,317	58	8,550
内、企業講習		14	1,650	15	2,021

（２）定期点検実施制度に係る業務受託事業

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者に対する実態調査等

- ・事業者認定等事務（認定申請受理、認定証交付）（再認定含む） 2件
- ・認定事業者軽微変更届出事務（届出受理、付随業務） -件
- ・認定事業者廃止届出事務（届出受理、付随業務） -件
- ・認定事業者実態調査事務（認定事業者指導員との連絡調整など） 延べ5事業者
- ・点検済証交付事務 延べ 25事業者 2,230枚

Ⅱ－２ 危険物関係図書等販売事業

（１）危険物取扱者試験テキスト等販売事業

（一財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト販売 【（ ）はH30実績】

- ・危険物取扱必携法令編 1,263冊 (1,402冊)
- ・危険物取扱必携実務編 1,262冊 (1,404冊)
- ・危険物取扱者試験例題集（甲、乙） 1,416冊 (1,546冊)
- 計 3,941冊 (4,352冊)
- ・危険物の保安管理（一般編） 35冊

（２）定期点検簿販売事業

危険物施設の定期点検記録簿の作成・販売 【（ ）はH30実績】

- ・増刷数 1,200冊 (900冊)
- ・販売数 859冊 (928冊)

Ⅲ 法人管理事業

（１）会議の開催

① 総会

- ・日時；令和元年6月21日（金）
- ・会場；中島屋グランドホテル（静岡市）
- ・議題；決議事項；平成30年度事業報告、平成30年度決算報告、理事の補充選任

② 理事会

（第1回）

- ・日時；令和元年5月28日（火）

- ・会場；グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- ・議題；報告事項；平成30年度常任委員会、表彰委員会報告
決議事項；定時総会の開催、議案審議（平成30年度事業報告及び決算報告）、理事の補充選定、委員会委員の選任 等
協議事項；理事数の見直しについて
その他；創立記念大会案の承認

(第2回)

- ・日時；令和元年6月21日（金）
- ・会場；中島屋グランドホテル（静岡市）
- ・議題；常務理事の選任

(第3回)

- ・日時；令和元年11月14日（木）
- ・会場；静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市）
- ・議題；報告事項；令和元年度上期の事業進捗状況報告 等

(第4回)

- ・日時；令和2年3月17日（火）
- ・会場；グランディエールブケトーカイ会議室（静岡市）
- ・議題；決議事項；令和2年度事業計画及び収支予算
報告事項；令和元年度事業計画進捗状況

(第5回)

- ・日時；令和2年3月25日（水）
- ・会場；グランディエールブケトーカイ会議室（静岡市）
- ・議題；決議事項；令和2年度事業計画及び収支予算の修正について
協議事項；創立50周年記念大会について

③ 正副会長会議

(第1回)

- ・日時；令和元年6月12日（水）
- ・会場；グランディエールブケトーカイ（静岡市）

(第2回)

- ・日時；令和元年6月21日（金）
- ・会場；中島屋グランドホテル（静岡市）

(第3回)

- ・日時；令和元年9月9日（月）
- ・会場；静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市）

(第4回)

- ・日時；令和元年11月14日（木）
- ・会場；静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市）

(第5回)

- ・日時；令和2年3月17日（火）
- ・会場；グランディエールブケトーカイ（静岡市）

④ 常任委員会

(第1回総務広報合同委員会)

- ・日時；令和元年5月28日（火）
- ・会場；グランディエールブケトーカイ会議室（静岡市）
- ・議題；平成30年度事業報告及び決算、令和元年度広報活動計画、会報編集方針等

(第1回総務企画合同委員会)

- ・令和2年3月17日に開催を予定していた本委員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止

⑤ 地区協会担当国会議

- ・日時；平成31年4月26日（金）
- ・会場；静岡市産学交流センター
- ・内容；県危連の事業計画推進への協力依頼 等

(2) 会議等への参加

- ① 都道府県危険物安全協会連合会事務局長会議
 - ・日時；平成31年4月19日（金）
 - ・会場；ルポール麴町（東京都千代田区）
- ② 静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会
 - ・日時；平成31年4月22日（月）
 - ・会場；静岡県庁別館5階会議室
- ③ 北陸・東海ブロック県危険物安全協会連合会事務局長会議
 - ・日時；令和元年8月22日（木）～23日（金）
 - ・会場；石川県金沢市
- ④ 都道府県危険物安全協会連合会会長研修会
 - ・日時；令和2年1月22日（水）
 - ・会場；ルポール麴町（東京都千代田区）

(3) 訓練への参加・視察

- ① 静岡県消防救助技術大会（陸上の部）
 - ・日時；令和元年6月4日（火）
 - ・会場；静岡県消防学校

(4) (一財) 全国危険物安全協会会費

- ・(一財) 全国危険物安全協会会費

(5) 事務局の運営

年間を通じて総務、経理処理等の業務推進

IV I～Ⅲにまたがる主な事業

広報活動事業

- ① ホームページ運営事業
 - ・年間を通じて、危険物の保安全管理等に関する各種情報の提供
- ② 会報発行事業（会報第69号）
 - ・発行；令和元年10月
410冊（地区協会；323冊、関係機関；80冊、保存等；7冊）
 - ・ウェブ版；令和元年11月アップ

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

令和元年度 決算額 (正味財産増減計算ベース)

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,292	3,289	3
特定資産運用益計	3,292	3,289	3
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	3,970,500	3,959,000	11,500
受託料収益	37,083,018	32,424,600	4,658,418
図書等販売収益	6,163,110	6,255,592	▲ 92,482
事業収益計	47,216,628	42,639,192	4,577,436
受取補助金等			
受取民間助成金	816,000	628,000	188,000
受取補助金等計	816,000	628,000	188,000
雑収益			
受取利息	141	161	▲ 20
雑収益	1,000	0	1,000
雑収益計	1,141	161	980
経常収益計	51,437,061	46,670,642	4,766,419
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	9,010,608	8,509,818	500,790
臨時雇賃金	769,980	714,100	55,880
退職給付費用	504,000	504,000	0
福利厚生費	1,524,617	1,403,672	120,945
会議費	292,484	310,171	▲ 17,687
会場費	2,354,308	2,370,409	▲ 16,101
旅費交通費	1,429,937	1,357,647	72,290
通信運搬費	784,793	697,177	87,616
消耗什器備品費	0	97,200	▲ 97,200
消耗品費	478,623	613,350	▲ 134,727
印刷製本費	1,352,676	1,214,233	138,443
賃借料・リース料	1,767,704	1,748,812	18,892
保険料	21,015	21,150	▲ 135
諸謝金	1,945,370	1,878,000	67,370
支払負担金	403,942	270,219	133,723
支払助成金	70,000	70,000	0
委託費	3,061,230	3,041,360	19,870
図書購入費	12,674,112	13,268,088	▲ 593,976
保守料	0	20,520	▲ 20,520
サイト運営費	322,780	274,116	48,664
雑費	215,822	199,134	16,688
事業費計	38,984,001	38,583,176	400,825

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
給与手当	2,439,989	2,289,619	150,370
退職給付費用	136,000	136,000	0
福利厚生費	416,002	382,324	33,678
研修費	0	17,000	▲ 17,000
会議費	803,494	812,965	▲ 9,471
旅費交通費	391,063	447,543	▲ 56,480
通信運搬費	58,813	69,612	▲ 10,799
消耗什器備品費	56,176	340,200	▲ 284,024
消耗品費	288,707	209,978	78,729
印刷製本費	33,189	42,564	▲ 9,375
水道光熱費	176,523	225,547	▲ 49,024
賃借料・リース料	1,145,720	905,828	239,892
保険料	9,240	9,240	0
租税公課	1,186,218	1,059,120	127,098
支払負担金	86,000	60,000	26,000
支払助成金	250,000	250,000	0
支払会費	342,620	376,640	▲ 34,020
委託費	335,870	300,780	35,090
図書購入費	15,652	9,959	5,693
保守料	107,700	132,840	▲ 25,140
サイト運営費	35,859	30,452	5,407
渉外費	20,000	20,000	0
雑費	92,774	91,248	1,526
管理費計	8,427,609	8,219,459	208,150
経常費用計	47,411,610	46,802,635	608,975
評価損益等調整前当期経常増減額	4,025,451	▲ 131,993	4,157,444
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,025,451	▲ 131,993	4,157,444
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	4,025,451	▲ 131,993	4,157,444
当期一般正味財産増減額	4,025,451	▲ 131,993	4,157,444
一般正味財産期首残高	54,539,973	54,671,966	▲ 131,993
一般正味財産期末残高	58,565,424	54,539,973	4,025,451
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	58,565,424	54,539,973	4,025,451

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

令和2年度事業計画書

I 継続事業（公益事業）

I-1 危険物の保安管理に関わる人材育成事業

（1）危険物取扱者試験予備講習事業

危険物取扱者試験（乙種4類）の受験者を対象に、合格率の向上に向けた受験対策講習を実施し、危険物取扱者の確保を図る。

	期数	回数	人数	備考
1日講習	年3期	15回	420名	
2日講習	年3期	10回	300名	
追加講習	年3期	3回	90名	無料
合計	—	28回	810名	

（2）危険物管理等技術研修事業

①危険物管理技術研修会

危険物取扱者、危険物施設管理者、消防職員などを対象に危険物の保安管理に関する知識及び技術の習得のための研修会を開催する。

- ・日時 令和2年11月18日（水）
- ・会場 静岡市内
- ・講演 （調整中）
- ・参加者 250名

②高圧ガス・危険物防災訓練事業

静岡県、高圧ガス関係団体、消防機関などと協力し、高圧ガスと危険物に係る防災訓練を行い、災害事故への対処方法の習熟を図る。

- ・開催地の地区協会と共同参加
- ・令和2年10月28日（水） 沼津市（愛鷹広域公園）

（3）講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①地区協会と連携し、市民が広く参加できる講演会などを開催し、地域に応じた危険物安全思想の普及・啓発を図る。

②（一財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等を紹介するとともに参加を促し、危険物に係わる人材の育成を図る。

③危険物取扱事業所等に視聴覚教材を貸し出すことにより、危険物に係わる人材の育成を図る。

I-2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

危険物による災害事故の防止に不断の努力を重ね、危険物の保安推進を図り、著しい成果を収めた個人及び危険物取扱事業所に対し、国や県の表彰候補者を選考・推薦するとともに、当連合会会長表彰を行う。

また、当連合会の創立50周年を記念し、創立50周年記念大会及びその関連行事を行う。

①表彰委員会の開催

(第1回)

- ・日時 令和2年6月10日(水)
- ・会場 グランディエールブuketーカイ会議室(静岡市)
- ・議題 県知事表彰候補者及び当連合会会長表彰者の選考
消防庁長官表彰、(一財)全国危険物安全協会理事長表彰の推薦連絡会の選定

(第2回)

- ・日時 令和3年2月上旬
- ・会場 静岡市内
- ・議題 消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考

②創立記念大会開催事業

創立50周年記念大会の開催

- ・日時 令和2年9月11日(金)
- ・会場 ホテルセンチュリー静岡(静岡市駿河区)
- ・内容 ① 記念式典 (表彰、大会宣言など)
② 記念講演会 (宮家邦彦氏「(仮)地政学で見る国際情勢と日本」)
③ 記念祝賀会
- ・参加者 340名程度

(2) 広報活動事業

①安全週間推進ポスター等の掲示・配付を行い、災害事故防止思想の普及啓発を図る。

- ・危険物安全週間 令和2年6月7日(日)～13日(土)
- ・安全週間推進ポスター ; 4,430枚
- ・危険物に関する一般向け小冊子 ; 3,600冊
- ・危険物取扱者向け小冊子 ; 4,050冊

②県民の防火意識の高揚及び民間防火組織の育成を図るため、「静岡県防火のつどい」に参加する。

- ・静岡県防火のつどい 令和2年10月31日(土) 掛川市

(3) 他団体事業への協力事業

- ・静岡県幼少年女性防火委員会協力費

II その他事業（収益事業）

II-1 保安管理等受託業務事業

(1) 危険物取扱者保安講習

危険物取扱者に課せられる保安講習（消防法第13条の23）の事務を静岡県知事から委託を受け実施し、危険物取扱者の知識・技術の向上を図る。

- ・受講者 8,000名
- ・会場 東・中・西部の各地区 計43回程度（12市）
- ・時期 7月期、9月期、11月期、2月期
- ・出張講習 概ね100人／回程度の参加が見込まれる企業等（14回程度）

(2) 定期点検実施制度に係る業務

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者を支援する。

- ・認定事業者；（一財）全国危険物安全協会の講習を受け認定された事業者

II-2 危険物関係図書等販売事業

危険物取扱者試験受験者及び危険物取扱事業所の利便を図るため、関係図書を販売する。

(1) 危険物取扱者試験テキスト販売事業

甲種及び乙種の危険物取扱者試験受験者に対して（一財）全国危険物安全協会発行のテキストを販売する。

(2) 定期点検記録簿販売事業

危険物施設の定期点検の内容を容易に把握でき、かつ点検結果を記録するための記録簿を印刷し、販売する。

III 法人管理事業

(1) 会議の開催

- ① 総会
- ② 理事会
- ③ 正副会長会議
- ④ 常任委員会
- ⑤ 地区協会担当者会議

(2) 会議等への参加

- ① 全危協都道府県危連会長研修会
- ② 全危協都道府県危連事務局長会議
- ③ 北陸・東海ブロック県危連事務局長会議（名古屋市）
- ④ 静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会
- ⑤ 地区協会周年記念式典

(3) 訓練の視察

- ① 静岡県消防救助技術大会（陸上の部）
- ② 東名高速道路日本坂トンネル防災訓練

(4) (一財) 全国危険物安全協会への協力

- ・ (一財) 全国危険物安全協会会費

(5) 事務局の運営

IV I～Ⅲにまたがる主な事業

(1) 広報活動事業

- ① ホームページ運営事業
連合会ホームページを通じて危険物に関わる各種情報を提供する。
- ② 会報発行事業
会報第70号（創立50周年記念特別号）を作成し、関係先に配布するとともにホームページ上に掲載し、災害事故防止思想の普及・啓発を図る。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

令和2年度 収支予算 (正味財産増減計算ベース)

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目	令和2年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,000	3,000	0
特定資産運用益計	3,000	3,000	0
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	4,290,000	3,790,000	500,000
受託料収益	31,772,000	29,205,000	2,567,000
図書等販売収益	5,750,000	5,550,000	200,000
事業収益計	41,812,000	38,545,000	3,267,000
受取補助金等			
受取民間助成金	790,000	774,000	16,000
受取補助金等計	790,000	774,000	16,000
受取負担金			
受取負担金	0	0	0
受取負担金計	0	0	0
雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益計	1,000	1,000	0
経常収益計	46,006,000	42,723,000	3,283,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	9,133,000	8,419,000	714,000
臨時雇賃金	860,000	800,000	60,000
退職給付費用	504,000	504,000	0
福利厚生費	1,552,000	1,389,000	163,000
会議費	340,000	340,000	0
会場費	6,426,000	2,410,000	4,016,000
旅費交通費	1,496,000	1,440,000	56,000
通信運搬費	849,000	745,000	104,000
消耗品費	784,000	640,000	144,000
印刷製本費	1,603,000	1,343,000	260,000
賃借料・リース料	1,781,000	1,766,000	15,000
保険料	25,000	25,000	0
諸謝金	2,750,000	2,099,000	651,000
支払負担金	400,000	400,000	0
支払助成金	70,000	70,000	0
委託費	3,109,000	3,109,000	0
図書購入費	12,344,000	12,523,000	▲ 179,000
サイト運営費	283,000	280,000	3,000
保守料	0	0	0
雑費	376,000	270,000	106,000
事業費計	44,685,000	38,572,000	6,113,000

科 目	令和2年度	前年度	増減
管理費			
給与手当	2,438,000	2,305,000	133,000
退職給付費用	136,000	136,000	0
福利厚生費	415,000	380,000	35,000
研修費	34,000	34,000	0
会議費	850,000	850,000	0
旅費交通費	540,000	500,000	40,000
通信運搬費	99,000	90,000	9,000
消耗品費	250,000	250,000	0
印刷製本費	50,000	60,000	▲ 10,000
水道光熱費	250,000	253,000	▲ 3,000
賃借料・リース料	1,140,000	1,130,000	10,000
保険料	10,000	10,000	0
諸謝金	0	0	0
租税公課	2,037,000	1,150,000	887,000
支払負担金	136,000	80,000	56,000
支払助成金	250,000	250,000	0
支払会費	309,000	377,000	▲ 68,000
委託費	183,000	180,000	3,000
図書購入費	10,000	10,000	0
修繕費	20,000	50,000	▲ 30,000
保守料	109,000	65,000	44,000
サイト運営費	32,000	35,000	▲ 3,000
雑費	133,000	150,000	▲ 17,000
管理費計	9,431,000	8,345,000	1,086,000
経常費用計	54,116,000	46,917,000	7,199,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 8,110,000	▲ 4,194,000	▲ 3,916,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 8,110,000	▲ 4,194,000	▲ 3,916,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 8,110,000	▲ 4,194,000	▲ 3,916,000
当期一般正味財産増減額	▲ 8,110,000	▲ 4,194,000	▲ 3,916,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	▲ 8,110,000	▲ 4,194,000	▲ 3,916,000
II 指定正味財産増減の部	—	—	—
III 正味財産期末残高	▲ 8,110,000	▲ 4,194,000	▲ 3,916,000

1) 必要があるときには、科目間の流用をすることができる。

2) 創立50周年記念事業に充てるため財政調整資金引当資産から500万円を限度に取り崩すことができる。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

令和2年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会役員・地区協会会長名簿

【顧問・参与】

令和2年8月1日現在

役職名	氏名	所属役職名
顧問	金嶋 千明	静岡県危機管理監兼危機管理部長
顧問	海野 雅夫	静岡県消防長会長
顧問	山梨 透	前連合会長
参与	望月 勇人	静岡県危機管理部消防保安課長

【理事・監事】

令和2年8月1日現在

役職名	氏名	所属役職名
会長(理事)	中島 博康	沼津市防火協会 会長
副会長(理事)	鈴木 裕司	浜松市防災協会 会長
副会長(理事)	相川 賀秀	静岡市防災協会 副会長
常務理事	小林比登志	連合会 事務局長
理事	芹澤 俊夫	沼津市防火協会 副会長
理事	瀧 真砂人	富士市防火協会 会長
理事	青木 徹	志太危険物安全協会 会長
理事	浅見 明彦	島田・北榛原地区危険物安全協会 前会長
理事	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会 会長
理事	坂井 智司	浜松市防災協会 副会長
監事	佐藤 潔	富士市防火協会 副会長
監事	伊坂龍一朗	静岡市防災協会 副会長

【地区協会会長】

令和2年8月1日現在

役職名	氏名	所属役職名
地区協会会長	松本 大明	下田地区危険物安全協会 会長
同	稲葉 智之	東伊豆町危険物安全協会 会長
同	井原 宏政	伊東市危険物安全協会 会長
同	前田 久憲	熱海市防火協会 会長
同	石渡 延人	田方防火協会 会長
同	中島 博康	沼津市防火協会 会長
同	齋藤 忍	清水町防火協会 会長
同	村上 篤	三島市防火協会 会長
同	吉田 信幸	長泉町防火協会 会長
同	堀田 正昭	裾野市防火協会 会長
同	那須野孝之	御殿場市小山町防火安全協会 会長
同	瀧 真砂人	富士市防火協会 会長
同	御宿 冬樹	富士宮市防火安全協会 会長
同	糠谷 徳昭	静岡市防災協会 会長
同	青木 徹	志太危険物安全協会 会長
同	大竹 一広	島田・北榛原地区危険物安全協会 会長
同	須藤 裕	吉田榛原危険物安全協会 会長
同	本目 武彦	牧之原市相良地区危険物安全協会 会長
同	野川 修身	御前崎市危険物安全協会 会長
同	濱崎 興基	菊川市危険物安全協会 会長
同	津田 昇	掛川市危険物安全協会 会長
同	平川 和之	袋井保安管理協会 会長
同	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会 会長
同	鈴木 裕司	浜松市防災協会 会長
同	松山喜代志	湖西市危険物安全協会 会長

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

賛助会員名簿

(令和2年8月1日現在)

事業所名	住所
静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
E N E O S株式会社 清水油槽所	静岡市清水区袖師町1900番地
静岡県石油業協同組合	静岡市駿河区緑ヶ丘町1番3号
一般社団法人静岡県LPガス協会	静岡市葵区本通6丁目1番10号

令和2年度委員会委員名簿

1 常任委員会

(令和2年8月1日現在)

(1) 総務委員会 (委員長；鈴木裕司副会長) 9名

鈴木 裕司 (浜松市)	御宿 冬樹 (富士宮市)
松本 大明 (下田地区)	須藤 裕 (吉田榛原)
井原 宏政 (伊東市)	津田 昇 (掛川市)
渡邊 幸司 (三島市)	鎌田 雄滋 (磐田市)
吉田 信幸 (長泉町)	

(2) 企画委員会 (委員長；相川賀秀副会長) 9名

相川 賀秀 (静岡市)	江川 央生 (牧之原市相良地区)
稲葉 智之 (東伊豆町)	野川 修身 (御前崎市)
山田 晃弘 (熱海市)	津田 昇 (掛川市)
齋藤 忍 (清水町)	平川 和之 (袋井)
那須野孝之 (御殿場市小山町)	

(3) 広報委員会 (委員長；相川賀秀副会長) 8名

相川 賀秀 (静岡市)	若尾 秀元 (島田・北榛原地区)
石渡 延人 (田方)	濱崎 興基 (菊川市)
堀田 正昭 (裾野市)	鈴木 芳明 (磐田市)
瀧 真砂人 (富士市)	鈴木 健二 (湖西市)

2 表彰委員会 (委員長；中島博康会長) 7名

中島 博康 (会長)	渡邊 幸司 (東部地区・三島市)
鈴木 裕司 (副会長)	巻田 達央 (中部地区・志太)
相川 賀秀 (副会長)	濱崎 興基 (西部地区・菊川市)
小林比登志 (常務理事兼事務局長)	

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会 地区協会事務局住所

(令和2年4月1日)

地区協会名		郵便番号	住所	電話番号	会員数 R2.1.1
東 部	下田地区危険物安全協会	415-0026	下田市6丁目1番地14号 下田消防本部内	0558-22-1849	81
	東伊豆町危険物安全協会	414-0013	伊東市桜木町1丁目1番3号(伊東消防署内) 駿東伊豆消防本部第三方面本部内	0557-38-0198	30
	伊東市危険物安全協会	414-0013	伊東市桜木町1丁目1番3号(伊東消防署内) 駿東伊豆消防本部第三方面本部内	0557-38-0198	109
	熱海市防火協会	413-0015	熱海市中央町1番1号 熱海市消防本部内	0557-86-6622	95
	田方防火協会	410-2318	伊豆の国市白山堂327番地の1 駿東伊豆消防本部第二方面本部内	0558-76-2280	137
	沼津市防火協会	410-0836	沼津市吉田町20番1号 駿東伊豆消防本部第一方面本部内	055-935-5119	201
	清水町防火協会	410-0836	沼津市吉田町20番1号 駿東伊豆消防本部第一方面本部内	055-935-5119	35
	三島市防火協会	411-0837	三島市南田町4番40号 富士山南東消防本部内	055-972-5802	60
	長泉町防火協会	411-0942	駿東郡長泉町中土狩910番地の1 富士山南東消防本部長泉消防署内	055-986-1199	45
	裾野市防火協会	410-1117	裾野市石脇515番地 富士山南東消防本部裾野消防署内	055-992-3211	74
	御殿場市小山町防火安全協会	412-0026	御殿場市東田中1丁目19番1号 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部内	0550-83-0119	159
	富士市防火協会	417-8601	富士市永田町1丁目100番地 富士市消防本部内	0545-55-2860	191
	富士宮市防火安全協会	418-8601	富士宮市弓沢町150番地 富士宮市消防本部内	0544-22-1199	152
中 部	静岡市防災協会	422-8074	静岡市駿河区南八幡町10番30号 静岡市消防局消防部内	054-281-5500	267
	志太危険物安全協会	425-0041	焼津市石津728番地の2 志太広域事務組合志太消防本部内	054-623-0119	258
	島田・北榛原地区危険物安全協会	427-0048	島田市旗指513番地の1 静岡市島田消防署内	0547-37-0171	143
	吉田榛原危険物安全協会	421-0301	榛原郡吉田町住吉1386番地の5 静岡市吉田消防署内	0548-32-7944	111
	牧之原市相良地区危険物安全協会	421-0523	牧之原市波津191番地 1 静岡市牧之原消防署内	0548-53-0119	99
西 部	御前崎市危険物安全協会	437-1612	御前崎市池新田5151番地の1 御前崎市消防本部内	0537-85-2657	79
	菊川市危険物安全協会	439-0022	菊川市東横地385 菊川市消防本部内	0537-35-3284	106
	掛川市危険物安全協会	436-0079	掛川市掛川1102番地の2 掛川市消防本部内	0537-21-6103	204
	袋井保安全管理協会	437-0012	袋井市国本2907番地 袋井消防本部内	0538-44-5115	159
	磐田市危険物安全協会	437-1292	磐田市福田400番地 磐田市消防本部内	0538-59-1718	184
	浜松市防災協会	430-0905	浜松市中区下池川町19番1号 浜松市消防局内	053-476-1476	558
	湖西市危険物安全協会	431-0442	湖西市古見1076番地 湖西市消防本部内	053-574-0212	68
合 計					3,605

◆◆◆◆事務局から◆◆◆◆

記念すべき創立50周年事業が、コロナの影響で催行されなかったことを残念に思います。そのような中、中島会長から私たち事務局職員に感謝状をいただきました。ありがとうございます。

師走も終盤、今年も残すところ僅かとなりました。温かいお鍋が美味しい時期です。

今年は、なめこをたっぷり入れたお鍋がマイブームです。とろとろのスープが体の芯から温めてくれます。よかったら皆さまもお試しください。
—戸本—

講習全般を担当しています。

新型コロナウイルス感染症により、例年とは違う忙しさで、講習の仕事に追われる毎日です。感染防止のため些細なことでもやることに心がけ、安心、安全にご受講いただければと考えています。

今後ともよろしくお願いいたします。

—大川井—



編集後記に代えて

設立から数えて50周年の記念すべき年を皆さんと寿ぎたいと考えていましたが、新型コロナウイルスの関係でやむなく取りやめとなり、また各種事業や会議などの中止も相次いだところです。正直なところ新型コロナの状況を見ながらの運営は普段に増して大変でしたが、そうした中、会長はじめ役員の方々、地区協会の皆様から御支援をいただきありがとうございました。また、この会報に寄稿いただいた皆様には、この場を借りて感謝申し上げます。引き続き、連合会の運営に御協力をいただきますようお願い申し上げます。
—小林—

「会報」第70号

令和2年12月15日 発行

○発行 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2
相川伝馬町ビル7階
電話 054-252-5512
FAX 054-273-6524
E-Mail sizu-kenkiren@muse.ocn.ne.jp
<http://www.skiren.jp>

○発行所 池田屋印刷株式会社
〒422-8058 静岡市駿河区中原746番の1

訓練で

確かな信頼

積み重ね



藤田菜七子騎手（日本中央競馬会）



消防庁／都道府県／市町村／全国消防長会／一般財団法人全国危険物安全協会

このポスターは、危険物安全週間推進協議会が制作しています。



写真提供；静岡県浜松土木事務所

